

再 評 価 に 係 る 資 料

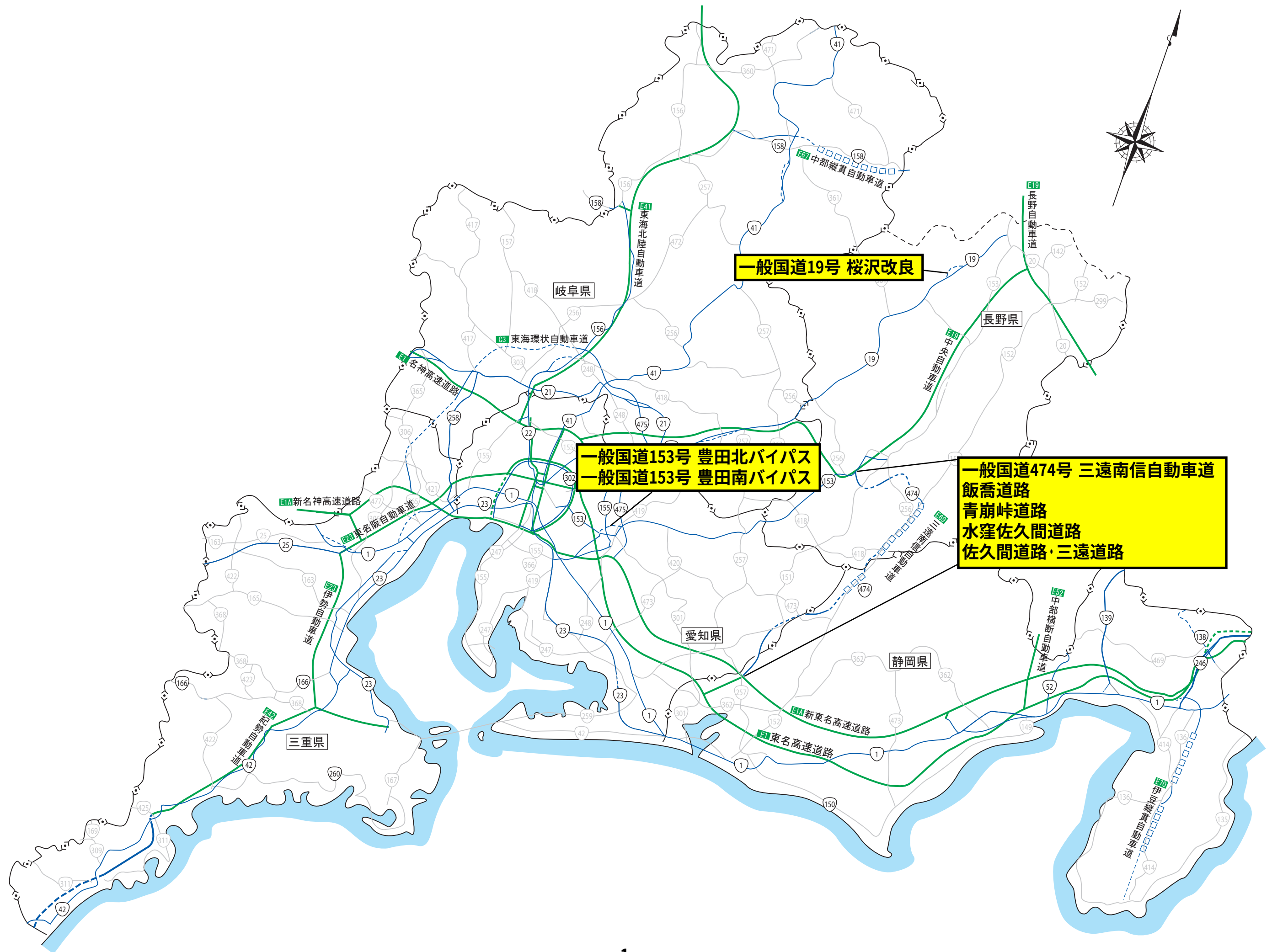
【道路事業】

令和元年 10 月 4 日

国土交通省中部地方整備局

目 次

1. 事業再評価対象事業位置図	1
2. 事業再評価を実施する事業の一覧表（道路事業）	2
3. 費用対効果分析判定表	3
4. 事業再評価対象事業再評価結果原案、B／Cバックデータ	
○一般国道19号 桜沢改良	9
○一般国道153号 豊田北バイパス	29
○一般国道155号 豊田南バイパス	51
○一般国道474号 三遠南信自動車道 飯喬道路	73
○一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路	93
○一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	114
○一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	135



事業再評価を実施する事業の一覧表(道路事業)

中部地方整備局

整理 番号	事業 種別 ※1	該当 項目 ※2	都道 府県 名	路線 番号	箇所名	事業の目的	事業 延長 (km)	事業化 年度	都市計画 決定又は 変更年度	用地 着手 年度	工事 着手 年度	供用済 み延長 (km)	全体 事業費 (億円)	事業 進捗率 (%)	事業を巡る社会情勢等の変化	事業の状況及び今後の見通し	B/C	対応方針 (原案)	備考
1	2次	⑤	長野	19	一般国道19号 桜沢改良	・一般国道19号桜沢改良は、長野県塩尻市大字賛川から塩尻市大字宗賀に至る延長2.1kmのバイパス。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・現道の課題箇所回避(要対策箇所、災害履歴、線形不良) ・日常生活への影響回避 ・広域交通への影響回避 ・観光への影響回避	2.1	H19	-	H21	H24	-	105	53	・国道19号現道は、大雪による雪崩や土石流発生など、計5回の被災履歴があり、平成26年2月の大雪による雪崩では、現道が27時間にわたり喘鳴通行止めが発生。	・長野県塩尻市大字賛川から塩尻市大字宗賀(延長2.1km)は、早期開通に向けて工事を推進。	-	事業継続	
2	2次	⑤	愛知	153	一般国道153号 豊田北バイパス	・一般国道153号豊田北バイパスは、愛知県豊田市逢妻町から豊田市勤八町に至る延長約5.7kmの道路。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・交通渋滞の緩和 ・交通事故の削減 ・物流効率化の支援 ・救急医療活動の支援	5.7	H18 H20	S60 H2	H21	H25	0.8	399	58	・豊田市中心部を通過する国道153号や国道155号、国道419号は、朝夕の通勤時などに交通が集中し、交通混雑が著しい状況。 ・平成25年1月には、豊田市中心部が地域の主要渋滞箇所(豊田エリア)として選定されており、多数の主要渋滞区間・箇所が存在。	・豊田市平戸橋町から勤八町間(延長0.8km)は、令和元年6月8日に開通。 ・残る豊田市逢妻町から平戸橋町間(延長4.9km)について、早期開通に向けて用地買収及び工事を推進。	事業全体 (3.4) 残事業 (8.6)	事業継続	
3	2次	⑤	愛知	155	一般国道155号 豊田南バイパス	・一般国道155号豊田南バイパスは、愛知県豊田市駒場町から豊田市逢妻町に至る延長約12.9kmの道路。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・交通渋滞の緩和 ・交通事故の削減 ・物流効率化の支援 ・救急医療活動の支援	12.9	S48	S39 S47	S50	S58	9.2	841	82	・豊田市中心部を通過する国道153号や国道155号、国道419号は、朝夕の通勤時などに交通が集中し、交通混雑が著しい状況。 ・平成25年1月には、豊田市中心部が地域の主要渋滞箇所(豊田エリア)として選定されており、多数の主要渋滞区間・箇所が存在。	・豊田市美山町から東新町間(延長1.1km)は、平成26年3月16日に開通。 ・残る豊田市東新町から逢妻町間(延長3.7km)について、早期開通に向けて用地買収及び工事を推進。	事業全体 (2.4) 残事業 (16.5)	事業継続	
4	高	⑤	長野	474	一般国道474号 三遠南信自動車道 飯橋道路	・一般国道474号 三遠南信自動車道 飯橋道路は、長野県飯田市山本から下伊那郡喬木村氏乗に至る延長22.1kmの自動車専用道路。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の確保 ・救急医療活動の支援 ・地域活性化の支援 ・産業活動の活性化	22.1	H4	-	H7	H10	-	1,511	79	・北遠地域の道路は山岳部という地形のため、防災面で脆弱なネットワーク。 ・県境付近では高齢化の進展等により、救急出動件数が増加傾向にあり、土砂災害等による通行止めで円滑な救急活動に支障。 ・水窪佐久間道路の新規事業化	・長野県飯田市山本から長野県下伊那郡喬木村氏乗(延長22.1km)は、早期開通に向けて工事を推進。	事業全体 (1.2) 残事業 (7.7)	事業継続	
5	高	⑤	静岡 長野	474	一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路	・一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路は、長野県飯田市南信濃八重河内から静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家に至る延長5.9kmの自動車専用道路。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の確保 ・救急医療活動の支援 ・地域活性化の支援 ・産業活動の活性化	5.9	S58	-	H23	H23	-	578	44	・北遠地域の道路は山岳部という地形のため、防災面で脆弱なネットワーク。 ・県境付近では高齢化の進展等により、救急出動件数が増加傾向にあり、土砂災害等による通行止めで円滑な救急活動に支障。 ・水窪佐久間道路の新規事業化	・長野県飯田市南信濃八重河内から静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家(延長5.9km)は、早期開通に向けて工事を推進。	事業全体 (1.8) 残事業 (4.2)	事業継続	
6	高	⑤	静岡	474	一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	・一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路は、静岡県浜松市天竜区水窪町から浜松市天竜区佐久間町に至る延長14.4kmの自動車専用道路。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の確保 ・救急医療活動の支援 ・地域活性化の支援 ・産業活動の活性化	14.4	H31	-	-	-	-	900	0	・北遠地域の道路は山岳部という地形のため、防災面で脆弱なネットワーク。 ・県境付近では高齢化の進展等により、救急出動件数が増加傾向にあり、土砂災害等による通行止めで円滑な救急活動に支障。	・静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家から浜松市天竜区佐久間町川合(延長14.4km)においては、早期工事着手に向けて調査設計を推進。	事業全体 (1.1) 残事業 (1.1)	事業継続	
7	高	⑤	愛知 静岡	474	一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	・一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路は、静岡県浜松市天竜区佐久間町川合から浜松市北区引佐町東黒田に至る延長27.9kmの自動車専用道路。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・災害に強い道路機能の確保 ・救急医療活動の支援 ・地域活性化の支援 ・産業活動の活性化	27.9	H5	-	H13	H15	20.8	1,764	87	・北遠地域の道路は山岳部という地形のため、防災面で脆弱なネットワーク。 ・県境付近では高齢化の進展等により、救急出動件数が増加傾向にあり、土砂災害等による通行止めで円滑な救急活動に支障。 ・水窪佐久間道路の新規事業化	・静岡県浜松市天竜区佐久間町川合から浜松市北区引佐町東黒田(延長27.9km)は、早期開通に向けて工事を推進。	事業全体 (1.2) 残事業 (8.8)	事業継続	

※1. (事業種別) 高規格:高 地域高規格:地高 一般1次改築:1次 一般2次改築:2次
※2. (再評価該当項目)
①事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
②事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
③準備・計画段階で3年間が経過している事業
④再評価実施後5年間が経過している事業
⑤社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
※印は国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の改定による期間

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度：	令和元年度	事業名：	一般国道153号 豊田北バイパス
担当課：	道路計画課	担当課長名：	大西 宵平

項目	判定		
	判断根拠	チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■	
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
事業費の増加	事業費の増加が10%以内(前回:376億円→今回:409億円 約8.8%の増額)	□	■
事業期間の増加	事業期間の増加が10%以内(前回:22年→今回:24年 約9.1%増加)	□	■
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更ある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→今回:費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	□	
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量の減少が10%以内 (前回:2,769,460TE/日→今回:2,771,905TE/日 約0.1%増加)		■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。		■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (事業全体) (残事業) 交通量 B/C=3.2 交通量 B/C=5.9 事業費 B/C=3.3 事業費 B/C=6.0 事業期間 B/C=3.4 事業期間 B/C=6.2		■
前回評価で資料の作成を省略していない			■
前回評価で費用対効果分析を省略していない			■
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	—	—	

以上より、審議区分：一括 資料：省略 費用対効果分析：実施 とする。

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度：	令和元年度	事業名：	一般国道155号 豊田南バイパス
担当課：	道路計画課	担当課長名：	大西 宵平

項目	判定		
	判断根拠		チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い		■
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
事業費の増加	事業費の増加が10%以内(前回:791億円→今回:841億円 約6.3%の増額)	☐	■
事業期間の増加	事業期間の増加が10%以内(前回:55年→今回:60年 約9.1%増加)	☐	■
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更ある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→今回:費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	☐	
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量の減少が10%以内 (前回:4,971,938TE/日→今回:5,088,448TE/日 約2.3%増加)		■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。		■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (事業全体) (残事業) 交通量 B/C=2.7 交通量 B/C=8.2 事業費 B/C=3.0 事業費 B/C=8.5 事業期間 B/C=2.9 事業期間 B/C=8.8		■
前回評価で資料の作成を省略していない			■
前回評価で費用対効果分析を省略していない			■
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	—		—

以上より、審議区分

一括

資料

省略

費用対効果分析

実施

とする。

- 4 -

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度：	令和元年度	事業名：	一般国道474号 三遠南信自動車道 飯喬道路
担当課：	道路計画課	担当課長名：	大西 宵平

項目		判定		
		判断根拠		チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
	事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■	
前回評価からの事業費・事業期間の増加				
	事業費の増加	変更が無い	■	□
	事業期間の増加	変更が無い	■	□
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等				
	費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→今回:費用便益分析マニュアル((平成30年2月))	□	
	需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の減少が10%以内 (前回:431,448TE/日→今回:409,616TE/日 約5.1%減少)	■	
	周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化あり (平成31年度新規事業化 一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路)	□	
	下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (全体事業) (残事業) 交通量 B/C=1.3 交通量 B/C=1.3 事業費 B/C=1.3 事業費 B/C=1.5 事業期間 B/C=1.2 事業期間 B/C=1.4	■	
前回評価で資料の作成を省略していない			■	
前回評価で費用対効果分析を省略していない			□	
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)		(自由記述)		—

以上より、審議区分：一括資料：省略費用対効果分析：実施とする。

- 5 -

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度：

令和元年度

事業名：

一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路

担当課：

道路計画課

担当課長名：

大西 宵平

項目	判定			
	判断根拠	チェック欄		
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■		
前回評価からの事業費・事業期間の増加				
事業費の増加	変更が無い	■	増加無し	□ 10%以内増加
事業期間の増加	変更が無い	■		□
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等				
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更が無い	■		
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の減少が10%以内 (前回:499,579TE/日→今回:499,579TE/日 変動なし)	■		
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化あり (平成31年度新規事業化 一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路)	□		
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (全体事業) 交通量 B/C=1.5 事業費 B/C=1.4 事業期間 B/C=1.4 (残事業) 交通量 B/C=2.9 事業費 B/C=2.6 事業期間 B/C=2.8	■		
前回評価で資料の作成を省略していない		■		
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■		
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	(自由記述)		—	

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度：

令和元年度

事業名：

一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路

担当課：

道路計画課

担当課長名：

大西 宵平

項目	判定			
	判断根拠	チェック欄		
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■		
前回評価からの事業費・事業期間の増加				
事業費の増加	変更が無い	■	10%以内増加 □	
事業期間の増加	変更が無い	■	□	
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等				
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更が無い	■		
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の減少が10%以内 (前回:3,358,716TE/日→今回:3,358,716TE/日 変動なし)	■		
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■		
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (全体事業) 交通量 B/C=1.01 事業費 B/C=1.02 事業期間 B/C=1.1	■		
前回評価で資料の作成を省略していない		■		
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■		
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	(自由記述)		—	

以上より、審議区分：

一括

資料：

省略

費用対効果分析：

実施

とする。

- 7 -

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度：

令和元年度

事業名：

一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路

担当課：

道路計画課

担当課長名：

大西 宵平

項目	判定		
	判断根拠	チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■	
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
事業費の増加	事業費の増加は10%以内 (前回:1,669億円→今回:1,764億円 約5.7%の増額)	☐	■
事業期間の増加	事業期間の増加は10%以内 (前回:令和2年(28年間)→今回:令和4年(30年間) 約7.1%の増額)	☐	■
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更がある (前回:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)→今回:費用便益分析マニュアル(平成30年2月))	☐	
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	需要量等の減少が10%以内 (前回:3,753,143TE/日→今回:3,784,899TE/日 約0.8%増加)		■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化あり (平成31年度新規事業化 一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路)	☐	
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (全体事業) 交通量 B/C=1.1 事業費 B/C=1.1 事業期間 B/C=1.1 (残事業) 交通量 B/C=1.7 事業費 B/C=1.8 事業期間 B/C=1.9		■
前回評価で資料の作成を省略していない			■
前回評価で費用対効果分析を省略していない		☐	
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	(自由記述)	—	

以上より、審議区分：

一括

資料：

省略_8_

費用対効果分析：

実施

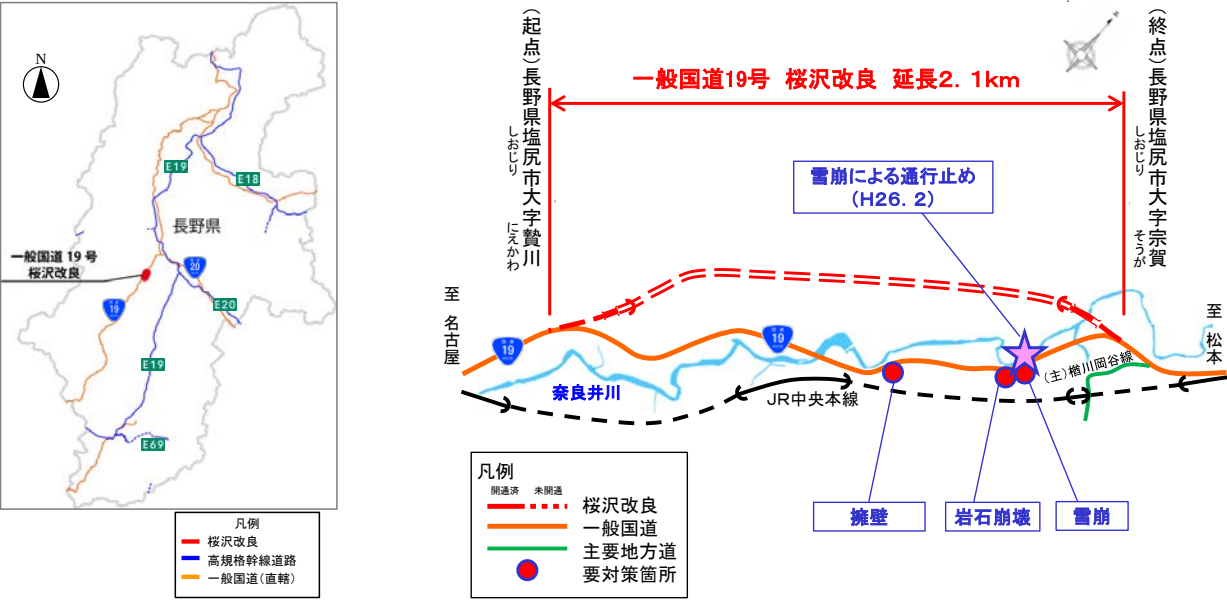
とする。

再評価結果（令和２年度事業継続箇所）（原案）

担 当 課： _____

担当課長名： _____

事業名	一般国道１９号 さくらざわ 桜沢改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：長野県 しおじり 塩尻市大字 にえかわ 贅川 至：長野県 しおじり 塩尻市大字 そうが 宗賀			延長	2. 1 km
事業概要	一般国道１９号 さくらざわ 桜沢改良は、長野県 しおじり 塩尻市大字 にえかわ 贅川から同市大字 そうが 宗賀に至る延長2. 1 kmのバイパスであり、局所的な防災対策事業として現道の防災課題箇所を回避し、利用者の安全・安心な走行を目的に計画された道路です。 現道区間には、要対策箇所が3箇所あり、平成26年2月に雪崩による通行止めが発生、線形不良による交通事故の多発などの課題があります。				
H19年度事業化	—	H21年度用地着手	H24年度工事着手		
全体事業費	105億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約53%	供用済延長	0. 0 km
地域の防災面の課題	・当該区間には、防災上課題のある箇所として、道路災害に直接結びつく可能性の高い要対策箇所が3箇所、過去には雪崩や豪雨により土石流、冠水が発生するなど災害の発生しやすい地域である。 ・特に、要対策箇所（擁壁・落石）においては、空石積擁壁中央付近に、9 cm程度のせり出し、石の抜け落ちや、新たな落石（平成25年7月）が発生しており、抜本的な対応が早急に必要である。 （中部防災技術専門委員会（平成25年10月18日））				
課題を踏まえた対策・事業内容	・事業内容は、現状の課題（防災上の課題、過去の災害、線形不良、災害・事故等による通行止め、生活環境）を解決する対策検討の視点として、要対策箇所や線形不良区間での事故懸念及び経済性などを総合的に検討しており、現在の計画案が技術的に適切な対策案であると判断出来る。 ・事業の対策内容のコストについて、土工区間、橋梁、トンネル等について、現時点での調査結果（地質調査等）及び類似事業対策から決定しており、適正コストが計上されているため妥当だと判断出来る。 （中部防災技術専門委員会（平成25年10月18日））				
事業の効果等	① 災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 （120億円（残事業=120億円）） ② 災害による被害の回避 ・日常生活への影響の回避等 ・通行止めによる迂回避の効果 ・観光への影響の回避 ・孤立集落の発生や復旧活動の遅れの回避		費用	（残事業）／（事業全体） 30 / 113 億円 事業費： 19/ 102 億円 維持管理費： 11/ 11 億円	
関係する地方公共団体等の意見	長野県知事の意見： 一般国道１９号は、本県及び国土の骨格となる重要な道路であり、「桜沢改良」は、地域における日常生活、広域交通の安全・円滑化、観光の活性化に必要不可欠な事業です。 ついては、事業を継続し、積極的な予算確保と早期完成に向けた事業の推進を強く要望します。 また、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いします。				

事業評価監視委員会の意見	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
・平成26年2月、要対策箇所で雪崩が発生し、約27時間の全面通行止め規制を実施。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
・事業進捗率は約53%、用地進捗率100%。（平成31年度3月末時点） ・今年度は塩尻市大字贅川～塩尻市大字宗賀（延長2.1km）のトンネル工等を実施。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・塩尻市大字贅川～塩尻市大字宗賀（延長2.1km）は、早期開通に向けて、工事を推進します。	
施設の構造や工法の変更等	
・今後、技術の進展に伴う新工法の採用等によるコスト縮減に努めながら事業を推進する。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
事業の必要性は変化なく、防災面の効果が見込まれるため。	
事業概要図	
	

- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道 19 号 桜沢改良
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	☒ 便益が費用を上回っている	■費用 ☐ 事業全体 事業費：102億円 維持管理費：11億円 ☐ 残事業 事業費：19億円 維持管理費：11億円 ■効果 ☐ 災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等 120億円 (注1) 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。 (注2) 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	☐ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	
	☐ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
	☐ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	☐ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
	☐ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	☐ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	☐ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
		☐ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる
		☐ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する
	都市の再生	☐ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		☐ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する

		☐ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		☐ 中心市街地内で行う事業である	
		☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		☐ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		☐ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☐ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		☐ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	☐ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	
3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

	災害への備え	■ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	木曾郡木祖村
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	第一次緊急輸送道路
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道19号現道（塩尻市大字賛川～塩尻市大字宗賀）区間が、災害等で通行止めになった際の代替路として機能
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：361t/年（28,927t/年→28,506t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・SPM法対策地域指定の別：対象外 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績：なし （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：（区間名）国道19号（塩尻市片平地区～桜沢地区） 排出削減量：1.5t/年（101.3t/年→99.8t/年）、排出削減率：1.5%
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・SPM法対策地域指定の別：対象外 SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績：なし （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：（区間名）国道19号（塩尻市片平地区～桜沢地区） 排出削減量：0.0t/年（5.6t/年→5.6t/年）、排出削減率：0.2%
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		■ その他、環境や景観上の効果が期待される	夜間騒音値の低減 国道19号（塩尻市片平地区）：69dB⇒48dB
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要がある	
		☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

※便益は、災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮 等

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
一般国道19号	桜沢改良	L=2.1km	二次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,400	2	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	96億円	27億円	123億円
うち残事業分	20億円	27億円	47億円
基準年における 現在価値 (C)	102億円	11億円	113億円
うち残事業分	19億円	11億円	30億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	令和4年度			
単年便益 (初年便益)	5.9億円	0.22億円	0.08億円	6.2億円
基準年における 現在価値 (B)	114億円	4.1億円	1.6億円	120億円
うち残事業分	114億円	4.1億円	1.6億円	120億円

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道19号 桜沢改良（事業全体）

（推計時点 R12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 改築区間：2.1km	交通量※ ¹	[台/日]	－	11,400
	走行時間※ ²	[分]	－	4
	走行時間費用※ ³	[億円/年]	－	9.73
②主な周 辺道路※ ⁴ 2.4km	国道19号 並行区間	交通量	11,100	100
		走行時間	6	6
		走行時間費用	15.08	0.05
③その他道路合計 10.2km		走行時間費用	45.86	45.12

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A－B)
合計：14.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	60.94	54.90	6.04

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道19号 桜沢改良（残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 改築区間：2.1km	交通量※ ¹	[台/日]	－	11,400
	走行時間※ ²	[分]	－	4
	走行時間費用※ ³	[億円/年]	－	9.73
②主な周辺道路※ ⁴ 国道19号 並行区間 2.4km	交通量	[台/日]	11,100	100
	走行時間	[分]	6	6
	走行時間費用	[億円/年]	15.08	0.05
③その他道路合計 10.2km	走行時間費用	[億円/年]	45.86	45.12

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A－B)
合計：14.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	60.94	54.90	6.04

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道19号 桜沢改良

(2)

項目		チェック欄			
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒			
	その他	☐			
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間			
	社会的割引率	4%			
	基準年次	令和元年度			
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)		
		複数時点での推計	☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載		
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H22センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐	
		その他()		☐	
				☐	
	開発交通量の考慮	無		☒	
		有		☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	() 台トリップ/日	
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		☐	
		転換率式を用いた配分		☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐	
		簡易手法		☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である		☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない		☐
			その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)					
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。				
	最終配分の速度 採用理由を記載		☐		
	その他()		☐		

事業名：一般国道19号 桜沢改良

(3)

	項目	チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☐	
		考慮する	☒	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去20年間の当該区間での通行止め実績62時間から年間の通行止め日数を算定	(0.13) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	☐
	冬期交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒	
		その他 ()	☐	
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒	
		独自に設定した値を使用	☐	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
その他				

事業名： 一般国道19号 桜沢改良

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☒	
		その他(概略事業計画による値を採用)	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☒	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道19号 桜沢改良 (事業全体)				維持修繕費の単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.28	2.1	0.59	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-16年目	H 18	1.6651	105.9				
-15年目	H 19	1.6010	105.0	0.69	1.08		
-14年目	H 20	1.5395	104.4	0.48	0.74		
-13年目	H 21	1.4802	103.0	0.92	1.37		
-12年目	H 22	1.4233	101.3	0.86	1.25		
-11年目	H 23	1.3686	99.8	0.86	1.21		
-10年目	H 24	1.3159	99.0	3.71	5.09		
-9年目	H 25	1.2653	99.0	0.86	1.13		
-8年目	H 26	1.2167	101.5	1.94	2.40		
-7年目	H 27	1.1699	103.0	4.44	5.20		
-6年目	H 28	1.1249	102.8	9.72	10.96		
-5年目	H 29	1.0816	103.0	8.04	8.69		
-4年目	H 30	1.0400	103.0	11.85	12.33		
基準年	R 1	1.0000	103.0	31.64	31.64		
-2年目	R 2	0.9615	103.0	12.55	12.06		
-1年目	R 3	0.9246	103.0	7.93	7.33		
供用開始年次	R 4	0.8890	103.0			0.54	0.48
1年目	R 5	0.8548	103.0			0.54	0.46
2年目	R 6	0.8219	103.0			0.54	0.44
3年目	R 7	0.7903	103.0			0.54	0.42
4年目	R 8	0.7599	103.0			0.54	0.41
5年目	R 9	0.7307	103.0			0.54	0.39
6年目	R 10	0.7026	103.0			0.54	0.38
7年目	R 11	0.6756	103.0			0.54	0.36
8年目	R 12	0.6496	103.0			0.54	0.35
9年目	R 13	0.6246	103.0			0.54	0.34
10年目	R 14	0.6006	103.0			0.54	0.32
11年目	R 15	0.5775	103.0			0.54	0.31
12年目	R 16	0.5553	103.0			0.54	0.30
13年目	R 17	0.5339	103.0			0.54	0.29
14年目	R 18	0.5134	103.0			0.54	0.28
15年目	R 19	0.4936	103.0			0.54	0.26
16年目	R 20	0.4746	103.0			0.54	0.25
17年目	R 21	0.4564	103.0			0.54	0.24
18年目	R 22	0.4388	103.0			0.54	0.24
19年目	R 23	0.4220	103.0			0.54	0.23
20年目	R 24	0.4057	103.0			0.54	0.22
21年目	R 25	0.3901	103.0			0.54	0.21
22年目	R 26	0.3751	103.0			0.54	0.20
23年目	R 27	0.3607	103.0			0.54	0.19
24年目	R 28	0.3468	103.0			0.54	0.19
25年目	R 29	0.3335	103.0			0.54	0.18
26年目	R 30	0.3207	103.0			0.54	0.17
27年目	R 31	0.3083	103.0			0.54	0.17
28年目	R 32	0.2965	103.0			0.54	0.16
29年目	R 33	0.2851	103.0			0.54	0.15
30年目	R 34	0.2741	103.0			0.54	0.15
31年目	R 35	0.2636	103.0			0.54	0.14
32年目	R 36	0.2534	103.0			0.54	0.14
33年目	R 37	0.2437	103.0			0.54	0.13
34年目	R 38	0.2343	103.0			0.54	0.13
35年目	R 39	0.2253	103.0			0.54	0.12
36年目	R 40	0.2166	103.0			0.54	0.12
37年目	R 41	0.2083	103.0			0.54	0.11
38年目	R 42	0.2003	103.0			0.54	0.11
39年目	R 43	0.1926	103.0			0.54	0.10
40年目	R 44	0.1852	103.0			0.54	0.10
41年目	R 45	0.1780	103.0			0.54	0.10
42年目	R 46	0.1712	103.0			0.54	0.09
43年目	R 47	0.1646	103.0			0.54	0.09
44年目	R 48	0.1583	103.0			0.54	0.08
45年目	R 49	0.1522	103.0			0.54	0.08
46年目	R 50	0.1463	103.0			0.54	0.08
47年目	R 51	0.1407	103.0			0.54	0.08
48年目	R 52	0.1353	103.0			0.54	0.07
49年目	R 53	0.1301	103.0	-0.10	-0.01	0.54	0.07
合 計				96.40	102.45	26.82	10.65
単純事業費計				96.49		26.82	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道19号 桜沢改良 (残事業)				維持修繕費の単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.28	2.1	0.59	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在	単価	現在
-16年目	H 18	1.6651	105.9				
-15年目	H 19	1.6010	105.0				
-14年目	H 20	1.5395	104.4				
-13年目	H 21	1.4802	103.0				
-12年目	H 22	1.4233	101.3				
-11年目	H 23	1.3686	99.8				
-10年目	H 24	1.3159	99.0				
-9年目	H 25	1.2653	99.0				
-8年目	H 26	1.2167	101.5				
-7年目	H 27	1.1699	103.0				
-6年目	H 28	1.1249	102.8				
-5年目	H 29	1.0816	103.0				
-4年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-2年目	R 2	0.9615	103.0	12.55	12.06		
-1年目	R 3	0.9246	103.0	7.93	7.33		
供用開始年次	R 4	0.8890	103.0			0.54	0.48
1年目	R 5	0.8548	103.0			0.54	0.46
2年目	R 6	0.8219	103.0			0.54	0.44
3年目	R 7	0.7903	103.0			0.54	0.42
4年目	R 8	0.7599	103.0			0.54	0.41
5年目	R 9	0.7307	103.0			0.54	0.39
6年目	R 10	0.7026	103.0			0.54	0.38
7年目	R 11	0.6756	103.0			0.54	0.36
8年目	R 12	0.6496	103.0			0.54	0.35
9年目	R 13	0.6246	103.0			0.54	0.34
10年目	R 14	0.6006	103.0			0.54	0.32
11年目	R 15	0.5775	103.0			0.54	0.31
12年目	R 16	0.5553	103.0			0.54	0.30
13年目	R 17	0.5339	103.0			0.54	0.29
14年目	R 18	0.5134	103.0			0.54	0.28
15年目	R 19	0.4936	103.0			0.54	0.26
16年目	R 20	0.4746	103.0			0.54	0.25
17年目	R 21	0.4564	103.0			0.54	0.24
18年目	R 22	0.4388	103.0			0.54	0.24
19年目	R 23	0.4220	103.0			0.54	0.23
20年目	R 24	0.4057	103.0			0.54	0.22
21年目	R 25	0.3901	103.0			0.54	0.21
22年目	R 26	0.3751	103.0			0.54	0.20
23年目	R 27	0.3607	103.0			0.54	0.19
24年目	R 28	0.3468	103.0			0.54	0.19
25年目	R 29	0.3335	103.0			0.54	0.18
26年目	R 30	0.3207	103.0			0.54	0.17
27年目	R 31	0.3083	103.0			0.54	0.17
28年目	R 32	0.2965	103.0			0.54	0.16
29年目	R 33	0.2851	103.0			0.54	0.15
30年目	R 34	0.2741	103.0			0.54	0.15
31年目	R 35	0.2636	103.0			0.54	0.14
32年目	R 36	0.2534	103.0			0.54	0.14
33年目	R 37	0.2437	103.0			0.54	0.13
34年目	R 38	0.2343	103.0			0.54	0.13
35年目	R 39	0.2253	103.0			0.54	0.12
36年目	R 40	0.2166	103.0			0.54	0.12
37年目	R 41	0.2083	103.0			0.54	0.11
38年目	R 42	0.2003	103.0			0.54	0.11
39年目	R 43	0.1926	103.0			0.54	0.10
40年目	R 44	0.1852	103.0			0.54	0.10
41年目	R 45	0.1780	103.0			0.54	0.10
42年目	R 46	0.1712	103.0			0.54	0.09
43年目	R 47	0.1646	103.0			0.54	0.09
44年目	R 48	0.1583	103.0			0.54	0.08
45年目	R 49	0.1522	103.0			0.54	0.08
46年目	R 50	0.1463	103.0			0.54	0.08
47年目	R 51	0.1407	103.0			0.54	0.08
48年目	R 52	0.1353	103.0			0.54	0.07
49年目	R 53	0.1301	103.0			0.54	0.07
合 計				20.47	19.39	26.82	10.65
単純事業費計				20.47		26.82	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道19号 桜沢改良（事業全体・残事業）（通常+災害）

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
								乗用車類 小型貨物 普通貨物 全 車				乗用車類 小型貨物 普通貨物 ① 計		現在価値 ①×(A)	乗用車類 小型貨物 普通貨物 ② 計		現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
		R 1																			
供用開始年次	R 4	0.99967	0.98639	1.00847	0.99911	0.8890	103.0	2.20	0.68	3.04	5.92	5.27	0.13	0.04	0.05	0.22	0.20	0.08	0.08	6.23	5.54
1年目	R 5	0.99967	0.98620	1.00840	0.99911	0.8548	103.0	2.20	0.67	3.07	5.94	5.08	0.13	0.04	0.05	0.22	0.19	0.08	0.07	6.24	5.34
2年目	R 6	0.99967	0.98601	1.00833	0.99911	0.8219	103.0	2.20	0.66	3.10	5.96	4.90	0.13	0.04	0.05	0.22	0.18	0.08	0.07	6.26	5.15
3年目	R 7	0.99967	0.98581	1.00826	0.99910	0.7903	103.0	2.20	0.65	3.12	5.97	4.72	0.13	0.03	0.05	0.22	0.17	0.08	0.07	6.28	4.96
4年目	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7599	103.0	2.20	0.64	3.15	5.99	4.55	0.13	0.03	0.05	0.22	0.17	0.08	0.06	6.29	4.78
5年目	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	2.20	0.63	3.17	6.00	4.39	0.13	0.03	0.05	0.22	0.16	0.08	0.06	6.31	4.61
6年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	2.20	0.62	3.20	6.02	4.23	0.13	0.03	0.05	0.22	0.15	0.08	0.06	6.32	4.44
7年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	103.0	2.20	0.61	3.22	6.04	4.08	0.13	0.03	0.05	0.22	0.15	0.08	0.06	6.34	4.28
8年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	2.20	0.60	3.25	6.05	3.93	0.13	0.03	0.05	0.22	0.14	0.08	0.05	6.35	4.13
9年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	2.18	0.60	3.25	6.02	3.76	0.13	0.03	0.05	0.22	0.14	0.08	0.05	6.32	3.95
10年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	2.17	0.59	3.24	6.00	3.60	0.13	0.03	0.05	0.22	0.13	0.08	0.05	6.30	3.78
11年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	2.15	0.59	3.23	5.97	3.45	0.13	0.03	0.05	0.21	0.12	0.08	0.05	6.27	3.62
12年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	2.13	0.58	3.23	5.94	3.30	0.13	0.03	0.05	0.21	0.12	0.08	0.05	6.24	3.46
13年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	2.12	0.57	3.22	5.92	3.16	0.13	0.03	0.05	0.21	0.11	0.08	0.04	6.21	3.31
14年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	2.10	0.57	3.22	5.89	3.02	0.13	0.03	0.05	0.21	0.11	0.08	0.04	6.18	3.17
15年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	2.09	0.56	3.21	5.86	2.89	0.13	0.03	0.05	0.21	0.10	0.08	0.04	6.15	3.04
16年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	2.07	0.56	3.21	5.83	2.77	0.12	0.03	0.05	0.21	0.10	0.08	0.04	6.12	2.91
17年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	2.05	0.55	3.20	5.81	2.65	0.12	0.03	0.05	0.21	0.09	0.08	0.04	6.09	2.78
18年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	2.04	0.54	3.20	5.78	2.54	0.12	0.03	0.05	0.20	0.09	0.08	0.03	6.06	2.66
19年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	2.02	0.54	3.19	5.75	2.43	0.12	0.03	0.05	0.20	0.09	0.08	0.03	6.03	2.55
20年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	2.00	0.53	3.19	5.73	2.32	0.12	0.03	0.05	0.20	0.08	0.08	0.03	6.01	2.44
21年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	1.99	0.53	3.18	5.70	2.22	0.12	0.03	0.05	0.20	0.08	0.08	0.03	5.98	2.33
22年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	1.97	0.52	3.18	5.67	2.13	0.12	0.03	0.05	0.20	0.07	0.08	0.03	5.95	2.23
23年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	1.96	0.52	3.17	5.65	2.04	0.12	0.03	0.05	0.20	0.07	0.08	0.03	5.92	2.13
24年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	1.94	0.51	3.17	5.62	1.95	0.12	0.03	0.05	0.20	0.07	0.07	0.03	5.89	2.04
25年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	1.92	0.50	3.16	5.59	1.86	0.12	0.03	0.05	0.20	0.07	0.07	0.02	5.86	1.95
26年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	1.91	0.50	3.16	5.56	1.78	0.11	0.03	0.05	0.19	0.06	0.07	0.02	5.83	1.87
27年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	1.89	0.49	3.15	5.54	1.71	0.11	0.03	0.05	0.19	0.06	0.07	0.02	5.80	1.79
28年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	1.87	0.49	3.15	5.51	1.63	0.11	0.03	0.05	0.19	0.06	0.07	0.02	5.77	1.71
29年目	R 33	0.99132	0.98795	0.99838	0.99221	0.2851	103.0	1.86	0.48	3.14	5.48	1.56	0.11	0.03	0.05	0.19	0.05	0.07	0.02	5.74	1.64
30年目	R 34	0.99125	0.98783	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	1.84	0.47	3.14	5.46	1.50	0.11	0.03	0.05	0.19	0.05	0.07	0.02	5.72	1.57
31年目	R 35	0.99118	0.98770	0.99837	0.99210	0.2636	103.0	1.83	0.47	3.13	5.43	1.43	0.11	0.03	0.05	0.19	0.05	0.07	0.02	5.69	1.50
32年目	R 36	0.99111	0.98758	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	1.81	0.46	3.13	5.40	1.37	0.11	0.02	0.05	0.19	0.05	0.07	0.02	5.66	1.43
33年目	R 37	0.99105	0.98745	0.99837	0.99199	0.2437	103.0	1.79	0.46	3.12	5.37	1.31	0.11	0.02	0.05	0.18	0.04	0.07	0.02	5.63	1.37
34年目	R 38	0.99098	0.98732	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	1.78	0.45	3.12	5.35	1.25	0.11	0.02	0.05	0.18	0.04	0.07	0.02	5.60	1.31
35年目	R 39	0.99091	0.98720	0.99836	0.99188	0.2253	103.0	1.76	0.45	3.11	5.32	1.20	0.11	0.02	0.05	0.18	0.04	0.07	0.02	5.57	1.26
36年目	R 40	0.99084	0.98707	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	1.75	0.44	3.11	5.29	1.15	0.11	0.02	0.05	0.18	0.04	0.07	0.01	5.54	1.20
37年目	R 41	0.99077	0.98695	0.99836	0.99177	0.2083	103.0	1.73	0.43	3.10	5.27	1.10	0.10	0.02	0.05	0.18	0.04	0.07	0.01	5.51	1.15
38年目	R 42	0.99071	0.98682	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	1.71	0.43	3.10	5.24	1.05	0.10	0.02	0.05	0.18	0.04	0.07	0.01	5.49	1.10
39年目	R 43	0.99064	0.98669	0.99835	0.99166	0.1926	103.0	1.70	0.42	3.09	5.21	1.00	0.10	0.02	0.05	0.18	0.03	0.07	0.01	5.46	1.05
40年目	R 44	0.99057	0.98657	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	1.68	0.42	3.09	5.19	0.96	0.10	0.02	0.05	0.17	0.03	0.07	0.01	5.43	1.01
41年目	R 45	0.99050	0.98644	0.99835	0.99155	0.1780	103.0	1.67	0.41	3.08	5.16	0.92	0.10	0.02	0.05	0.17	0.03	0.07	0.01	5.40	0.96
42年目	R 46	0.99043	0.98632	0.99835	0.99149	0.1712	103.0	1.65	0.41	3.08	5.13	0.88	0.10	0.02	0.05	0.17	0.03	0.06	0.01	5.37	0.92
43年目	R 47	0.99037	0.98619	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	1.63	0.40	3.07	5.11	0.84	0.10	0.02	0.05	0.17	0.03	0.06	0.01	5.34	0.88
44年目	R 48	0.99030	0.98606	0.99834	0.99138	0.1583	103.0	1.62	0.40	3.07	5.08	0.80	0.10	0.02	0.05	0.17	0.03	0.06	0.01	5.31	0.84
45年目	R 49	0.99023	0.98594	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	1.60	0.39	3.06	5.06	0.77	0.10	0.02	0.05	0.17	0.03	0.06	0.01	5.29	0.80
46年目	R 50	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1463	103.0	1.59	0.38	3.06	5.03	0.74	0.10	0.02	0.05	0.17	0.02	0.06	0.01	5.26	0.77
47年目	R 51	0.99009	0.98569	0.99833	0.99121	0.1407	103.0	1.57	0.38	3.05	5.00	0.70	0.09	0.02	0.05	0.17	0.02	0.06	0.01	5.23	0.74.

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	桜沢改良	2	2.1km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	9,285	
	改良費		式	1	566	
		土工	m3	30,270	60	切土(30,270m3)、盛土(0m3)、残土処理(22,600m3)
		軟弱地盤改良工	m3	－		
		法面工	m²	3,850	340	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	90	L型擁壁、U型擁壁、ブロック積み擁壁等
		管渠工	m	33	1	
		函渠工	m	11	12	付替市道部本線横断
		排水工	m	1,720	41	
		中央分離帯工	m	－		
		雑工	式	1	22	撤去工
	橋梁費		式	1	507	
		100m以上	m	－		
		100m未満	m	84	507	鋼橋1橋、PC橋1橋
	トンネル費		式	1	8,018	
		NATM	m	1,499	8,018	
		シールド	m	－		
	IC・JCT費		式	1		
		IC	箇所	－		
		JCT	箇所	－		
	舗装費		式	1	125	
		車道舗装	m²	6,273	122	
		歩道舗装	m²	840	3	
	付帯施設費		式	1	69	
		交通管理施設工	式	1	69	防護柵、縁石、区画線、視線誘導、道路照明等
		遮音壁	m	－		
②用地及補償費			式	1	24	
	用地費		m²	10,856	10	
		宅地	m²	－		
		田畑	m²	1,432	6	
		山林・原野	m²	9,392	3	
		その他	m²	32	0.1	墓地
	補償費		式	1	14	
③間接経費			式	1	1,191	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					10,500	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	桜沢改良	2	2.1km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.1	600	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,350	路面補修、構造物の点検・補修等
その他				
維持管理費合計			2,950	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出する

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	桜沢改良	2	2.1km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費			式	1	2,081		
	改良費		式	1	19		
		土工	m3				
		軟弱地盤改良工	m3				
		法面工	m²				
		擁壁工	式	1	9	L型擁壁、U型擁壁、ブロック積み擁壁等	
		管渠工	m				
		函渠工	m				
		排水工	m	413	10		
		中央分離帯工	m				
		雑工	式				
	橋梁費		式				
		100m以上	m				
		100m未満	m				
	トンネル費		式	1	1,868		
		NATM	m	1,499	1,868		
		シールド	m				
	IC・JCT費		式				
		IC	箇所				
		JCT	箇所				
	舗装費		式	1	125		
		車道舗装	m²	6,273	122		
		歩道舗装	m²	840	3		
	付帯施設費		式	1	69		
		交通管理施設工	式	1	69	防護柵、縁石、区画線、視線誘導、道路照明等	
		遮音壁	m				
②用地及補償費			式				
	用地費		m²				
		宅地	m²				
		田畑	m²				
		山林・原野	m²				
		その他	m²				
	補償費		式				
③間接経費			式	1	171	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費					2,252		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道19号	桜沢改良	2	2.1km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.1	600	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,350	路面補修、構造物の点検・補修等
その他				
維持管理費合計			2,950	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出する

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

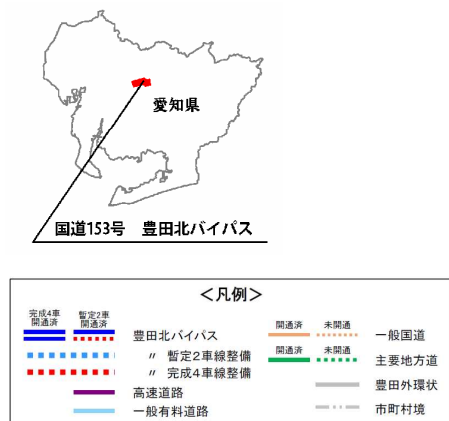
担 当 課：

担当課長名：

事業名		一般国道153号 豊田北バイパス		事業区分		一般国道		事業主体		国土交通省 中部地方整備局		
起終点		自：愛知県豊田市逢妻町 至：愛知県豊田市勘八町						延長		5.7km		
事業概要												
一般国道153号豊田北バイパスは、愛知県豊田市逢妻町を起点とし、同市勘八町に至る延長約5.7kmのバイパスであり、豊田外環状の一部を構成し、豊田市街地の交通渋滞の緩和、交通安全の確保及び東海環状自動車道豊田勘八ICへのアクセスの確保を目的に計画された道路です。 豊田市は自動車産業の集積地となっており、豊田市中心部や周辺路線には、主要渋滞箇所や、死傷事故率の高い箇所が多数存在するなど多くの課題があり、本事業は、課題解決のために豊田北バイパスを整備することで、交通渋滞の緩和や交通事故の削減、物流効率化の支援などの効果を見込んでいます。												
平成18・20年度事業化			昭和60年度都市計画決定 (計画変更：平成2年度)			平成21年度用地着手			平成25年度工事着手			
全体事業費		409億円		事業進捗率 (平成31年3月末時点)			約58%		供用済延長		0.8km	
計画交通量		37,800台/日										
費用対効果 分析結果		B/C (事業全体) 2.4 (3.4) (残事業) 12.2 (8.6)		総費用 (残事業)/(事業全体) 415/2,102億円 (事業費：253/1,940億円 維持管理費：162/162億円)			総便益 (残事業)/(事業全体) 5,051/5,051億円 (走行時間短縮便益：4,769/4,769億円 走行費用減少便益：266/266億円 交通事故減少便益：17/17億円)			基準年 令和元年		
感度分析の結果												
(事業全体) 交通量：B/C=2.2～2.6(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=11.0～13.4(交通量±10%) 事業費：B/C=2.4～2.4(事業費±10%) 事業費：B/C=11.5～13.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.3～2.5(事業期間±20%) 事業期間：B/C=12.0～12.3(事業期間±20%)												
事業の効果等												
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（名鉄バス等）が存在する。												
②都市の再生 ・区画整理（豊田市豊田平戸橋土地区画整理事業等）の沿道まちづくりとの連携あり。												
③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「衣浦豊田道路」の一部として、全区間が指定されている。												
④個性ある地域の形成 ・主要な観光地（香嵐渓等）へのアクセス向上が期待される。												
⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（豊田厚生病院）へのアクセス向上が見込まれる。												
⑥災害への備え ・現道の架替の必要のある老朽橋梁（平戸橋）における通行規制等が解消される。												
⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。												
⑧生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。												
⑨他のプロジェクトとの関係 ・関連する大規模道路（豊田南バイパス）と一体的に整備する必要がある。 ・豊田市都市計画マスタープランにて、2環状8放射3名古屋連絡道路を担う路線として位置づけられている。												

関係する地方公共団体等の意見	
地域から頂いた主な意見等：	
豊田市幹線道路整備促進協議会が早期整備を要望。	
6市から構成される衣浦豊田道路建設推進協議会が未開通区間の早期整備を要望。	
愛知県知事の意見：	
「対応方針（原案）」に対して異議はありません。	
一般国道153号豊田北バイパスは、豊田市市街地の外側を取り巻く豊田外環状線の一部として、東名・新東名高速道路、東海環状自動車道と一体となって広域的なネットワークを形成する大変重要な道路である。本道路が整備されることで、市街地の渋滞緩和や高速道路へのアクセス性向上により、定時性の確保、物流の効率化が図られる。さらに、災害時の緊急輸送道路としての機能も有しており、国土強靱化の観点からも重要な幹線道路である。そのため、未開通区間である豊田市逢妻町から平戸橋町間の工事を推進し、早期に開通時期を明確にするとともに、一日も早い開通をお願いしたい。	
なお、事業実施にあたりましては、一層のコスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。	
事業評価監視委員会の意見	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
・豊田市中心部を通過する国道153号は、朝夕の通勤時などに交通が集中し、豊田市中心部が地域の主要渋滞箇所（豊田エリア）として選定され、また周辺路線では主要渋滞箇所として、多数の区間・箇所が主要渋滞箇所として選定されており、交通混雑が著しい状況。 ・豊田市中心市街地および周辺の国道では、死傷事故率の高い区間が存在。 ・豊田市の製造品出荷額等は全国1位であり、とりわけ自動車産業の一大集積地。豊田市周辺には自動車組立工場が多数立地しており、部品工場からの輸送や、港・国内への完成車の輸送が多いほか、海外生産用自動車部品の輸送も多く、物流の効率化が必要。 ・豊田市内には、愛知県の第三次救急医療施設に指定されている「豊田厚生病院」と「トヨタ記念病院」の2つが存在。豊田市内最大規模である豊田厚生病院では、外来患者の約7割が豊田地区から来訪。豊田市内には市街地であっても、多量出血の死亡率が上昇する15分以内で到達できていない地域が存在。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
・事業進捗率は約58%（平成31年3月末）。用地取得率は約90%（平成31年3月末）。 ・豊田市逢妻町から平戸橋町間（延長4.9km）について、設計協議、用地買収を推進し、工事に着手します。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・豊田市逢妻町から平戸橋町間（延長4.9km）の、早期開通に向けて、用地買収及び工事を推進していく。	
施設の構造や工法の変更等	
・今後も、技術の進展に伴う新工法の採用等によるコスト縮減に努めながら事業を推進していく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。	

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道153号 豊田北バイパス
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比 (B/C) = 3.4(経済的純現在価値 (B-C) =1,009億円 経済的内部収益率 (EIRR) =10.4%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 8.6(経済的純現在価値 (B-C) =1,269億円 経済的内部収益率 (EIRR) =33.0%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
大項目	中項目		
1. 活力	円滑なモビリティの確保	■ 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(未整備): 40,054万人・時間/年 渋滞損失削減時間: 363万人・時間/年(40,054万人・時間/年 ⇒ 39,691万人・時間/年) 区間b(並行区間)について: 国道153号) 並行区間の渋滞損失時間(未整備): 105万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間: 32万人・時間/年(105万人・時間/年 ⇒ 73万人・時間/年) 並行区間の渋滞損失削減率: 3割削減
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間 国道153号(23301530340～23301530370:豊田市久保町3丁目) 対象区間 国道153号(23301530400～23301530400:豊田市勤八町長根)
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	名鉄バス(矢並線:豊田市～鞍ヶ池東、足助) とよたおいでんバス(旭・豊田線:豊田市～小渡)
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	豊田市豊田平戸橋土地区画整理事業、豊田浄水特定土地区画整理事業
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)の位置づけあり	
		■ 地域高規格道路の位置づけあり	「衣浦豊田道路」の一部として、全区間が指定
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合)	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☐ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	香嵐渓(年間入込客数81万人)、鞍ヶ池公園(年間入込客数130万人)、道の駅どんぐりの里(どんぐり横丁)(年間入込客数43万人)、猿投温泉(年間入込客数29万人)など[H29観光レクリエーション利用者統計]
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		☐ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	豊田厚生病院(救命救急センター)のアクセス向上(15分圏域カバー人口 13.6万人→15.5万人(1.9万人増))
3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		☐ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	
		☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A'路線としての位置づけがある場合)	
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	緊急輸送道路に指定される国道153号(現道)の矢作川渡河部である平戸橋は、大正時代に建設され老朽化が懸念されており、当該路線の供用により、国道153号(現道)が通行止め時の代替路になる
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	

4. 環境	地球環境の保全	■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 11.6千t/年 (6,102千t/年 ⇒ 6,090千t/年)
	生活環境の改善・保全	■ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別: 対象地域を含む(日進市、みよし市、豊田市) (推計結果) 評価対象区間(並行区間): (国道153号) 排出削減量: 8.5t/年、排出削減率: 3割削減
		■ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別: 対象地域を含む(日進市、みよし市、豊田市) (推計結果) 評価対象区間(並行区間): (国道153号) 排出削減量: 0.5t/年、排出削減率: 4割削減
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	国道155号 豊田南バイパスと一体的に整備する必要あり
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	豊田市都市計画マスタープランにおける道路整備の方針にて、2環状8放射3名古屋連絡道路を担う路線として位置づけられる
	その他	☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道153号	豊田北バイパス	L=5.7km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
37,800	4	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	385億円	108億円	493億円
うち残事業分	159億円	108億円	267億円
基準年における 現在価値 (C)	389億円	37億円	426億円
うち残事業分	130億円	37億円	167億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	令和7年度			
単年便益 (初年便益)	63億円	4.1億円	0.26億円	67億円
基準年における 現在価値 (B)	1,339億円	85億円	11億円	1,436億円
うち残事業分	1,339億円	85億円	11億円	1,436億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	3.4
経済的純現在価値（事業全体）	1,009億円
経済的内部収益率（事業全体）	10.4%
費用便益比（残事業）	8.6
経済的純現在価値（残事業）	1,269億円
経済的内部収益率（残事業）	33.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	37,800台/日	±10%	3.0～3.7
事業費	385億円	±10%	3.3～3.5
事業期間	24年	±20%	3.2～3.5

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	37,800台/日	±10%	7.7～9.5
事業費	159億円	±10%	8.0～9.3
事業期間	10年	±20%	8.3～8.8

交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道153号 豊田北バイパス（事業全体）

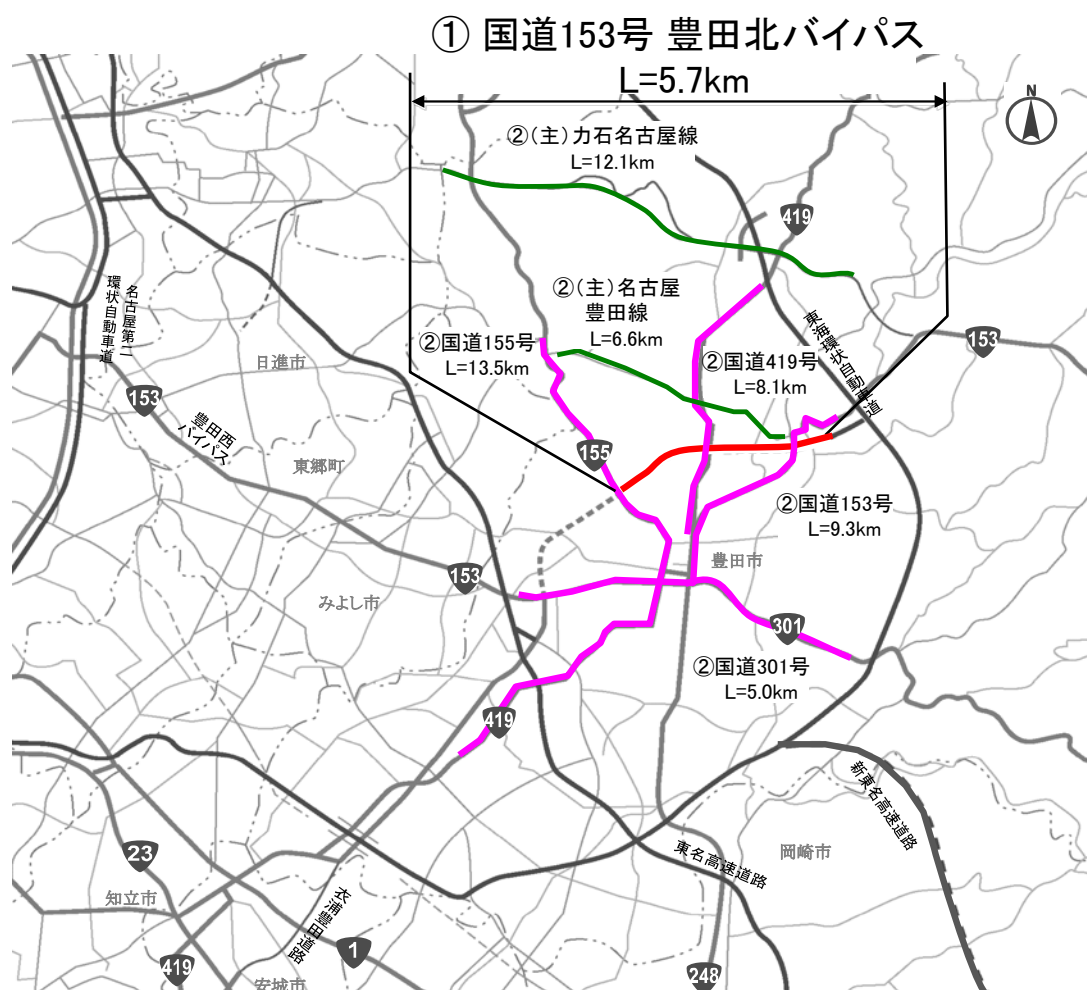
（推計時点 R12年）

			整備なし (A)		整備あり (B)	
①新設・改築道路 改築区間:5.7km			交通量※ ¹	[台/日]	0	37,800
			走行時間※ ²	[分]	0	8.8
			走行時間費用※ ³	[億円/年]	0.00	59.25
②主な周辺道路※ ⁴	国道153号: 9.3km	交通量	[台/日]	26,600	24,300	
		走行時間	[分]	21.8	20.2	
		走行時間費用	[億円/年]	101.31	86.02	
	国道155号: 13.5km	交通量	[台/日]	18,300	16,800	
		走行時間	[分]	32.1	31.0	
		走行時間費用	[億円/年]	102.51	90.61	
	(主)名古屋 豊田線: 6.6km	交通量	[台/日]	10,600	7,900	
		走行時間	[分]	17.6	15.8	
		走行時間費用	[億円/年]	33.70	22.20	
	国道419号: 8.1km	交通量	[台/日]	28,200	25,600	
		走行時間	[分]	21.4	19.5	
		走行時間費用	[億円/年]	104.73	89.08	
	(主)力石名 古屋線: 12.1km	交通量	[台/日]	15,400	14,000	
		走行時間	[分]	19.9	19.5	
		走行時間費用	[億円/年]	54.72	49.05	
	国道301号: 5.0km	交通量	[台/日]	31,000	28,700	
		走行時間	[分]	12.8	12.0	
		走行時間費用	[億円/年]	67.29	58.43	
③その他道路合計 : 3921.3km		走行時間費用	[億円/年]	19,941.54	19,862.51	

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 3,981.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	20,405.80	20,317.16	88.64

- ※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
 ※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
 ※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
 ※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。
 ※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道153号 豊田北バイパス（残事業）

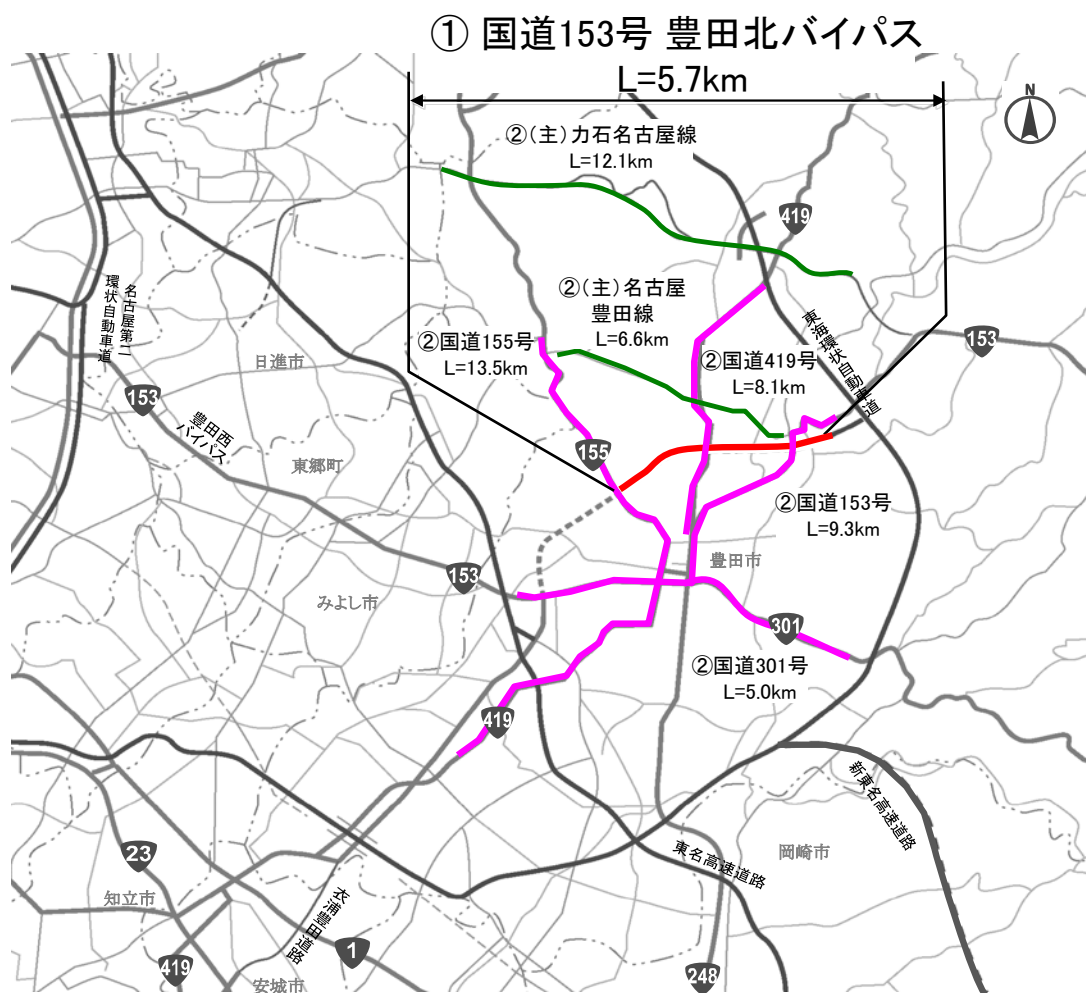
（推計時点 R12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 改築区間:5.7km		交通量※ ¹	[台/日]	0	37,800
		走行時間※ ²	[分]	0.0	8.8
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	0.00	59.25
②主な周辺道路※ ⁴	国道153号: 9.3km	交通量	[台/日]	26,600	24,300
		走行時間	[分]	21.8	20.2
		走行時間費用	[億円/年]	101.31	86.02
	国道155号: 13.5km	交通量	[台/日]	18,300	16,800
		走行時間	[分]	32.1	31.0
		走行時間費用	[億円/年]	102.51	90.61
	(主)名古屋 豊田線: 6.6km	交通量	[台/日]	10,600	7,900
		走行時間	[分]	17.6	15.8
		走行時間費用	[億円/年]	33.70	22.20
	国道419号: 8.1km	交通量	[台/日]	28,200	25,600
		走行時間	[分]	21.4	19.5
		走行時間費用	[億円/年]	104.73	89.08
	(主)力石名 古屋線: 12.1km	交通量	[台/日]	15,400	14,000
		走行時間	[分]	19.9	19.5
		走行時間費用	[億円/年]	54.72	49.05
	国道301号: 5.0km	交通量	[台/日]	31,000	28,700
		走行時間	[分]	12.8	12.0
		走行時間費用	[億円/年]	67.29	58.43
③その他道路合計 : 3921.3km		走行時間費用	[億円/年]	19,941.54	19,862.51

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 3,981.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	20,405.80	20,317.16	88.64

- ※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
 ※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
 ※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
 ※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。
 ※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道153号 豊田北バイパス

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	令和元年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H22センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
		開発交通量の 考慮	無	☒
	有		☐	
	有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
	配分交通量の 推計手法		Q-V式を用いた配分	☐
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
その他()	☐			
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☒		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin～Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度	☐		
	採用理由を記載			
その他()		☐		

便益の算定

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☒	
		その他(概算事業計画による値を採用)	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道153号 豊田北バイパス
(事業全体)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価 (億円)	延長 (km)	単純単価 (億円)
0.43	5.7	2.45

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-19年目	H 18	1.6651	105.9	0.48	0.77		
-18年目	H 19	1.6010	105.0	0.87	1.37		
-17年目	H 20	1.5395	104.4	3.44	5.22		
-16年目	H 21	1.4802	103.0	2.92	4.33		
-15年目	H 22	1.4233	101.3	4.62	6.69		
-14年目	H 23	1.3686	99.8	8.70	12.30		
-13年目	H 24	1.3159	99.0	30.08	41.18		
-12年目	H 25	1.2653	99.0	24.28	31.97		
-11年目	H 26	1.2167	101.5	24.90	30.74		
-10年目	H 27	1.1699	103.0	22.66	26.51		
-9年目	H 28	1.1249	102.8	34.71	39.12		
-8年目	H 29	1.0816	103.0	29.63	32.05		
-7年目	H 30	1.0400	103.0	23.59	24.53		
基準年	R 1	1.0000	103.0	14.70	14.70		
-5年目	R 2	0.9615	103.0	24.43	23.49		
-4年目	R 3	0.9246	103.0	22.89	21.16		
-3年目	R 4	0.8890	103.0	19.07	16.95		
-2年目	R 5	0.8548	103.0	10.49	8.97		
-1年目	R 6	0.8219	103.0	7.01	5.76		
暫定供用開始年次	R 7	0.7903	103.0	7.42	5.86	1.56	1.24
1年目	R 8	0.7599	103.0	13.92	10.58	1.56	1.19
2年目	R 9	0.7307	103.0	17.12	12.51	1.56	1.14
3年目	R 10	0.7026	103.0	20.85	14.65	1.56	1.10
4年目	R 11	0.6756	103.0	16.13	10.90	1.56	1.06
供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			2.23	1.45
6年目	R 13	0.6246	103.0			2.23	1.39
7年目	R 14	0.6006	103.0			2.23	1.34
8年目	R 15	0.5775	103.0			2.23	1.29
9年目	R 16	0.5553	103.0			2.23	1.24
10年目	R 17	0.5339	103.0			2.23	1.19
11年目	R 18	0.5134	103.0			2.23	1.14
12年目	R 19	0.4936	103.0			2.23	1.10
13年目	R 20	0.4746	103.0			2.23	1.06
14年目	R 21	0.4564	103.0			2.23	1.02
15年目	R 22	0.4388	103.0			2.23	0.98
16年目	R 23	0.4220	103.0			2.23	0.94
17年目	R 24	0.4057	103.0			2.23	0.90
18年目	R 25	0.3901	103.0			2.23	0.87
19年目	R 26	0.3751	103.0			2.23	0.84
20年目	R 27	0.3607	103.0			2.23	0.80
21年目	R 28	0.3468	103.0			2.23	0.77
22年目	R 29	0.3335	103.0			2.23	0.74
23年目	R 30	0.3207	103.0			2.23	0.71
24年目	R 31	0.3083	103.0			2.23	0.69
25年目	R 32	0.2965	103.0			2.23	0.66
26年目	R 33	0.2851	103.0			2.23	0.63
27年目	R 34	0.2741	103.0			2.23	0.61
28年目	R 35	0.2636	103.0			2.23	0.59
29年目	R 36	0.2534	103.0			2.23	0.56
30年目	R 37	0.2437	103.0			2.23	0.54
31年目	R 38	0.2343	103.0			2.23	0.52
32年目	R 39	0.2253	103.0			2.23	0.50
33年目	R 40	0.2166	103.0			2.23	0.48
34年目	R 41	0.2083	103.0			2.23	0.46
35年目	R 42	0.2003	103.0			2.23	0.45
36年目	R 43	0.1926	103.0			2.23	0.43
37年目	R 44	0.1852	103.0			2.23	0.41
38年目	R 45	0.1780	103.0			2.23	0.40
39年目	R 46	0.1712	103.0			2.23	0.38
40年目	R 47	0.1646	103.0			2.23	0.37
41年目	R 48	0.1583	103.0			2.23	0.35
42年目	R 49	0.1522	103.0			2.23	0.34
43年目	R 50	0.1463	103.0			2.23	0.33
44年目	R 51	0.1407	103.0			2.23	0.31
45年目	R 52	0.1353	103.0			2.23	0.30
46年目	R 53	0.1301	103.0			2.23	0.29
47年目	R 54	0.1251	103.0			2.23	0.28
48年目	R 55	0.1203	103.0			2.23	0.27
49年目	R 56	0.1157	103.0	-111.87	-12.91	2.23	0.26
合 計				273.03	389.37	108.05	36.91
単純事業費計				384.90		108.05	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道153号 豊田北バイパス
(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.43	5.7	2.45

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-19年目	H 18	1.6651	105.9				
-18年目	H 19	1.6010	105.0				
-17年目	H 20	1.5395	104.4				
-16年目	H 21	1.4802	103.0				
-15年目	H 22	1.4233	101.3				
-14年目	H 23	1.3686	99.8				
-13年目	H 24	1.3159	99.0				
-12年目	H 25	1.2653	99.0				
-11年目	H 26	1.2167	101.5				
-10年目	H 27	1.1699	103.0				
-9年目	H 28	1.1249	102.8				
-8年目	H 29	1.0816	103.0				
-7年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-5年目	R 2	0.9615	103.0	24.43	23.49		
-4年目	R 3	0.9246	103.0	22.89	21.16		
-3年目	R 4	0.8890	103.0	19.07	16.95		
-2年目	R 5	0.8548	103.0	10.49	8.97		
-1年目	R 6	0.8219	103.0	7.01	5.76		
暫定供用開始年次	R 7	0.7903	103.0	7.42	5.86	1.56	1.24
1年目	R 8	0.7599	103.0	13.92	10.58	1.56	1.19
2年目	R 9	0.7307	103.0	17.12	12.51	1.56	1.14
3年目	R 10	0.7026	103.0	20.85	14.65	1.56	1.10
4年目	R 11	0.6756	103.0	16.13	10.90	1.56	1.06
供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			2.23	1.45
6年目	R 13	0.6246	103.0			2.23	1.39
7年目	R 14	0.6006	103.0			2.23	1.34
8年目	R 15	0.5775	103.0			2.23	1.29
9年目	R 16	0.5553	103.0			2.23	1.24
10年目	R 17	0.5339	103.0			2.23	1.19
11年目	R 18	0.5134	103.0			2.23	1.14
12年目	R 19	0.4936	103.0			2.23	1.10
13年目	R 20	0.4746	103.0			2.23	1.06
14年目	R 21	0.4564	103.0			2.23	1.02
15年目	R 22	0.4388	103.0			2.23	0.98
16年目	R 23	0.4220	103.0			2.23	0.94
17年目	R 24	0.4057	103.0			2.23	0.90
18年目	R 25	0.3901	103.0			2.23	0.87
19年目	R 26	0.3751	103.0			2.23	0.84
20年目	R 27	0.3607	103.0			2.23	0.80
21年目	R 28	0.3468	103.0			2.23	0.77
22年目	R 29	0.3335	103.0			2.23	0.74
23年目	R 30	0.3207	103.0			2.23	0.71
24年目	R 31	0.3083	103.0			2.23	0.69
25年目	R 32	0.2965	103.0			2.23	0.66
26年目	R 33	0.2851	103.0			2.23	0.63
27年目	R 34	0.2741	103.0			2.23	0.61
28年目	R 35	0.2636	103.0			2.23	0.59
29年目	R 36	0.2534	103.0			2.23	0.56
30年目	R 37	0.2437	103.0			2.23	0.54
31年目	R 38	0.2343	103.0			2.23	0.52
32年目	R 39	0.2253	103.0			2.23	0.50
33年目	R 40	0.2166	103.0			2.23	0.48
34年目	R 41	0.2083	103.0			2.23	0.46
35年目	R 42	0.2003	103.0			2.23	0.45
36年目	R 43	0.1926	103.0			2.23	0.43
37年目	R 44	0.1852	103.0			2.23	0.41
38年目	R 45	0.1780	103.0			2.23	0.40
39年目	R 46	0.1712	103.0			2.23	0.38
40年目	R 47	0.1646	103.0			2.23	0.37
41年目	R 48	0.1583	103.0			2.23	0.35
42年目	R 49	0.1522	103.0			2.23	0.34
43年目	R 50	0.1463	103.0			2.23	0.33
44年目	R 51	0.1407	103.0			2.23	0.31
45年目	R 52	0.1353	103.0			2.23	0.30
46年目	R 53	0.1301	103.0			2.23	0.29
47年目	R 54	0.1251	103.0			2.23	0.28
48年目	R 55	0.1203	103.0			2.23	0.27
49年目	R 56	0.1157	103.0	-6.67	-0.77	2.23	0.26
合 計				152.66	130.06	108.05	36.91
単純事業費計				159.33		108.05	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道153号 豊田北バイパス（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年) R 1	総走行台和の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始年次	R 7	0.99967	0.98581	1.00826	0.99910	0.7903	103.0	46.87	5.64	10.00	62.52	49.41	2.56	0.22	1.31	4.09	3.24	0.26	0.20	66.87	52.85
1年目	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7599	103.0	46.86	5.56	10.08	62.50	47.50	2.56	0.22	1.32	4.10	3.12	0.26	0.20	66.86	50.81
2年目	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	46.84	5.48	10.17	62.49	45.66	2.56	0.22	1.33	4.11	3.00	0.26	0.19	66.86	48.85
3年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	46.83	5.40	10.25	62.48	43.90	2.56	0.21	1.34	4.11	2.89	0.26	0.18	66.85	46.97
4年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	103.0	46.81	5.32	10.33	62.47	42.20	2.56	0.21	1.35	4.12	2.78	0.26	0.17	66.84	45.16
供用開始年次	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	67.57	8.01	13.06	88.64	57.58	3.87	0.30	1.39	5.56	3.61	0.82	0.53	95.01	61.72
6年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	67.07	7.94	13.04	88.05	54.99	3.84	0.30	1.39	5.52	3.45	0.81	0.51	94.38	58.95
7年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	66.58	7.86	13.02	87.45	52.52	3.81	0.29	1.39	5.49	3.30	0.80	0.48	93.74	56.30
8年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	66.08	7.78	13.00	86.86	50.16	3.78	0.29	1.38	5.46	3.15	0.80	0.46	93.11	53.77
9年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	65.58	7.71	12.98	86.26	47.90	3.75	0.29	1.38	5.42	3.01	0.79	0.44	92.48	51.35
10年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	65.08	7.63	12.95	85.67	45.74	3.72	0.29	1.38	5.39	2.88	0.79	0.42	91.84	49.04
11年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	64.59	7.55	12.93	85.07	43.68	3.69	0.28	1.38	5.36	2.75	0.78	0.40	91.21	46.83
12年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	64.09	7.47	12.91	84.48	41.70	3.67	0.28	1.38	5.32	2.63	0.78	0.38	90.58	44.71
13年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	63.59	7.40	12.89	83.88	39.81	3.64	0.28	1.37	5.29	2.51	0.77	0.37	89.94	42.69
14年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	63.09	7.32	12.87	83.29	38.01	3.61	0.27	1.37	5.25	2.40	0.77	0.35	89.31	40.76
15年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	62.60	7.24	12.85	82.69	36.29	3.58	0.27	1.37	5.22	2.29	0.76	0.33	88.67	38.91
16年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	62.10	7.16	12.83	82.10	34.64	3.55	0.27	1.37	5.19	2.19	0.75	0.32	88.04	37.15
17年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	61.60	7.09	12.81	81.50	33.07	3.52	0.27	1.36	5.15	2.09	0.75	0.30	87.41	35.46
18年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	61.11	7.01	12.79	80.91	31.56	3.50	0.26	1.36	5.12	2.00	0.74	0.29	86.77	33.85
19年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	60.61	6.93	12.77	80.31	30.13	3.47	0.26	1.36	5.09	1.91	0.74	0.28	86.14	32.31
20年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	60.11	6.86	12.75	79.72	28.75	3.44	0.26	1.36	5.05	1.82	0.73	0.26	85.50	30.84
21年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	59.61	6.78	12.73	79.12	27.44	3.41	0.25	1.36	5.02	1.74	0.73	0.25	84.87	29.43
22年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	59.12	6.70	12.71	78.53	26.19	3.38	0.25	1.35	4.99	1.66	0.72	0.24	84.24	28.09
23年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	58.62	6.62	12.69	77.93	24.99	3.35	0.25	1.35	4.95	1.59	0.72	0.23	83.60	26.81
24年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	58.12	6.55	12.67	77.34	23.84	3.33	0.25	1.35	4.92	1.52	0.71	0.22	82.97	25.58
25年目	R 32	0.99138	0.98806	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	57.63	6.47	12.65	76.74	22.75	3.30	0.24	1.35	4.89	1.45	0.71	0.21	82.33	24.41
26年目	R 33	0.99131	0.98794	0.99838	0.99220	0.2851	103.0	57.13	6.39	12.63	76.15	21.71	3.27	0.24	1.34	4.85	1.38	0.70	0.20	81.70	23.29
27年目	R 34	0.99124	0.98781	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	56.63	6.31	12.61	75.55	20.71	3.24	0.24	1.34	4.82	1.32	0.69	0.19	81.07	22.22
28年目	R 35	0.99117	0.98768	0.99837	0.99209	0.2636	103.0	56.14	6.24	12.59	74.96	19.76	3.21	0.23	1.34	4.79	1.26	0.69	0.18	80.44	21.20
29年目	R 36	0.99111	0.98756	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	55.64	6.16	12.57	74.37	18.84	3.18	0.23	1.34	4.75	1.20	0.68	0.17	79.80	20.22
30年目	R 37	0.99104	0.98743	0.99837	0.99198	0.2437	103.0	55.15	6.08	12.55	73.78	17.98	3.15	0.23	1.34	4.72	1.15	0.68	0.17	79.17	19.29
31年目	R 38	0.99097	0.98731	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	54.65	6.01	12.53	73.18	17.15	3.13	0.22	1.33	4.69	1.10	0.67	0.16	78.54	18.40
32年目	R 39	0.99090	0.98718	0.99836	0.99187	0.2253	103.0	54.16	5.93	12.50	72.59	16.36	3.10	0.22	1.33	4.65	1.05	0.67	0.15	77.91	17.55
33年目	R 40	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	53.67	5.85	12.48	72.01	15.60	3.07	0.22	1.33	4.62	1.00	0.66	0.14	77.29	16.74
34年目	R 41	0.99077	0.98693	0.99836	0.99176	0.2083	103.0	53.17	5.78	12.46	71.42	14.88	3.04	0.22	1.33	4.59	0.96	0.66	0.14	76.66	15.97
35年目	R 42	0.99070	0.98680	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	52.68	5.70	12.44	70.83	14.19	3.01	0.21	1.33	4.55	0.91	0.65	0.13	76.03	15.23
36年目	R 43	0.99063	0.98668	0.99835	0.99165	0.1926	103.0	52.19	5.63	12.42	70.24	13.53	2.99	0.21	1.32	4.52	0.87	0.65	0.12	75.41	14.52
37年目	R 44	0.99056	0.98655	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	51.70	5.55	12.40	69.66	12.90	2.96	0.21	1.32	4.49	0.83	0.64	0.12	74.79	13.85
38年目	R 45	0.99050	0.98642	0.99835	0.99154	0.1780	103.0	51.22	5.48	12.38	69.08	12.30	2.93	0.21	1.32	4.45	0.79	0.64	0.11	74.17	13.20
39年目	R 46	0.99043	0.98630	0.99835	0.99148	0.1712	103.0	50.73	5.40	12.36	68.50	11.73	2.90	0.20	1.32	4.42	0.76	0.63	0.11	73.55	12.59
40年目	R 47	0.99036	0.98617	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	50.24	5.33	12.34	67.92	11.18	2.87	0.20	1.31	4.39	0.72	0.62	0.10	72.93	12.00
41年目	R 48	0.99029	0.98605	0.99834	0.99137	0.1583	103.0	49.76	5.26	12.32	67.34	10.66	2.85	0.20	1.31	4.36	0.69	0.62	0.10	72.31	11.45
42年目	R 49	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	49.28	5.18	12.30	66.76	10.16	2.82	0.19	1.31	4.32	0.66	0.61	0.09	71.70	10.91
43年目	R 50	0.99016	0.98579	0.99834	0.99126	0.1463	103.0	48.79	5.11	12.28	66.18	9.68	2.79	0.19	1.31	4.29	0.63	0.61	0.09	71.08	10.40
44年目	R 51	0.99009	0.98567	0.99833	0.99121	0.1407	103.0	48.31	5.04	12.26	65.61	9.23	2.76	0.19	1.31	4.26	0.60	0.60	0.0		

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道153号	豊田北バイパス	4	5.7km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					20,153	
	改良費				10,967	
		土工	m3	538,500	616	切土(367,800m3)、盛土(170,700m3)、捨土(197,600m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m²	27,600	36	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	6,353	U型擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,060	49	
		函渠工	m	96	2,334	名鉄豊田線交差部、愛知環状鉄道交差部、名鉄三河線交差部
		調整池工	式	1	554	
		排水工	m	29,880	663	
		中央分離帯工	m	4,240	101	
		雑工	式	1	261	横断歩道橋等
	橋梁費				4,610	
		100m以上	m	595	3,843	
		100m未満	m	110	767	
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,554	
		IC	箇所	5	2,554	
		JCT	箇所			
	舗装費				977	
		車道舗装	m²	95,880	896	
		その他舗装	m²	34,470	81	
	付帯施設費				197	
		交通管理施設工	式	1	197	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				848	
		仮設工	式	1	848	
	②用地及補償費					14,678
	用地費	m²	267,268	11,187		
		宅地	m²	63,278	4,540	
		田畑	m²	173,617	6,107	
		山林・原野	m²	22,780	216	
		その他	m²	7,593	324	
	補償費	式	1	3,491		
	③間接経費	式	1	6,069	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				40,900		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道153号	豊田北バイパス	4	5.7km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	5.7	1,445	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	10,440	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			11,885	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道153号	豊田北バイパス	4	5.7km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					12,490	
	改良費				6,864	
		土工	m3	303,785	348	切土(86,524m3)、盛土(40,157m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m²	15,570	20	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	4,020	U型擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	598	28	
		函渠工	m	54	1,317	名鉄豊田線交差部、愛知環状鉄道交差部、名鉄三河線交差部
		調整池工	式	1	554	
		排水工	m	16,856	374	
		中央分離帯工	m	2,392	57	
		雑工	式	1	146	横断歩道橋等
	橋梁費				2,675	
		100m以上	m	285	2,168	
		100m未満	m	62	507	
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				1,441	
		IC	箇所	3	1,441	
		JCT	箇所			
	舗装費				551	
		車道舗装	m²	54,089	505	
		その他舗装	m²	19,446	46	
	付帯施設費				111	
		交通管理施設工	式	1	111	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				848	
		仮設工	式	1	848	
	②用地及補償費				2,016	
	用地費		m²	20,945	667	
		宅地	m²	1,697	122	
		田畑	m²	18,433	532	
		山林・原野	m²	611	6	
		その他	m²	204	7	
	補償費		式	1	1,349	
	③間接経費		式	1	2,953	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費				17,459		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道153号	豊田北バイパス	4	5.7km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	5.7	1,445	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	10,440	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			11,885	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（令和２年度事業継続箇所）（原案）

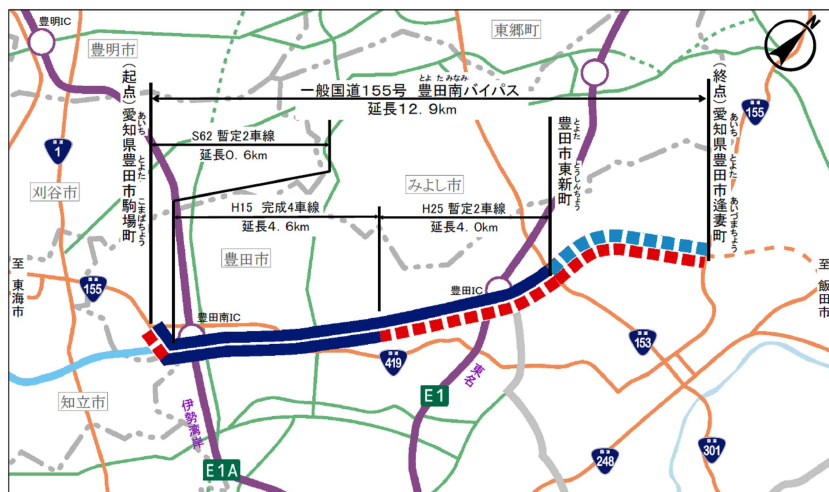
担 当 課：

担当課長名：

事業名	一般国道１５５号 豊田南バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：愛知県豊田市駒場町 至：愛知県豊田市逢妻町				延長	１２．９km
事業概要	一般国道１５５号豊田南バイパスは、愛知県豊田市駒場町から同市逢妻町に至る延長１２．９kmのバイパスであり、豊田外環状の一部を構成し、現道１５５号の交通渋滞の緩和、交通安全の確保及び東名・新東名ＩＣへのアクセスの確保を目的に計画された道路です。 豊田市は自動車産業の集積地となっており、豊田市中心部や周辺路線には、主要渋滞箇所や、死傷事故率の高い箇所が多数存在するなど多くの課題があり、本事業は、課題解決のために豊田南バイパスを整備することで、交通渋滞の緩和や交通事故の削減、物流効率化の支援などの効果を見込んでいます。					
昭和４８年度事業化	昭和３９、昭和４７年度都市計画決定	昭和５０年度用地着手	昭和５８年度工事着手			
全体事業費	８４１億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約８２％	供用済延長	９．２km	
計画交通量	４３，３００台／日					
費用対効果 分析結果	B／C (事業全体) ２．４ (２．４) (残事業) １２．２ (１６．５)	総費用 (残事業)／(事業全体) 415/2,102億円 事業費：253/1,940億円 維持管理費：162/ 162億円	総便益 (残事業)／(事業全体) 5,051/5,051億円 (走行時間短縮便益：4,769/4,769億円 走行費用減少便益：266/266億円 交通事故減少便益：17/ 17億円)	基準年 令和元年		
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C= 2.2 ～ 2.6 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=11.0 ～ 13.4 (交通量±10%) 事業費：B/C= 2.4 ～ 2.4 (事業費±10%) 事業費：B/C=11.5 ～ 13.0 (事業費±10%) 事業期間：B/C= 2.3 ～ 2.5 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=12.0 ～ 12.3 (事業期間±20%)					
事業の効果等	①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（高岡ふれあいバス等）が存在する。 ・第一種空港（中部国際空港）へのアクセス向上が見込まれる。 ②物流効率化の支援 ・重要港湾（衣浦港）、国際拠点港湾（名古屋港）へのアクセス向上が見込まれる。 ③都市の再生 ・市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり。 ④国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路（衣浦豊田道路）の一部として全区間が指定されている。 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（豊田厚生病院）へのアクセス向上が見込まれる。 ⑥災害への備え ・第一次緊急輸送路として位置づけられる。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。					

⑨他のプロジェクトとの関係 ・関連する大規模道路（豊田北バイパス）と一体的に整備する必要がある。 ・豊田市都市計画マスタープランにて、2環状8放射3名古屋連絡道路を担う路線として位置づけられている。	
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等 豊田市幹線道路整備促進協議会が早期整備を要望。 6市から構成される衣浦豊田道路建設推進協議会が未開通区間の早期整備を要望。 愛知県知事の意見： 「対応方針（原案）」に対して異議はありません。 一般国道155号豊田南バイパスは、豊田市市街地の外側を取り巻く豊田外環状線の一部として、東名・新東名高速道路、東海環状自動車道と一体となって広域的なネットワークを形成する大変重要な道路である。本道路が整備されることで、市街地の渋滞緩和や高速道路へのアクセス性向上により、定時性の確保、物流の効率化が図られる。さらに、災害時の緊急輸送道路としての機能も有しており、国土強靱化の観点からも重要な幹線道路である。そのため、未開通区間である豊田市東新町から逢妻町間の工事を推進し、早期に開通時期を明確にするとともに、一日も早い開通をお願いしたい。 なお、事業実施にあたりましては、一層のコスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。	
事業評価監視委員会の意見	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・豊田市中心部を通過する国道153号は、朝夕の通勤時などに交通が集中し、豊田市中心部が地域の主要渋滞箇所（豊田エリア）として選定され、また周辺路線では主要渋滞箇所として、多数の区間・箇所が主要渋滞箇所として選定されており、交通混雑が著しい状況。 ・豊田市中心市街地および周辺の国道では、死傷事故率の高い区間が存在。 ・豊田市の製造品出荷額等は全国1位であり、とりわけ自動車産業の一大集積地。豊田市周辺には自動車組立工場が多数立地しており、部品工場からの輸送や、港・国内への完成車の輸送が多いほか、海外生産用自動車部品の輸送も多く、物流の効率化が必要。 ・豊田市内には、愛知県の第三次救急医療施設に指定されている「豊田厚生病院」と「トヨタ記念病院」の2つが存在。豊田市内最大規模である豊田厚生病院では、外来患者の約7割が豊田地区から来訪。豊田市には市街地であっても、多量出血の死亡率が上昇する15分以内で到達できていない地域が存在。	
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率は約82%（平成31年3月末）。用地取得率は約99%（平成31年3月末）。 ・豊田市駒場町から生駒町間、豊田市堤町から東新町間の8.3kmについて、用地買収を推進し、工事に着手。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・残る豊田市東新町から逢妻町間（延長3.7km）の、早期開通に向けて、用地買収及び工事を推進していく。	
施設の構造や工法の変更等 ・技術の進展に伴う新工法の採用等によるコスト縮減に努めながら事業を推進していく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。	

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道155号 豊田南バイパス
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている 全 体:費用便益比(B/C)＝2.4 経済的純現在価値(B-C)＝2,362億円 経済的内部収益率(EIRR)＝6.2% 残事業:費用便益比(B/C)＝16.5 経済的純現在価値(B-C)＝3,781億円 経済的内部収益率(EIRR)＝69.4%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
大項目	中項目		
1. 活力	円滑なモビリティの確保	■ 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(整備なし): 40,635万人・時間/年 渋滞損失削減時間: 944万人・時間/年(40,635万人・時間/年 ⇒ 39,691万人・時間/年) 区間b(並行区間)について: 国道419号、国道155号 並行区間の渋滞損失時間(整備なし): 254万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間: 99万人・時間/年(254万人・時間/年 ⇒ 155万人・時間/年) 並行区間の渋滞損失削減率: 4割削減
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間 国道155号(23301550300～2301550320:豊田市東新町6丁目～小坂町12丁目)
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	高岡ふれあいバス(路線①:明知下公民館～若林駅、路線②:上丘町～知立駅) 名鉄バス(豊田西市内線:豊田市～聖心寮前、豊田市内線:豊田市～トヨタ記念病院) とよたおいでんバス(中心市街地玄関口バス:豊田市～豊田市福祉センター、保見・豊田線:豊田市～浄水駅)
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	中部国際空港へのアクセス性向上(豊田市～中部国際空港:64分→58分)
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	名古屋港(国際拠点港湾)へのアクセス性向上(豊田市～名古屋港:51分 → 45分) 衣浦港(重要港湾)へのアクセス性向上(豊田市～衣浦港:92分 → 76分)
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	豊田浄水特定土地区画整理事業、豊田宮上土地区画整理事業
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	

	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)の位置づけあり	
		☒ 地域高規格道路の位置づけあり	「衣浦豊田道路」の一部として、全区間が指定
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A路線としての位置づけがある場合)	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☐ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		☐ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる
			☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される
		無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり
			☐ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
		安全で安心できるくらしの確保	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 豊田厚生病院(第三次医療施設)のアクセス向上(15分圏域カバー人口 11.8万人→15.5万人(3.7万人増))
3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	愛知県地域防災計画にて、第一次緊急輸送路に位置づけられる
		☒ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路である国道155号(現道)が通行止めになった場合の代替路線を形成
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A路線としての位置づけがある場合)	
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	

4. 環境	地球環境の保全	■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 36.5 千t/年(6,127.2千t/年 ⇒ 6,090.7千t/年)
	生活環境の改善・保全	■ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別:対象地域を含む(豊田市) (推計結果) 評価対象区間(並行区間):(国道419号、国道155号) 排出削減量:32.0t/年、排出削減率: 4割削減
		■ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別:対象地域を含む(豊田市) (推計結果) 評価対象区間(並行区間):(国道419号、国道155号) 排出削減量: 1.9 t/年、排出削減率: 4割削減
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	一般国道153号 豊田北バイパスと一体的に整備する必要あり
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	豊田市都市計画マスタープランにおける道路整備の方針にて、2環状8放射3名古屋連絡道路を担う路線として位置づけられる
	その他	☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道155号	豊田南バイパス	L=12.9km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
43,300	4	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	806億円	377億円	1,183億円
うち残事業分	155億円	377億円	532億円
基準年における 現在価値 (C)	1,542億円	122億円	1,664億円
うち残事業分	122億円	122億円	244億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	令和7年度			
単年便益 (初年便益)	206億円	12億円	0.25億円	219億円
基準年における 現在価値 (B)	3,791億円	224億円	11億円	4,025億円
うち残事業分	3,791億円	224億円	11億円	4,025億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	2.4
経済的純現在価値（事業全体）	2,362億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.2%
費用便益比（残事業）	16.5
経済的純現在価値（残事業）	3,781億円
経済的内部収益率（残事業）	69.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	43,300台/日	±10%	2.2～2.7
事業費	806億円	±10%	2.4～2.4
事業期間	60年	±20%	2.3～2.5

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	43,300台/日	±10%	14.8～18.1
事業費	155億円	±10%	15.7～17.3
事業期間	13年	±20%	16.4～16.5

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道155号 豊田南バイパス（事業全体）

（推計時点 R12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)		
①新設・改築道路 改築区間:12.9km			交通量※ ¹	[台/日]	0	43,300
			走行時間※ ²	[分]	0	20.5
			走行時間費用※ ³	[億円/年]	0.00	163.28
②主な周 辺道路※ ⁴	国道155号: 19.5km	交通量	[台/日]	21,300	16,200	
		走行時間	[分]	43.4	41.3	
		走行時間費用	[億円/年]	165.57	119.89	
	(県)宮上知 立線: 11.9km	交通量	[台/日]	11,200	8,900	
		走行時間	[分]	43.6	37.8	
		走行時間費用	[億円/年]	94.75	65.08	
	国道248号: 9.2km	交通量	[台/日]	30,900	29,000	
		走行時間	[分]	21.1	20.6	
		走行時間費用	[億円/年]	114.99	104.58	
	国道153号: 10.8km	交通量	[台/日]	36,100	31,700	
		走行時間	[分]	25.5	23.4	
		走行時間費用	[億円/年]	168.90	130.11	
	(主)豊田知 立線: 13.2km	交通量	[台/日]	19,600	16,300	
		走行時間	[分]	27.6	26.6	
		走行時間費用	[億円/年]	98.88	80.77	
	東海環状自 動車道: 28.0km	交通量	[台/日]	62,000	58,800	
		走行時間	[分]	22.2	22.0	
		走行時間費用	[億円/年]	269.54	254.52	
	(主)名古屋 岡崎線: 11.6km	交通量	[台/日]	35,800	33,500	
		走行時間	[分]	27.2	25.8	
		走行時間費用	[億円/年]	179.98	161.49	
	(県)豊田東 郷線:3.3km	交通量	[台/日]	12,600	10,500	
		走行時間	[分]	13.1	11.9	
		走行時間費用	[億円/年]	29.31	22.96	
	(県)鷺鴨三 好線:4.4km	交通量	[台/日]	10,700	7,000	
		走行時間	[分]	14.0	12.1	
		走行時間費用	[億円/年]	29.63	16.42	
	東名高速道 路:6.7km	交通量	[台/日]	64,000	62,300	
		走行時間	[分]	4.4	4.4	
		走行時間費用	[億円/年]	55.06	53.37	
③その他道路合計 : 3850.1km		走行時間費用	[億円/年]	19,356.86	19,144.68	

		走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 3981.6km	走行時間短縮便益 [億円/年]	20,563.48	20,317.16	246.32

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
 ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
 ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
 ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
 ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

[illegible]

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道155号 豊田南バイパス（残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 改築区間:12.9km		交通量※1	[台/日]	0	43,300
		走行時間※2	[分]	0	20.5
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	163.28
②主な周 辺道路※4	国道155号: 19.5km	交通量	[台/日]	21,300	16,200
		走行時間	[分]	43.4	41.3
		走行時間費用	[億円/年]	165.57	119.89
	(県)宮上知 立線: 11.9km	交通量	[台/日]	11,200	8,900
		走行時間	[分]	43.6	37.8
		走行時間費用	[億円/年]	94.75	65.08
	国道248号: 9.2km	交通量	[台/日]	30,900	29,000
		走行時間	[分]	21.1	20.6
		走行時間費用	[億円/年]	114.99	104.58
	国道153号: 10.8km	交通量	[台/日]	36,100	31,700
		走行時間	[分]	25.5	23.4
		走行時間費用	[億円/年]	168.90	130.11
	(主)豊田知 立線: 13.2km	交通量	[台/日]	19,600	16,300
		走行時間	[分]	27.6	26.6
		走行時間費用	[億円/年]	98.88	80.77
	東海環状自 動車道: 28.0km	交通量	[台/日]	62,000	58,800
		走行時間	[分]	22.2	22.0
		走行時間費用	[億円/年]	269.54	254.52
	(主)名古屋 岡崎線: 11.6km	交通量	[台/日]	35,800	33,500
		走行時間	[分]	27.2	25.8
		走行時間費用	[億円/年]	179.98	161.49
	(県)豊田東 郷線:3.3km	交通量	[台/日]	12,600	10,500
		走行時間	[分]	13.1	11.9
		走行時間費用	[億円/年]	29.31	22.96
	(県)鷺鴨三 好線:4.4km	交通量	[台/日]	10,700	7,000
		走行時間	[分]	14.0	12.1
		走行時間費用	[億円/年]	29.63	16.42
	東名高速道 路:6.7km	交通量	[台/日]	64,000	62,300
		走行時間	[分]	4.4	4.4
		走行時間費用	[億円/年]	55.06	53.37
③その他道路合計 : 3850.1km		走行時間費用	[億円/年]	19,356.86	19,144.68

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 3981.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	20,563.48	20,317.16	246.32

- ※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
 ※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
 ※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
 ※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
 ※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

① 国道155号 豊田南バイパス

L=12.9km

日進市

東郷町

みよし市

豊田市

岡崎市

安城市

知立市

豊田西バイパス

環状自動車道

名古屋第二

②(主)豊田知立線 L=13.2km

②(県)豊田東郷線 L=3.3km

②(県)鷺鳴三好線 L=4.4km

②(県)宮上知立線 L=11.9km

②国道153号 L=10.8km

②国道155号 L=19.5km

②国道248号 L=9.2km

②東名高速道路 L=6.7km

②東海環状自動車道等 L=28.0km

②(主)名古屋岡崎線 L=11.6km

419

23

1

248

301

153

155

東名高速道路

東海環状自動車道

新東名高速道路

豊田南バイパス

費用便益分析の条件

事業名：一般国道155号 豊田南バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒	
	その他	☐	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和元年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)
		複数時点での推計	☐
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐
		その他()	☐
		開発交通量の 考慮	無
	有		☐
	有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日
	考慮した理由を記載		
	配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	☐
		転換率式を用いた配分	☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐
		簡易手法	☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である
山間部海岸部で併行道路が少ない			☐
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☒	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin～Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	☐	
	採用理由を記載		
その他()		☐	

-64-

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☒	
		その他(概算事業計画による値を採用)	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道155号 豊田南バイパス
(事業全体)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.70	12.9	9.01

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-52年目	\$ 48	6.0748	59.6	0.10	1.05		
-51年目	\$ 49	5.8412	71.1	0.10	0.85		
-50年目	\$ 50	5.6165	75.2	1.30	10.00		
-49年目	\$ 51	5.4005	81.5	3.70	25.25		
-48年目	\$ 52	5.1928	86.4	4.25	26.31		
-47年目	\$ 53	4.9931	90.0	5.40	30.86		
-46年目	\$ 54	4.8010	92.4	9.40	50.31		
-45年目	\$ 55	4.6164	98.2	8.00	38.74		
-44年目	\$ 56	4.4388	100.7	4.73	21.48		
-43年目	\$ 57	4.2681	101.9	2.05	8.84		
-42年目	\$ 58	4.1039	102.9	6.84	28.10		
-41年目	\$ 59	3.9461	105.0	11.60	44.90		
-40年目	\$ 60	3.7943	105.7	13.20	48.81		
-39年目	\$ 61	3.6484	107.6	14.75	51.51		
-38年目	\$ 62	3.5081	107.3	32.25	108.60		
-37年目	\$ 63	3.3731	107.9	18.50	59.57		
-36年目	H 1	3.2434	110.8	24.51	73.90		
-35年目	H 2	3.1187	113.3	18.74	53.12		
-34年目	H 3	2.9987	116.0	15.34	40.85		
-33年目	H 4	2.8834	117.6	16.72	42.23		
-32年目	H 5	2.7725	117.9	13.86	33.56		
-31年目	H 6	2.6658	117.8	7.35	17.12		
-30年目	H 7	2.5633	117.1	6.09	13.74		
-29年目	H 8	2.4647	116.6	14.21	30.93		
-28年目	H 9	2.3699	117.5	7.98	16.58		
-27年目	H 10	2.2788	116.9	14.57	29.26		
-26年目	H 11	2.1911	115.2	26.76	52.42		
-25年目	H 12	2.1068	113.8	7.65	14.58		
-24年目	H 13	2.0258	112.4	11.14	20.69		
-23年目	H 14	1.9479	110.5	3.52	6.40		
-22年目	H 15	1.8730	109.0	15.44	27.33		
-21年目	H 16	1.8009	107.9	2.33	4.01		
-20年目	H 17	1.7317	106.7	1.33	2.23		
-19年目	H 18	1.6651	105.9	9.33	15.12		
-18年目	H 19	1.6010	105.0	15.81	24.83		
-17年目	H 20	1.5395	104.4	26.71	40.57		
-16年目	H 21	1.4802	103.0	31.95	47.29		
-15年目	H 22	1.4233	101.3	28.30	40.96		
-14年目	H 23	1.3686	99.8	19.05	26.90		
-13年目	H 24	1.3159	99.0	45.61	62.45		
-12年目	H 25	1.2653	99.0	29.79	39.22		
-11年目	H 26	1.2167	101.5	22.48	27.76		
-10年目	H 27	1.1699	103.0	14.78	17.29		
-9年目	H 28	1.1249	102.8	19.10	21.52		
-8年目	H 29	1.0816	103.0	13.70	14.82		
-7年目	H 30	1.0400	103.0	8.99	9.35		
基準年	R 1	1.0000	103.0	21.71	21.71		
-5年目	R 2	0.9615	103.0	15.42	14.83		
-4年目	R 3	0.9246	103.0	19.29	17.83		
-3年目	R 4	0.8890	103.0	14.58	12.96		
-2年目	R 5	0.8548	103.0	11.41	9.75		
-1年目	R 6	0.8219	103.0	14.14	11.62		
暫定供用開始年次	R 7	0.7903	103.0	8.38	6.62	4.08	3.23
1年目	R 8	0.7599	103.0	9.79	7.44	4.08	3.10
2年目	R 9	0.7307	103.0	11.06	8.08	4.08	2.98
3年目	R 10	0.7026	103.0	10.44	7.33	4.08	2.87
4年目	R 11	0.6756	103.0	11.25	7.60	4.08	2.76
5年目	R 12	0.6496	103.0	11.40	7.41	4.08	2.65
6年目	R 13	0.6246	103.0	9.54	5.96	4.08	2.55
7年目	R 14	0.6006	103.0	8.75	5.26	4.08	2.45
供用開始年次	R 15	0.5775	103.0			8.19	4.73
8年目	R 16	0.5553	103.0			8.19	4.55
9年目	R 17	0.5339	103.0			8.19	4.37
10年目	R 18	0.5134	103.0			8.19	4.20
11年目	R 19	0.4936	103.0			8.19	4.04
12年目	R 20	0.4746	103.0			8.19	3.89
13年目	R 21	0.4564	103.0			8.19	3.74
14年目	R 22	0.4388	103.0			8.19	3.59
15年目	R 23	0.4220	103.0			8.19	3.46
16年目	R 24	0.4057	103.0			8.19	3.32
17年目	R 25	0.3901	103.0			8.19	3.20
18年目	R 26	0.3751	103.0			8.19	3.07
19年目	R 27	0.3607	103.0			8.19	2.95
20年目	R 28	0.3468	103.0			8.19	2.84
21年目	R 29	0.3335	103.0			8.19	2.73
22年目	R 30	0.3207	103.0			8.19	2.63
23年目	R 31	0.3083	103.0			8.19	2.53
24年目	R 32	0.2965	103.0			8.19	2.43
25年目	R 33	0.2851	103.0			8.19	2.33
26年目	R 34	0.2741	103.0			8.19	2.25
27年目	R 35	0.2636	103.0			8.19	2.16
28年目	R 36	0.2534	103.0			8.19	2.08
29年目	R 37	0.2437	103.0			8.19	2.00
30年目	R 38	0.2343	103.0			8.19	1.92
31年目	R 39	0.2253	103.0			8.19	1.85
32年目	R 40	0.2166	103.0			8.19	1.77
33年目	R 41	0.2083	103.0			8.19	1.71
34年目	R 42	0.2003	103.0			8.19	1.64
35年目	R 43	0.1926	103.0			8.19	1.58
36年目	R 44	0.1852	103.0			8.19	1.52
37年目	R 45	0.1780	103.0			8.19	1.46
38年目	R 46	0.1712	103.0			8.19	1.40
39年目	R 47	0.1646	103.0			8.19	1.35
40年目	R 48	0.1583	103.0			8.19	1.30
41年目	R 49	0.1522	103.0			8.19	1.25
42年目	R 50	0.1463	103.0			8.19	1.20
43年目	R 51	0.1407	103.0			8.19	1.15
44年目	R 52	0.1353	103.0			8.19	1.11
45年目	R 53	0.1301	103.0			8.19	1.07
46年目	R 54	0.1251	103.0			8.19	1.02
47年目	R 55	0.1203	103.0			8.19	0.99
48年目	R 56	0.1157	103.0	-216.27	-25.01	8.19	0.95
合計				590.20	1541.58	376.67	121.92
単純事業費計				806.47		376.67	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道155号 豊田南バイパス
(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.70	12.9	9.01

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-31年目	H 6	2.6658	117.8				
-30年目	H 7	2.5633	117.1				
-29年目	H 8	2.4647	116.6				
-28年目	H 9	2.3699	117.5				
-27年目	H 10	2.2788	116.9				
-26年目	H 11	2.1911	115.2				
-25年目	H 12	2.1068	113.8				
-24年目	H 13	2.0258	112.4				
-23年目	H 14	1.9479	110.5				
-22年目	H 15	1.8730	109.0				
-21年目	H 16	1.8009	107.9				
-20年目	H 17	1.7317	106.7				
-19年目	H 18	1.6651	105.9				
-18年目	H 19	1.6010	105.0				
-17年目	H 20	1.5395	104.4				
-16年目	H 21	1.4802	103.0				
-15年目	H 22	1.4233	101.3				
-14年目	H 23	1.3686	99.8				
-13年目	H 24	1.3159	99.0				
-12年目	H 25	1.2653	99.0				
-11年目	H 26	1.2167	101.5				
-10年目	H 27	1.1699	103.0				
-9年目	H 28	1.1249	102.8				
-8年目	H 29	1.0816	103.0				
-7年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-5年目	R 2	0.9615	103.0	15.42	14.83		
-4年目	R 3	0.9246	103.0	19.29	17.83		
-3年目	R 4	0.8890	103.0	14.58	12.96		
-2年目	R 5	0.8548	103.0	11.41	9.75		
-1年目	R 6	0.8219	103.0	14.14	11.62		
暫定供用開始年次	R 7	0.7903	103.0	8.38	6.62	4.08	3.23
1年目	R 8	0.7599	103.0	9.79	7.44	4.08	3.10
2年目	R 9	0.7307	103.0	11.06	8.08	4.08	2.98
3年目	R 10	0.7026	103.0	10.44	7.33	4.08	2.87
4年目	R 11	0.6756	103.0	11.25	7.60	4.08	2.76
5年目	R 12	0.6496	103.0	11.40	7.41	4.08	2.65
6年目	R 13	0.6246	103.0	9.54	5.96	4.08	2.55
7年目	R 14	0.6006	103.0	8.75	5.26	4.08	2.45
供用開始年次	R 15	0.5775	103.0			8.19	4.73
9年目	R 16	0.5553	103.0			8.19	4.55
10年目	R 17	0.5339	103.0			8.19	4.37
11年目	R 18	0.5134	103.0			8.19	4.20
12年目	R 19	0.4936	103.0			8.19	4.04
13年目	R 20	0.4746	103.0			8.19	3.89
14年目	R 21	0.4564	103.0			8.19	3.74
15年目	R 22	0.4388	103.0			8.19	3.59
16年目	R 23	0.4220	103.0			8.19	3.46
17年目	R 24	0.4057	103.0			8.19	3.32
18年目	R 25	0.3901	103.0			8.19	3.20
19年目	R 26	0.3751	103.0			8.19	3.07
20年目	R 27	0.3607	103.0			8.19	2.95
21年目	R 28	0.3468	103.0			8.19	2.84
22年目	R 29	0.3335	103.0			8.19	2.73
23年目	R 30	0.3207	103.0			8.19	2.63
24年目	R 31	0.3083	103.0			8.19	2.53
25年目	R 32	0.2965	103.0			8.19	2.43
26年目	R 33	0.2851	103.0			8.19	2.33
27年目	R 34	0.2741	103.0			8.19	2.25
28年目	R 35	0.2636	103.0			8.19	2.16
29年目	R 36	0.2534	103.0			8.19	2.08
30年目	R 37	0.2437	103.0			8.19	2.00
31年目	R 38	0.2343	103.0			8.19	1.92
32年目	R 39	0.2253	103.0			8.19	1.85
33年目	R 40	0.2166	103.0			8.19	1.77
34年目	R 41	0.2083	103.0			8.19	1.71
35年目	R 42	0.2003	103.0			8.19	1.64
36年目	R 43	0.1926	103.0			8.19	1.58
37年目	R 44	0.1852	103.0			8.19	1.52
38年目	R 45	0.1780	103.0			8.19	1.46
39年目	R 46	0.1712	103.0			8.19	1.40
40年目	R 47	0.1646	103.0			8.19	1.35
41年目	R 48	0.1583	103.0			8.19	1.30
42年目	R 49	0.1522	103.0			8.19	1.25
43年目	R 50	0.1463	103.0			8.19	1.20
44年目	R 51	0.1407	103.0			8.19	1.15
45年目	R 52	0.1353	103.0			8.19	1.11
46年目	R 53	0.1301	103.0			8.19	1.07
47年目	R 54	0.1251	103.0			8.19	1.02
48年目	R 55	0.1203	103.0			8.19	0.99
49年目	R 56	0.1157	103.0	-2.16	-0.25	8.19	0.95
合 計				153.28	122.44	376.67	121.92
単純事業費計				155.44		376.67	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 事業費、維持管理費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道155号 豊田南バイパス（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
暫定供用開始年次	R 7	0.99967	0.98581	1.00826	0.99910	0.7903	103.0	136.07	23.12	47.00	206.19	162.95	7.14	0.96	4.06	12.16	9.61	0.25	0.20	218.60	172.76
1年目	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7599	103.0	136.02	22.80	47.38	206.20	156.69	7.13	0.95	4.10	12.18	9.25	0.25	0.19	218.64	166.14
2年目	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	135.98	22.47	47.77	206.22	150.68	7.13	0.94	4.13	12.20	8.91	0.25	0.18	218.67	159.78
3年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	135.93	22.14	48.16	206.24	144.90	7.13	0.92	4.16	12.21	8.58	0.25	0.18	218.70	153.66
4年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	103.0	135.89	21.81	48.55	206.25	139.34	7.13	0.91	4.20	12.23	8.26	0.25	0.17	218.74	147.78
5年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	135.85	21.48	48.94	206.27	133.99	7.12	0.89	4.23	12.25	7.96	0.25	0.16	218.77	142.11
6年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	134.85	21.28	48.86	204.98	128.03	7.07	0.89	4.22	12.18	7.61	0.25	0.16	217.42	135.80
7年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	133.85	21.07	48.78	203.70	122.34	7.02	0.88	4.22	12.11	7.28	0.25	0.15	216.06	129.77
供用開始年次	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	160.04	24.53	57.14	241.71	139.59	8.30	1.03	4.74	14.07	8.13	0.90	0.52	256.68	148.23
9年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	158.83	24.29	57.05	240.17	133.37	8.23	1.02	4.74	13.99	7.77	0.89	0.50	255.05	141.63
10年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	157.63	24.04	56.96	238.63	127.41	8.17	1.01	4.73	13.91	7.43	0.89	0.47	253.43	135.31
11年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	156.42	23.80	56.87	237.09	121.72	8.11	1.00	4.72	13.83	7.10	0.88	0.45	251.81	129.28
12年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	155.22	23.56	56.78	235.56	116.27	8.05	0.99	4.71	13.75	6.79	0.87	0.43	250.18	123.49
13年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	154.02	23.31	56.69	234.02	111.06	7.98	0.98	4.71	13.67	6.49	0.87	0.41	248.56	117.97
14年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	152.81	23.07	56.60	232.48	106.10	7.92	0.97	4.70	13.59	6.20	0.86	0.39	246.93	112.70
15年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	151.61	22.82	56.51	230.94	101.34	7.86	0.96	4.69	13.51	5.93	0.86	0.38	245.31	107.64
16年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	150.40	22.58	56.42	229.40	96.81	7.80	0.95	4.68	13.43	5.67	0.85	0.36	243.69	102.84
17年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	149.20	22.34	56.33	227.87	92.45	7.73	0.94	4.68	13.35	5.42	0.84	0.34	242.06	98.20
18年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	147.99	22.09	56.24	226.33	88.29	7.67	0.93	4.67	13.27	5.18	0.84	0.33	240.44	93.79
19年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	146.79	21.85	56.15	224.79	84.32	7.61	0.92	4.66	13.19	4.95	0.83	0.31	238.81	89.58
20年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	145.59	21.61	56.06	223.25	80.53	7.55	0.91	4.65	13.11	4.73	0.83	0.30	237.19	85.55
21年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	144.38	21.36	55.97	221.72	76.89	7.48	0.90	4.65	13.03	4.52	0.82	0.28	235.56	81.69
22年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	143.18	21.12	55.88	220.18	73.43	7.42	0.89	4.64	12.95	4.32	0.81	0.27	233.94	78.02
23年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	141.97	20.88	55.79	218.64	70.12	7.36	0.88	4.63	12.87	4.13	0.81	0.26	232.32	74.50
24年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	140.77	20.63	55.70	217.10	66.93	7.30	0.87	4.62	12.79	3.94	0.80	0.25	230.69	71.12
25年目	R 32	0.99138	0.98806	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	139.57	20.39	55.61	215.56	63.91	7.23	0.86	4.62	12.71	3.77	0.79	0.24	229.07	67.92
26年目	R 33	0.99131	0.98794	0.99838	0.99220	0.2851	103.0	138.36	20.14	55.52	214.03	61.02	7.17	0.85	4.61	12.63	3.60	0.79	0.22	227.45	64.84
27年目	R 34	0.99124	0.98781	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	137.16	19.90	55.43	212.49	58.24	7.11	0.84	4.60	12.55	3.44	0.78	0.21	225.82	61.90
28年目	R 35	0.99117	0.98768	0.99837	0.99209	0.2636	103.0	135.96	19.66	55.34	210.96	55.61	7.05	0.83	4.59	12.47	3.29	0.78	0.20	224.20	59.10
29年目	R 36	0.99111	0.98756	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	134.76	19.42	55.25	209.43	53.07	6.99	0.82	4.59	12.39	3.14	0.77	0.20	222.59	56.40
30年目	R 37	0.99104	0.98743	0.99837	0.99198	0.2437	103.0	133.56	19.18	55.16	207.90	50.66	6.92	0.81	4.58	12.31	3.00	0.76	0.19	220.97	53.85
31年目	R 38	0.99097	0.98731	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	132.36	18.93	55.07	206.37	48.35	6.86	0.80	4.57	12.23	2.87	0.76	0.18	219.36	51.40
32年目	R 39	0.99090	0.98718	0.99836	0.99187	0.2253	103.0	131.17	18.69	54.98	204.84	46.15	6.80	0.79	4.56	12.15	2.74	0.75	0.17	217.75	49.06
33年目	R 40	0.99083	0.98705	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	129.98	18.45	54.89	203.32	44.04	6.74	0.78	4.56	12.07	2.61	0.75	0.16	216.14	46.82
34年目	R 41	0.99077	0.98693	0.99836	0.99176	0.2083	103.0	128.78	18.22	54.80	201.80	42.03	6.68	0.77	4.55	11.99	2.50	0.74	0.15	214.53	44.69
35年目	R 42	0.99070	0.98680	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	127.60	17.98	54.71	200.28	40.12	6.61	0.76	4.54	11.91	2.39	0.73	0.15	212.93	42.65
36年目	R 43	0.99063	0.98668	0.99835	0.99165	0.1926	103.0	126.41	17.74	54.62	198.77	38.28	6.55	0.75	4.53	11.83	2.28	0.73	0.14	211.33	40.70
37年目	R 44	0.99056	0.98655	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	125.22	17.50	54.53	197.26	36.53	6.49	0.74	4.53	11.76	2.18	0.72	0.13	209.73	38.84
38年目	R 45	0.99050	0.98642	0.99835	0.99154	0.1780	103.0	124.04	17.27	54.44	195.75	34.84	6.43	0.73	4.52	11.68	2.08	0.72	0.13	208.14	37.05
39年目	R 46	0.99043	0.98630	0.99835	0.99148	0.1712	103.0	122.86	17.03	54.35	194.25	33.26	6.37	0.72	4.51	11.60	1.99	0.71	0.12	206.55	35.36
40年目	R 47	0.99036	0.98617	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	121.69	16.80	54.26	192.75	31.73	6.31	0.71	4.50	11.52	1.90	0.70	0.12	204.97	33.74
41年目	R 48	0.99029	0.98605	0.99834	0.99137	0.1583	103.0	120.51	16.57	54.17	191.25	30.28	6.25	0.70	4.50	11.44	1.81	0.70	0.11	203.39	32.20
42年目	R 49	0.99022	0.98592	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	119.34	16.34	54.08	189.76	28.88	6.19	0.69	4.49	11.36	1.73	0.69	0.11	201.82	30.72
43年目	R 50	0.99016	0.98579	0.99834	0.99126	0.1463	103.0	118.18	16.11	53.99	188.28	27.54	6.13	0.68	4.48	11.29					

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道155号	豊田南バイパス	4	12.9km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					48,091	
	改良費				25,886	
		土工	m3	2,170,195	2,446	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m3	22,751	113	
		法面工	m²	62,207	66	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	2	14,796	片持ばり式擁壁、重力式擁壁、L型擁壁、U型擁壁等
		管渠工	m	3,684	161	
		函渠工	m	670	3,422	ボックスカルバート(美山地区)
		調整池工	式	1	193	
		排水工	m	54,950	1,488	
		中央分離帯工	m	10,531	247	
		雑工	式	1	2,953	機能補償道路・水路・横断歩道橋等
	橋梁費				13,575	
		100m以上	m	1,993	10,940	8橋
		100m未満	m	402	2,635	5橋
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				5,400	
		車道舗装	m²	402,495	4,968	
		その他舗装	m²	123,324	432	
	付帯施設費				3,231	
		交通管理施設工	式	1	3,231	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工					
		仮設工	式			
	②用地及補償費					26,646
	用地費	m²	537,956	21,627		
		宅地	m²	133,719	6,272	
		田畑	m²	336,971	14,491	
		山林・原野	m²	48,139	368	
		その他	m²	16,046	495	
	補償費	式	1	5,019		
	③間接経費	式	1	9,363	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				84,100		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道155号	豊田南バイパス	4	12.9km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	12.9	3,326	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	38,108	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			41,434	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道155号	豊田南バイパス	4	12.9km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					14,703	
	改良費				7,510	
		土工	m3	809,500	629	切土(219,249m3)、盛土(349,428m3)
		軟弱地盤改良工	m3	22,751	113	
		法面工	m²	33,836	29	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	4,203	片持ばり式擁壁、重力式擁壁、L型擁壁、U型擁壁等
		管渠工	m	847	37	
		函渠工	m	670	898	ボックスカルバート(美山地区)
		調整池工	式	1	193	
		排水工	m	28,460	612	
		中央分離帯工	m	2,832	63	
	雑工	式	1	733	機能補償道路・水路・横断歩道橋等	
	橋梁費				4,518	
		100m以上	m	458	2,514	4橋
		100m未満	m	305	2,004	2橋
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,780	
		車道舗装	m²	156,711	1,637	
		その他舗装	m²	42,876	143	
	付帯施設費				895	
交通管理施設工		式	1	895	標識工、防護柵工、道路照明等	
遮音壁		m				
その他仮設工・雑工						
	仮設工	式				
②用地及補償費					266	
	用地費	m²	5,380	216		
		宅地	m²	1,337	63	
		田畑	m²	3,370	145	
		山林・原野	m²	481	4	
		その他	m²	160	4	
	補償費	式	1	50		
	③間接経費	式	1	2,109	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				17,078		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道155号	豊田南バイパス	4	12.9km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	12.9	3,326	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	38,108	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			41,434	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（令和２年度事業継続箇所）（原案）

担 当 課：
担当課長名：

事業名	一般国道 4 7 4 号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道 いいだか 飯喬道路		事業 区分	一般国道	事業 主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：長野県飯田市山本 至：長野県下伊那郡喬木村氏乗				延長	22.1 km
事業概要						
一般国道 4 7 4 号三遠南信自動車道は、長野県飯田市を起点とし、静岡県浜松市に至る延長約100kmの高規格幹線道路です。 本事業の一般国道 4 7 4 号三遠南信自動車道飯喬道路は、長野県飯田市山本から下伊那郡喬木村氏乗に至る延長22.1 kmの自動車専用道路であり、広域ネットワークの構築、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を主な目的として事業を推進している。						
H 4 年度事業化		—		H 7 年度用地着手		H 1 0 年度工事着手
全体事業費		1, 5 1 1 億円		事業進捗率 (平成31年3月時点)	約 7 9 %	供用済延長 1 0 . 6 km
計画交通量		7, 5 0 0 台／日				
費用対効果 分析結果	B／C (事業全体) 1. 2 (1. 2) (残事業) 4. 5 (7. 7)	総費用 (残事業)／(事業全体) 1,496/5,671億円 事業費：1,214/5,389億円 維持管理費：282/282億円	総便益 (残事業)／(事業全体) 6,804/6,804億円 走行時間短縮便益:6,292/6,292億円 走行経費減少便益：425/425億円 交通事故減少便益：88/88億円	基準年 令和元年		
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=1.1～1.3(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.1～5.1(交通量±10%) 事業費：B/C=1.2～1.2(事業費±10%) 事業費：B/C=4.3～5.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1～1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.3～5.0(事業期間±20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保 ・並行区間等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・利便性の向上が期待できるバス路線(信南交通)が存在する。						
②国土・地域ネットワークの構築 ・新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。 ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。						
③個性ある地域の形成 ・地域連携プロジェクトを支援する。 ・IC等からのアクセスが向上する主要な観光地(天龍峡・天竜川下り等)が存在する。						
④安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設(飯田市立病院)へのアクセス向上が見込まれる。						
⑤災害への備え ・第一次緊急輸送道路として位置づけられている。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ・並行区間等の事前通行規制区間の代替路線を形成する。						
⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。						
⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出の削減が見込まれる。 ・SPM排出の削減が見込まれる。						

関係する地方公共団体等の意見	
長野県知事の意見： 本事業は、広域ネットワークの構築、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化に寄与する極めて重要な事業です。 ついては、事業を継続し、積極的な予算確保により、早期開通を図るよう強く要望します。 また、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いいたします。	
事業評価監視委員会の意見	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
・下伊那地域のうち、唯一、旧上村・旧南信濃村は、飯田市中心部までの所要時間が60分以上必要である。 ・旧上村と旧南信濃村は、通行不能区間や雨量等事前通行規制区間に囲まれ、規制発生時には飯田市中心部へのアクセスが困難である。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
・事業進捗率は約79%、用地取得率は100%。（平成31年3月末） ・飯田山本IC～天龍峡IC間（延長7.2km）は、平成20年度に暫定2車線供用。 ・天龍峡IC～龍江IC間（延長4.0km）は、令和元年度に2車線供用予定。 ・龍江IC～飯田上久堅・喬木富田IC間（延長3.4km）は、平成29年度に2車線供用。 ・飯田上久堅・喬木富田IC～喬木IC間（延長7.5km）は、工事を推進。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・飯田上久堅・喬木富田IC～喬木IC間（延長7.5km）は早期供用を目指しています。	
施設の構造や工法の変更等	
・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。	
事業概要図	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道474号 三遠南信自動車道 飯橋道路
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C)＝1.2 経済的純現在価値(B-C)＝329億円 経済的内部収益率(EIRR)＝4.5% 残事業：費用便益比(B/C)＝7.7 経済的純現在価値(B-C)＝2,133億円 経済的内部収益率(EIRR)＝29.4%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況)：890万人・時間/年 渋滞損失削減時間：59万人・時間/年(890万人・時間/年⇒831万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について (該当区間名) 国道151号(飯田市松尾八幡～下條村粒良脇) 国道153号(飯田市松尾上溝～飯田市山本) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間：10.2万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率：約2割削減
	■ 並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	
	□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
	■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	信南交通 遠山郷線(飯田～飯田市南信濃和田(かぐらの湯))
	□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	
	□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	□ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	
	1. 活力	
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	□ 三大都市圏の環状道路を形成する	
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	国土・地域ネットワークの構築	
	■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	飯田市と浜松市

	個性ある地域の形成	■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	飯田地方生活圏（飯田市）と西部地方生活圏（浜松市）とを連結する
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	飯田市上村地区および南信濃地区から飯田市中心市街地へのアクセス向上 飯田市役所→飯田市南信濃地区 現況80分 ⇒ 整備後60分 約20分短縮
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	三遠南信地域連携ビジョン（「三遠南信250万流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域（以下「三遠南信地域」という。）の県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指す）
		■ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	天龍峡・天竜川下り（H29：3,255百人）、しらびそ高原（H29：749百人）、下栗の里（H29：551百人） 遠山温泉郷（H29：991百人）
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	旧南信濃村から飯田市の飯田市立病院へのアクセスが向上 旧南信濃村（飯田市南信濃地区）～飯田市立病院 現況70分⇒50分
3. 安全	安全な生活環境の確保	■ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	緊急輸送道路としての役割を担う
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路 （一）上飯田線（代替区間：喬木村氏乗～喬木村小川） 一般国道151号（代替区間：飯田市松尾八幡～阿南町新野） 一般国道153号（代替区間：飯田市松尾上溝～飯田市山本）
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		■ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	（一）上飯田線（事前通行規制区間）、一般国道256号（通行不能区間）
4. 環境	地球環境の保全	■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：23千t/年 （910千t/年 ⇒ 887千t/年）
	生活環境の改善・保全	■ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績：2箇所（自排局：飯田IC（飯田市北方）、一般局：飯田合同庁舎（飯田市追町） （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）： （区間名）国道151号（飯田市松尾八幡～下條村粒良脇）、国道153号（飯田市松尾上溝～飯田市山本） 排出削減量：22.0t/年、排出削減率：1割削減
		■ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績：2箇所（自排局：飯田IC（飯田市北方）、一般局：飯田合同庁舎（飯田市追町） （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）： （区間名）国道151号（飯田市松尾八幡～下條村粒良脇） 国道153号（飯田市松尾上溝～飯田市山本） 排出削減量：1.5t/年、排出削減率：1割削減
		□ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道474号	三遠南信自動車道 飯喬道路	L = 22.1 km	高規格B	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,500	2～4	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	1,424億円	352億円	1,776億円
うち残事業分	252億円	352億円	604億円
基準年における 現在価値 (C)	2,011億円	114億円	2,125億円
うち残事業分	207億円	114億円	320億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	令和9年度			
単年便益 (初年便益)	146億円	9.4億円	1.9億円	158億円
基準年における 現在価値 (B)	2,285億円	139億円	29億円	2,454億円
うち残事業分	2,285億円	139億円	29億円	2,454億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	329億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.5%
費用便益比（残事業）	7.7
経済的純現在価値（残事業）	2,133億円
経済的内部収益率（残事業）	29.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	7,500台/日	±10%	1.1 ～ 1.2
事業費	1,424億円	±10%	1.1 ～ 1.3
事業期間	38年	±20%	1.1 ～ 1.3

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	7,500台/日	±10%	7.5 ～ 7.9
事業費	252億円	±10%	7.2 ～ 8.2
事業期間	14年	±20%	7.0 ～ 8.4

交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 飯喬道路（事業全体）

（推計時点 R12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 改築区間：22.1km		交通量※ ¹	[台/日]	－	7,500
		走行時間※ ²	[分]	－	20
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	－	26.04
②主な周辺道路※ ⁴	国道151号 18.4km	交通量	[台/日]	7,100	6,500
		走行時間	[分]	60	57
		走行時間費用	[億円/年]	105.36	91.33
	国道153号 29.4km	交通量	[台/日]	15,700	15,000
		走行時間	[分]	106	105
		走行時間費用	[億円/年]	302.98	277.80
	(一) 上飯田線 8.8km	交通量	[台/日]	3,500	2,000
		走行時間	[分]	24	23
		走行時間費用	[億円/年]	16.40	10.08
	(一) 時又中村線 7.1km	交通量	[台/日]	7,200	5,300
		走行時間	[分]	29	25
		走行時間費用	[億円/年]	44.47	29.25
	(一) 駄科大瀬木線 4.2km	交通量	[台/日]	8,600	4,900
		走行時間	[分]	17	12
		走行時間費用	[億円/年]	26.49	10.45
	(主) 下条米川飯田線 5.3km	交通量	[台/日]	1,300	1,100
		走行時間	[分]	27	25
		走行時間費用	[億円/年]	5.94	4.87
	(主) 飯田富山佐久間線 11.9km	交通量	[台/日]	1,100	800
		走行時間	[分]	52	52
		走行時間費用	[億円/年]	17.90	12.12
③その他道路合計 798.3km		走行時間費用	[億円/年]	2,669.92	2,576.80

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：905.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,189.46	3,038.74	150.72

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

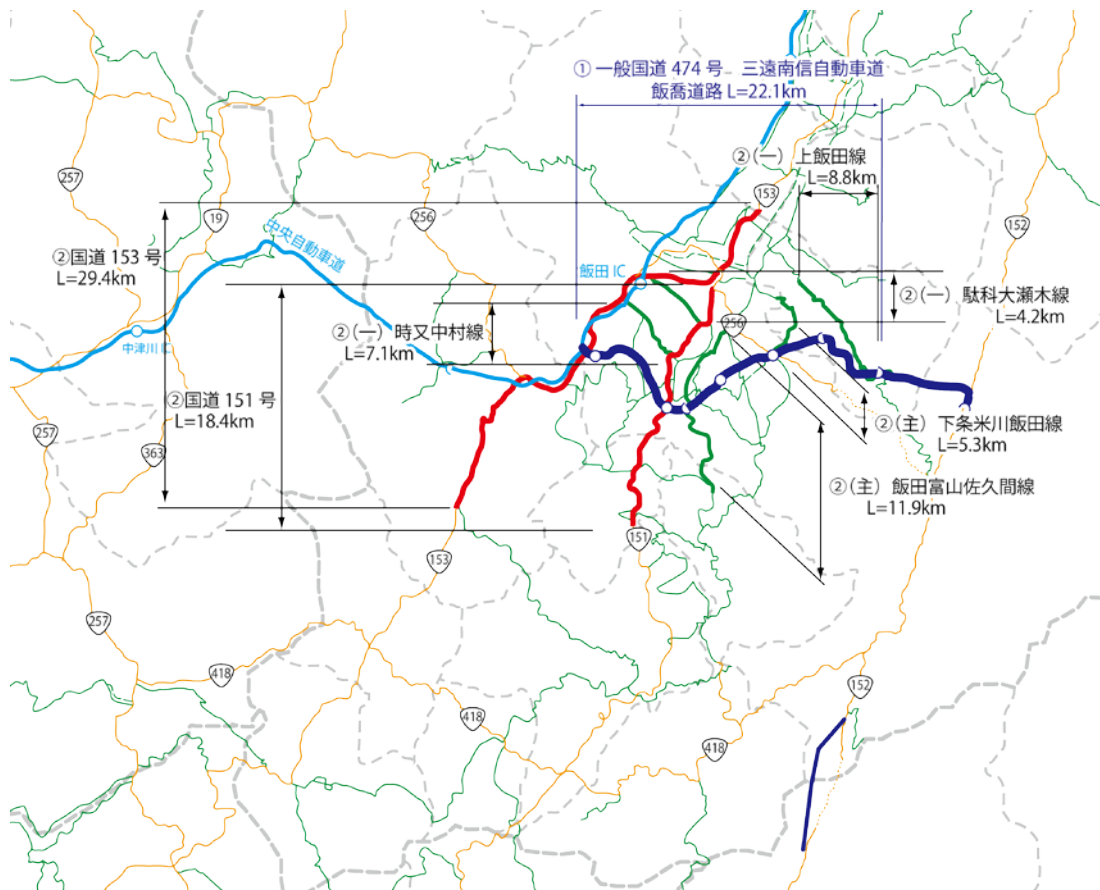
※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 飯喬道路（残事業）

（推計時点 R12年）

				整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 改築区間：22.1km		交通量※ ¹	[台/日]	－	7,500
		走行時間※ ²	[分]	－	20
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	－	26.04
②主な周辺道路※ ⁴	国道151号 18.4km	交通量	[台/日]	7,100	6,500
		走行時間	[分]	60	57
		走行時間費用	[億円/年]	105.36	91.33
	国道153号 29.4km	交通量	[台/日]	15,700	15,000
		走行時間	[分]	106	105
		走行時間費用	[億円/年]	302.98	277.80
	(一) 上飯田線 8.8km	交通量	[台/日]	3,500	2,000
		走行時間	[分]	24	23
		走行時間費用	[億円/年]	16.40	10.08
	(一) 時又中村線 7.1km	交通量	[台/日]	7,200	5,300
		走行時間	[分]	29	25
		走行時間費用	[億円/年]	44.47	29.25
	(一) 駄科大瀬木線 4.2km	交通量	[台/日]	8,600	4,900
		走行時間	[分]	17	12
		走行時間費用	[億円/年]	26.49	10.45
	(主) 下条米川飯田線 5.3km	交通量	[台/日]	1,300	1,100
		走行時間	[分]	27	25
		走行時間費用	[億円/年]	5.94	4.87
	(主) 飯田富山佐久間線 11.9km	交通量	[台/日]	1,100	800
		走行時間	[分]	52	52
		走行時間費用	[億円/年]	17.90	12.12
③その他道路合計 798.3km		走行時間費用	[億円/年]	2,669.92	2,576.80

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A－B)
合計：905.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,189.46	3,038.74	150.72

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

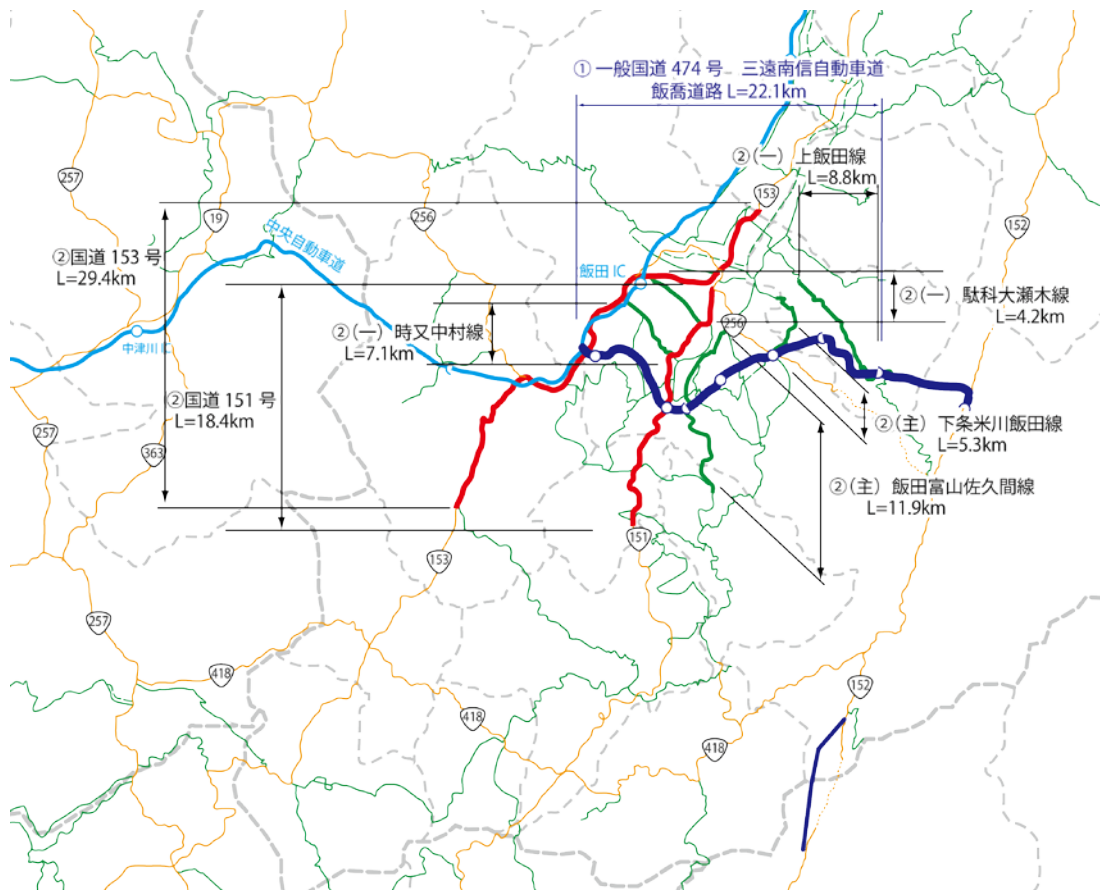
※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 飯橋道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	令和元年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
				☐
	開発交通量の考慮	無		☒
		有		☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
簡易手法の 採択理由		小規模事業である	☐	
		山間部海岸部で併行道路が少ない	☐	
		その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他()		☐	

(3)

-84-

事業名:一般国道474号 三遠南信自動車道 飯喬道路

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☒	
		その他(概算事業計画による値を採用)	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☒	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 飯喬道路				維持修繕費の単価算出(消費税相当額含む)		
(事業全体)				単価 (億円)	延長 (km)	単価 (億円)
				0.35	22.1	7.84
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)
				単価	現在価値	単価
						現在価値
-36年目	H 3	2.9987	116.0			
-35年目	H 4	2.8834	117.6	19.53	49.34	
-34年目	H 5	2.7725	117.9	5.31	12.86	
-33年目	H 6	2.6658	117.8	7.85	18.30	
-32年目	H 7	2.5633	117.1	12.11	27.31	
-31年目	H 8	2.4647	116.6	12.93	28.15	
-30年目	H 9	2.3699	117.5	19.00	39.47	
-29年目	H 10	2.2788	116.9	36.16	72.60	
-28年目	H 11	2.1911	115.2	37.30	73.08	
-27年目	H 12	2.1068	113.8	40.45	77.14	
-26年目	H 13	2.0258	112.4	44.09	81.86	
-25年目	H 14	1.9479	110.5	52.93	96.10	
-24年目	H 15	1.8730	109.0	44.28	78.37	
-23年目	H 16	1.8009	107.9	57.35	98.60	
-22年目	H 17	1.7317	106.7	60.14	100.53	
-21年目	H 18	1.6651	105.9	76.22	123.44	
-20年目	H 19	1.6010	105.0	94.89	149.04	
-19年目	H 20	1.5395	104.4	51.12	77.65	
-18年目	H 21	1.4802	103.0	32.89	48.68	
-17年目	H 22	1.4233	101.3	33.81	48.93	
-16年目	H 23	1.3686	99.8	23.83	33.67	
-15年目	H 24	1.3159	99.0	55.71	76.28	
-14年目	H 25	1.2653	99.0	48.57	63.95	
-13年目	H 26	1.2167	101.5	50.49	62.34	
-12年目	H 27	1.1699	103.0	50.45	59.02	
-11年目	H 28	1.1249	102.8	62.07	69.95	
-10年目	H 29	1.0816	103.0	59.50	64.35	
-9年目	H 30	1.0400	103.0	41.21	42.86	
基準年	R 1	1.0000	103.0	41.82	41.82	
-7年目	R 2	0.9615	103.0	30.45	29.27	
-6年目	R 3	0.9246	103.0	24.70	22.84	
-5年目	R 4	0.8890	103.0	29.87	26.56	
-4年目	R 5	0.8548	103.0	31.96	27.32	
-3年目	R 6	0.8219	103.0	30.80	25.32	
-2年目	R 7	0.7903	103.0	15.32	12.11	
-1年目	R 8	0.7599	103.0	24.01	18.24	
暫定供用開始年次	R 9	0.7307	103.0	12.80	9.35	5.81
1年目	R 10	0.7026	103.0	25.85	18.17	4.08
2年目	R 11	0.6756	103.0	25.86	17.47	3.92
完成供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			7.13
4年目	R 13	0.6246	103.0			7.13
5年目	R 14	0.6006	103.0			7.13
6年目	R 15	0.5775	103.0			7.13
7年目	R 16	0.5553	103.0			7.13
8年目	R 17	0.5339	103.0			7.13
9年目	R 18	0.5134	103.0			7.13
10年目	R 19	0.4936	103.0			7.13
11年目	R 20	0.4746	103.0			7.13
12年目	R 21	0.4564	103.0			7.13
13年目	R 22	0.4388	103.0			7.13
14年目	R 23	0.4220	103.0			7.13
15年目	R 24	0.4057	103.0			7.13
16年目	R 25	0.3901	103.0			7.13
17年目	R 26	0.3751	103.0			7.13
18年目	R 27	0.3607	103.0			7.13
19年目	R 28	0.3468	103.0			7.13
20年目	R 29	0.3335	103.0			7.13
21年目	R 30	0.3207	103.0			7.13
22年目	R 31	0.3083	103.0			7.13
23年目	R 32	0.2965	103.0			7.13
24年目	R 33	0.2851	103.0			7.13
25年目	R 34	0.2741	103.0			7.13
26年目	R 35	0.2636	103.0			7.13
27年目	R 36	0.2534	103.0			7.13
28年目	R 37	0.2437	103.0			7.13
29年目	R 38	0.2343	103.0			7.13
30年目	R 39	0.2253	103.0			7.13
31年目	R 40	0.2166	103.0			7.13
32年目	R 41	0.2083	103.0			7.13
33年目	R 42	0.2003	103.0			7.13
34年目	R 43	0.1926	103.0			7.13
35年目	R 44	0.1852	103.0			7.13
36年目	R 45	0.1780	103.0			7.13
37年目	R 46	0.1712	103.0			7.13
38年目	R 47	0.1646	103.0			7.13
39年目	R 48	0.1583	103.0			7.13
40年目	R 49	0.1522	103.0			7.13
41年目	R 50	0.1463	103.0			7.13
42年目	R 51	0.1407	103.0			7.13
43年目	R 52	0.1353	103.0			7.13
44年目	R 53	0.1301	103.0			7.13
45年目	R 54	0.1251	103.0			7.13
46年目	R 55	0.1203	103.0			7.13
47年目	R 56	0.1157	103.0			7.13
48年目	R 57	0.1112	103.0			7.13
49年目	R 58	0.1069	103.0	-106.12	-11.35	7.13
合計				1317.55	2010.97	352.41
単純事業費計				1423.67		352.41

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

そのため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 飯橋道路 (残事業)				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)		
				単価 (億円)	延長 (km)	単純単価 (億円)
				0.35	22.1	7.84
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)
				単純単価	現在価値	単純単価
						現在価値
-36年目	H 3	2.9987	116.0			
-35年目	H 4	2.8834	117.6			
-34年目	H 5	2.7725	117.9			
-33年目	H 6	2.6658	117.8			
-32年目	H 7	2.5633	117.1			
-31年目	H 8	2.4647	116.6			
-30年目	H 9	2.3699	117.5			
-29年目	H 10	2.2788	116.9			
-28年目	H 11	2.1911	115.2			
-27年目	H 12	2.1068	113.8			
-26年目	H 13	2.0258	112.4			
-25年目	H 14	1.9479	110.5			
-24年目	H 15	1.8730	109.0			
-23年目	H 16	1.8009	107.9			
-22年目	H 17	1.7317	106.7			
-21年目	H 18	1.6651	105.9			
-20年目	H 19	1.6010	105.0			
-19年目	H 20	1.5395	104.4			
-18年目	H 21	1.4802	103.0			
-17年目	H 22	1.4233	101.3			
-16年目	H 23	1.3686	99.8			
-15年目	H 24	1.3159	99.0			
-14年目	H 25	1.2653	99.0			
-13年目	H 26	1.2167	101.5			
-12年目	H 27	1.1699	103.0			
-11年目	H 28	1.1249	102.8			
-10年目	H 29	1.0816	103.0			
-9年目	H 30	1.0400	103.0			
基準年	R 1	1.0000	103.0			
-7年目	R 2	0.9615	103.0	30.45	29.27	
-6年目	R 3	0.9246	103.0	24.70	22.84	
-5年目	R 4	0.8890	103.0	29.87	26.56	
-4年目	R 5	0.8548	103.0	31.96	27.32	
-3年目	R 6	0.8219	103.0	30.80	25.32	
-2年目	R 7	0.7903	103.0	15.32	12.11	
-1年目	R 8	0.7599	103.0	24.01	18.24	
暫定供用開始年次	R 9	0.7307	103.0	12.80	9.35	5.81
1年目	R 10	0.7026	103.0	25.85	18.17	4.08
2年目	R 11	0.6756	103.0	25.86	17.47	3.92
完成供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			7.13
4年目	R 13	0.6246	103.0			7.13
5年目	R 14	0.6006	103.0			7.13
6年目	R 15	0.5775	103.0			7.13
7年目	R 16	0.5553	103.0			7.13
8年目	R 17	0.5339	103.0			7.13
9年目	R 18	0.5134	103.0			7.13
10年目	R 19	0.4936	103.0			7.13
11年目	R 20	0.4746	103.0			7.13
12年目	R 21	0.4564	103.0			7.13
13年目	R 22	0.4388	103.0			7.13
14年目	R 23	0.4220	103.0			7.13
15年目	R 24	0.4057	103.0			7.13
16年目	R 25	0.3901	103.0			7.13
17年目	R 26	0.3751	103.0			7.13
18年目	R 27	0.3607	103.0			7.13
19年目	R 28	0.3468	103.0			7.13
20年目	R 29	0.3335	103.0			7.13
21年目	R 30	0.3207	103.0			7.13
22年目	R 31	0.3083	103.0			7.13
23年目	R 32	0.2965	103.0			7.13
24年目	R 33	0.2851	103.0			7.13
25年目	R 34	0.2741	103.0			7.13
26年目	R 35	0.2636	103.0			7.13
27年目	R 36	0.2534	103.0			7.13
28年目	R 37	0.2437	103.0			7.13
29年目	R 38	0.2343	103.0			7.13
30年目	R 39	0.2253	103.0			7.13
31年目	R 40	0.2166	103.0			7.13
32年目	R 41	0.2083	103.0			7.13
33年目	R 42	0.2003	103.0			7.13
34年目	R 43	0.1926	103.0			7.13
35年目	R 44	0.1852	103.0			7.13
36年目	R 45	0.1780	103.0			7.13
37年目	R 46	0.1712	103.0			7.13
38年目	R 47	0.1646	103.0			7.13
39年目	R 48	0.1583	103.0			7.13
40年目	R 49	0.1522	103.0			7.13
41年目	R 50	0.1463	103.0			7.13
42年目	R 51	0.1407	103.0			7.13
43年目	R 52	0.1353	103.0			7.13
44年目	R 53	0.1301	103.0			7.13
45年目	R 54	0.1251	103.0			7.13
46年目	R 55	0.1203	103.0			7.13
47年目	R 56	0.1157	103.0			7.13
48年目	R 57	0.1112	103.0			7.13
49年目	R 58	0.1069	103.0			7.13
合計				251.63	206.65	352.41
単純事業費計				251.63		352.41

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

そのため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 飯橋道路（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (東海ブロック)				割戻率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
								乗用車類 小型貨物 普通貨物 全 車				現在価値 ①×(A)		現在価値 (A)×②			③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%	
		R 1	乗用車類	小型貨物	普通貨物			全 車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)
暫定供用開始年次	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	57.13	19.19	70.07	146.39	106.97	3.49	0.40	5.49	9.37	6.85	1.88	1.37	157.64	115.19
1年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	57.11	18.91	70.64	146.66	103.04	3.48	0.39	5.53	9.41	6.61	1.88	1.32	157.95	110.97
2年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	103.0	57.09	18.63	71.21	146.93	99.26	3.48	0.39	5.58	9.45	6.38	1.88	1.27	158.26	106.91
完成供用開始年次	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	58.56	18.74	73.43	150.72	97.91	3.28	0.32	5.38	8.98	5.83	1.97	1.28	161.67	105.02
4年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	58.13	18.56	73.32	150.00	93.69	3.26	0.32	5.37	8.94	5.59	1.95	1.22	160.89	100.49
5年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	57.69	18.38	73.20	149.27	89.65	3.23	0.31	5.36	8.91	5.35	1.94	1.16	160.12	96.16
6年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	57.26	18.20	73.09	148.54	85.78	3.21	0.31	5.35	8.87	5.12	1.93	1.11	159.34	92.02
7年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	56.83	18.01	72.97	147.82	82.08	3.18	0.31	5.34	8.84	4.91	1.91	1.06	158.57	88.05
8年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	56.40	17.83	72.85	147.09	78.53	3.16	0.30	5.34	8.80	4.70	1.90	1.01	157.79	84.25
9年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	55.97	17.65	72.74	146.36	75.14	3.14	0.30	5.33	8.76	4.50	1.89	0.97	157.02	80.61
10年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	55.54	17.47	72.62	145.64	71.89	3.11	0.30	5.32	8.73	4.31	1.87	0.92	156.24	77.12
11年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	55.11	17.29	72.51	144.91	68.78	3.09	0.30	5.31	8.69	4.13	1.86	0.88	155.46	73.79
12年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	54.68	17.11	72.39	144.18	65.80	3.06	0.29	5.30	8.66	3.95	1.85	0.84	154.69	70.60
13年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	54.25	16.93	72.28	143.46	62.95	3.04	0.29	5.29	8.62	3.78	1.83	0.80	153.91	67.54
14年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	53.82	16.75	72.16	142.73	60.23	3.01	0.29	5.29	8.59	3.62	1.82	0.77	153.14	64.62
15年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	53.39	16.57	72.05	142.00	57.61	2.99	0.28	5.28	8.55	3.47	1.81	0.73	152.36	61.82
16年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	52.95	16.39	71.93	141.28	55.12	2.97	0.28	5.27	8.51	3.32	1.79	0.70	151.59	59.14
17年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	52.52	16.21	71.82	140.55	52.72	2.94	0.28	5.26	8.48	3.18	1.78	0.67	150.81	56.57
18年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	52.09	16.03	71.70	139.82	50.43	2.92	0.27	5.25	8.44	3.05	1.77	0.64	150.04	54.12
19年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	51.66	15.85	71.59	139.10	48.24	2.89	0.27	5.24	8.41	2.92	1.76	0.61	149.26	51.77
20年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	51.23	15.66	71.47	138.37	46.14	2.87	0.27	5.23	8.37	2.79	1.74	0.58	148.48	49.52
21年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	50.80	15.48	71.36	137.64	44.14	2.85	0.26	5.23	8.34	2.67	1.73	0.55	147.71	47.36
22年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	50.37	15.30	71.24	136.92	42.21	2.82	0.26	5.22	8.30	2.56	1.72	0.53	146.93	45.30
23年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	49.94	15.12	71.13	136.19	40.37	2.80	0.26	5.21	8.27	2.45	1.70	0.50	146.16	43.33
24年目	R 33	0.99132	0.98795	0.99838	0.99221	0.2851	103.0	49.51	14.94	71.01	135.46	38.62	2.77	0.26	5.20	8.23	2.35	1.69	0.48	145.38	41.44
25年目	R 34	0.99125	0.98783	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	49.08	14.76	70.90	134.74	36.93	2.75	0.25	5.19	8.19	2.25	1.68	0.46	144.61	39.64
26年目	R 35	0.99118	0.98770	0.99837	0.99210	0.2636	103.0	48.65	14.58	70.78	134.01	35.32	2.73	0.25	5.18	8.16	2.15	1.66	0.44	143.84	37.91
27年目	R 36	0.99111	0.98758	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	48.22	14.40	70.67	133.29	33.78	2.70	0.25	5.18	8.12	2.06	1.65	0.42	143.06	36.25
28年目	R 37	0.99105	0.98745	0.99837	0.99199	0.2437	103.0	47.79	14.22	70.55	132.57	32.30	2.68	0.24	5.17	8.09	1.97	1.64	0.40	142.29	34.67
29年目	R 38	0.99098	0.98732	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	47.36	14.05	70.44	131.85	30.89	2.65	0.24	5.16	8.05	1.89	1.62	0.38	141.52	33.16
30年目	R 39	0.99091	0.98720	0.99836	0.99188	0.2253	103.0	46.94	13.87	70.32	131.13	29.54	2.63	0.24	5.15	8.02	1.81	1.61	0.36	140.75	31.71
31年目	R 40	0.99084	0.98707	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	46.51	13.69	70.21	130.41	28.25	2.61	0.23	5.14	7.98	1.73	1.60	0.35	139.99	30.32
32年目	R 41	0.99077	0.98695	0.99836	0.99177	0.2083	103.0	46.08	13.51	70.09	129.69	27.01	2.58	0.23	5.13	7.95	1.66	1.58	0.33	139.22	29.00
33年目	R 42	0.99071	0.98682	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	45.66	13.34	69.98	128.97	25.83	2.56	0.23	5.13	7.91	1.58	1.57	0.31	138.45	27.73
34年目	R 43	0.99064	0.98669	0.99835	0.99166	0.1926	103.0	45.23	13.16	69.86	128.26	24.70	2.53	0.22	5.12	7.88	1.52	1.56	0.30	137.69	26.52
35年目	R 44	0.99057	0.98657	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	44.81	12.99	69.75	127.54	23.62	2.51	0.22	5.11	7.84	1.45	1.55	0.29	136.93	25.36
36年目	R 45	0.99050	0.98644	0.99835	0.99155	0.1780	103.0	44.39	12.81	69.63	126.83	22.58	2.49	0.22	5.10	7.81	1.39	1.53	0.27	136.17	24.24
37年目	R 46	0.99043	0.98632	0.99835	0.99149	0.1712	103.0	43.97	12.64	69.52	126.12	21.59	2.46	0.22	5.09	7.77	1.33	1.52	0.26	135.41	23.18
38年目	R 47	0.99037	0.98619	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	43.55	12.46	69.40	125.41	20.64	2.44	0.21	5.08	7.74	1.27	1.51	0.25	134.66	22.17
39年目	R 48	0.99030	0.98606	0.99834	0.99138	0.1583	103.0	43.13	12.29	69.29	124.71	19.74	2.42	0.21	5.07	7.70	1.22	1.49	0.24	133.90	21.19
40年目	R 49	0.99023	0.98594	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	42.71	12.12	69.17	124.00	18.87	2.39	0.21	5.07	7.67	1.17	1.48	0.23	133.15	20.26
41年目	R 50	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1463	103.0	42.29	11.95	69.06	123.30	18.04	2.37	0.20	5.06	7.63	1.12	1.47	0.21	132.40	19.38
42年目	R 51	0.99009	0.98569	0.99833	0.99121	0.1407	103.0	41.88	11.78	68.94	122.60	17.25	2.35	0.20	5.05	7.60	1.07	1.45	0.20	131.65	18.52
43年目	R 52	0.99003	0.98556	0.99833	0.99116	0.1353	103.0	41.46	11.61	68.83	121.90	16.49	2.32	0.20	5.04	7.56	1.02	1.44	0.20	130.90	17.71
44年目	R 53	0.98996	0.98543	0.99833	0.99110	0.1301	103.0	41.05	11.45	68.71											

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 飯橋道路	2～4	22.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
①工事費			式	1	107,102	
	改良費		式	1	28,618	
		土工	m3	7,486,846	12,025	切土(5459680m3)、盛土(2027167m3)
		軟弱地盤改良工	m3	-	-	
		法面工	m2	962,940	4,318	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	2,533	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	6,444	462	
		函渠工	m	1,131	723	
		排水工	m	67,791	3,880	
		中央分離帯工	m	7,358	41	
		雑工	式	1	4,635	工事用道路、機能補償道路
	橋梁費		式	1	48,003	
		100m以上	m	6,630	42,784	鋼橋4橋 PC橋29橋
		100m未満	m	1,359	5,219	鋼橋2橋 PC橋7橋 跨道橋22橋
	トンネル費		式	1	12,754	
		NATM	m	3,662	12,754	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費		式	1	7,922	
		IC	箇所	6	5,321	
		JCT	箇所	1	2,601	
	舗装費		式	1	4,868	
		車道舗装	m2	376,562	4,789	
		歩道舗装	m2	12,235	78	
	付帯施設費		式	1	1,428	
		交通管理施設工	式	1	1,428	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	-	-	
	その他		式	1	3,510	
		砒素溶出防止対策	式	1	3,510	
	②用地及補償費			式	1	16,183
	用地費		m2	987,278	10,612	
		宅地	m2	48,515	733	
		田畑	m2	443,306	5,990	
		山林・原野	m2	466,081	3,644	
		その他	m2	29,376	246	
	補償費		式	1	5,571	
	③間接経費			式	1	27,815
全体事業費					151,100	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 飯喬道路	2～4	22.1km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	5.9	7,317	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	31,448	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			38,765	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 飯橋道路	2～4	22.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
①工事費			式	1	25,583	
	改良費		式	1	3,582	
		土工	m3	1,259,686	1,973	切土(993860m3)、盛土(265826m3)
		軟弱地盤改良工	m3	-	-	
		法面工	m2	238,483	780	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	318	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	371	30	
		函渠工	m	59	9	
		排水工	m	4,166	264	
		中央分離帯工	m	7,217	40	
		雑工	式	1	167	工事用道路、機能補償道路
	橋梁費		式	1	9,928	
		100m以上	m	2,982	8,709	PC橋5橋
		100m未満	m	254	1,219	鋼橋2橋 PC橋1橋
	トンネル費		式	1	7,880	
		NATM	m	2,624	7,880	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費		式	1	381	
		IC	箇所	2	381	
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費		式	1	1,392	
		車道舗装	m2	119,027	1,392	
		歩道舗装	m2	-	-	
	付帯施設費		式	1	87	
		交通管理施設工	式	1	87	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	-	-	
	その他		式	1	2,332	
		砒素溶出防止対策	式	1	2,332	
	②用地及補償費			式	1	-
	用地費		m2	-	-	
		宅地	m2	-	-	
		田畑	m2	-	-	
		山林・原野	m2	-	-	
		その他	m2	-	-	
	補償費		式	-	-	
	③間接経費			式	1	2,096
全体事業費					27,679	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 飯喬道路	2～4	22.1km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	5.9	7,317	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	31,448	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			38,765	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

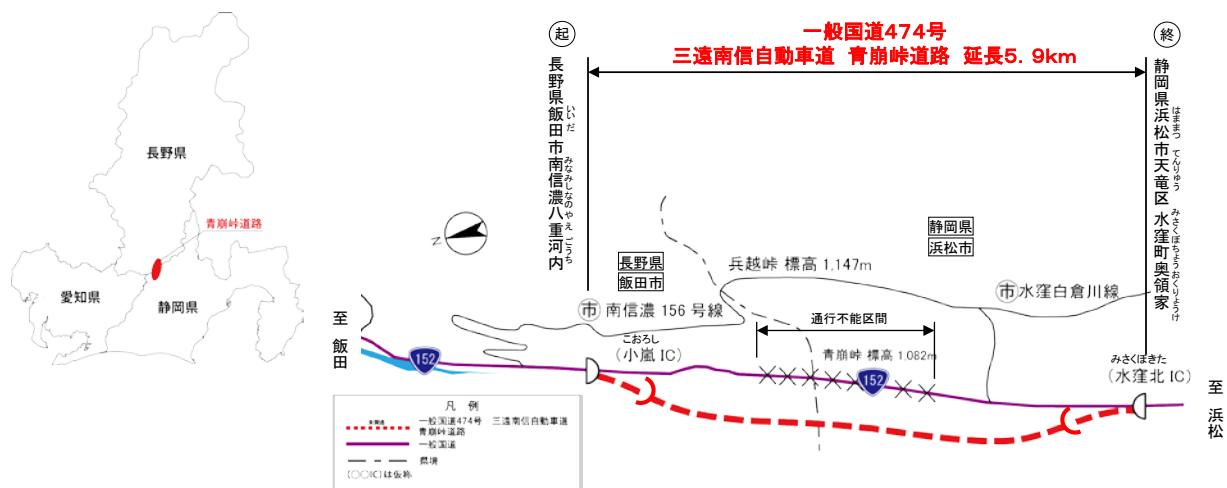
再評価結果（令和2年度事業継続箇所）（原案）

担 当 課：
担当課長名：

事業名	一般国道 4 7 4 号 三遠南信自動車道 青崩峠道路		事業 区分	一般国道	事業 主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：長野県飯田市南信濃八重河内 至：静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家				延長	5. 9 km
事業概要						
一般国道 4 7 4 号三遠南信自動車道は、長野県飯田市を起点とし、静岡県浜松市に至る延長約100kmの高規格幹線道路です。 本事業の一般国道 4 7 4 号三遠南信自動車道青崩峠道路は、長野県飯田市南信濃八重河内から静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家に至る延長 5. 9 kmの自動車専用道路であり、広域ネットワークの構築、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を主な目的として事業を推進している						
S 5 8 年度事業化		—		H 2 3 年度用地着手		H 2 3 年度工事着手
全体事業費		5 7 8 億円		事業進捗率 (平成31年3月時点)	約 4 4 %	供用済延長 0. 0 km
計画交通量		2, 7 0 0 台／日				
費用対効果 分析結果	B／C (事業全体) 1. 2 (1. 8) (残事業) 4. 5 (4. 2)	総費用 (残事業)／(事業全体) 1,496/5,671億円 事業費：1,214/5,389億円 維持管理費：282/282億円	総便益 (残事業)／(事業全体) 6,804/6,804億円 走行時間短縮便益：6,292/6,292億円 走行経費減少便益：425/425億円 交通事故減少便益：88/88億円	基準年 令和元年		
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=1.1～1.3(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.1～5.1(交通量±10%) 事業費：B/C=1.2～1.2(事業費±10%) 事業費：B/C=4.3～5.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1～1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.3～5.0(事業期間±20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ②国土・地域ネットワークの構築 ・新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。 ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する。 ③個性ある地域の形成 ・地域連携プロジェクトを支援する。 ・主要な観光地（遠山温泉郷等）へのアクセス向上が期待される。 ④安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（飯田市立病院）へのアクセス向上が見込まれる。 ⑤災害への備え ・第一次緊急輸送道路として位置づけられている。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ・並行区間等の通行不能区間を解消する。 ⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出の削減が見込まれる。 ・SPM排出の削減が見込まれる。						

関係する地方公共団体等の意見	
長野県知事の意見： 本事業は、広域ネットワークの構築、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化に寄与する極めて重要な事業です。 ついては、事業を継続し、積極的な予算確保により、早期開通を図るよう強く要望します。 また、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いいたします。 浜松市長の意見： 「対応方針（原案）」案に対し異議はない。 一般国道４７４号三遠南信自動車道は、東名高速道路や新東名高速道路と合わせ、広範な交流ネットワークを形成し、広域連携の推進を目指す三遠南信地域の骨格となる高規格幹線道路である。また、緊急輸送路の確保や命をつなぐ道としても医療機関への早急な搬送が可能となる等、国土強靱化に資する道路である。さらに、本市の北遠地域の拠点間の連携が図られ、地域活性化や観光振興等、地域創生に資する道路として、地域にとって大きなストック効果が見込まれる。 本道路は、唯一の未事業化区間であった水窪佐久間道路が今年度に新規事業化され、全線開通に向けた道筋が整ったところである。今後も事業を継続し、早期開通に向けて一層の事業推進をお願いしたい。 なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。	
事業評価監視委員会の意見	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
・国道１５２号の長野県と静岡県境は通行不能区間となっているため、越県するには狭隘で脆弱な市道を利用する必要がある。 ・下伊那地域は事前通行規制区間が多く存在し、平成２２年７月豪雨では通行止めにより旧上村・旧南信濃村が一時孤立している。 ・平成２２年７月豪雨災害時のような通行止めが発生した場合、救急医療施設へのアクセスが絶たれ、救命救急が困難な状況となる。 ・遠山郷周辺と静岡県を結ぶ国道１５２号は通行不能区間であるため、観光交流・地域間交流に支障をきたしてゐる。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
・事業進捗率は約４４％、用地取得率は１００％。（平成３１年３月末） ・小嵐ＩＣ〔仮称〕～水窪北ＩＣ〔仮称〕間（延長５．９ｋｍ）は工事を推進。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・小嵐ＩＣ〔仮称〕～水窪北ＩＣ〔仮称〕間（延長５．９ｋｍ）は早期供用を目指しています。	
施設の構造や工法の変更等	
・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C)＝1.8 経済的純現在価値(B-C)＝454億円 経済的内部収益率(EIRR)＝6.5% 残事業：費用便益比(B/C)＝4.2 経済的純現在価値(B-C)＝798億円 経済的内部収益率(EIRR)＝15.1%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	■ 並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況)：522万人・時間/年 渋滞損失削減時間：19万人・時間/年(522万人・時間/年⇒503万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について (該当区間名)国道151号(長野県飯田市川路～静岡県北設楽郡東栄町三輪)、国道153号(飯田市山本～根羽村上町) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間：49万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率：約1割削減
		□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	
		□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	
	1. 活力 都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 三大都市圏の環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	国土・地域ネットワークの構築	■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	飯田市と浜松市
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	飯田地方生活圏(飯田市)と西部地方生活圏(浜松市)とを連結する

		☐ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	☒ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する ☒ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する ☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	三遠南信地域連携ビジョン（「三遠南信250万流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域（以下「三遠南信地域」という。）の県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指す）、光・電子技術イノベーション創出拠点 しらびそ高原（H29：749百人）、下栗の里（H29：511百人）、遠山温泉郷（H29：991百人）
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	北遠地域から飯田市の三次医療施設（飯田市立病院）へのアクセスが向上 浜松市天竜区水窪地区～飯田市立病院 現況 110分⇒70分
3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり ☒ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路としての役割を担う 代替する緊急輸送道路路線名：国道418号、代替する区間（天龍村平岡～阿南町新野） 国道151号、代替する区間（阿南町新野～新野峠）
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		☒ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	一般国道152号 長野静岡県境（青崩峠）通行不能区間の解消
4. 環境	地球環境の保全	☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：15,233t-CO2/年 （1,215千t-CO2/年 ⇒ 1,190千t-CO2/年）
	生活環境の改善・保全	☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績：2箇所（自排局：飯田IC（飯田市北方）、一般局：飯田合同庁舎（飯田市追町）） （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）： （区間名）国道151号（長野県飯田市川路～静岡県北設楽郡東栄町三輪）、国道153号（飯田市山本～根羽村上町） 排出削減量：103.9t/年、排出削減率：26%削減
		☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績：2箇所（自排局：飯田IC（飯田市北方）、一般局：飯田合同庁舎（飯田市追町）） （推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）： （区間名）国道151号（長野県飯田市川路～静岡県北設楽郡東栄町三輪）、国道153号（飯田市山本～根羽村上町） 排出削減量：5.8t/年、排出削減率：25%削減
		☐ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道474号	三遠南信自動車道 青崩峠道路	L = 5.9 km	高規格B	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
2,700	2	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	532億円	72億円	604億円
うち残事業分	251億円	72億円	323億円
基準年における 現在価値 (C)	572億円	24億円	596億円
うち残事業分	228億円	24億円	252億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	令和8年度			
単年便益 (初年便益)	59億円	5.4億円	0.59億円	65億円
基準年における 現在価値 (B)	953億円	88億円	9.1億円	1,050億円
うち残事業分	953億円	88億円	9.1億円	1,050億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.8
経済的純現在価値（事業全体）	454億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.5%
費用便益比（残事業）	4.2
経済的純現在価値（残事業）	798億円
経済的内部収益率（残事業）	15.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	2,700台/日	±10%	1.7 ～ 1.8
事業費	532億円	±10%	1.7 ～ 1.8
事業期間	32年	±20%	1.6 ～ 1.9

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	2,700台/日	±10%	4.0 ～ 4.3
事業費	251億円	±10%	3.8 ～ 4.6
事業期間	6年	±20%	3.8 ～ 4.5

交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路（事業全体）

（推計時点 R12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 改築区間：5.9km		交通量※ ¹	[台/日]	－	2,700
		走行時間※ ²	[分]	－	6.0
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	－	3.17
②主な周 辺道路※ ⁴	国道153 号 62.1km	交通量	[台/日]	6,700	5,800
		走行時間	[分]	134	120
		走行時間費用	[億円/年]	196.81	154.84
	国道151 号 62.1km	交通量	[台/日]	3,400	2,200
		走行時間	[分]	128	117
		走行時間費用	[億円/年]	84.97	50.37
	兵越林道 13.1km	交通量	[台/日]	300	0
		走行時間	[分]	71	0
		走行時間費用	[億円/年]	3.26	0.00
③その他道路合計 1,402.3km		走行時間費用	[億円/年]	2,645.86	2,662.97

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,545.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,930.90	2,871.35	59.55

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

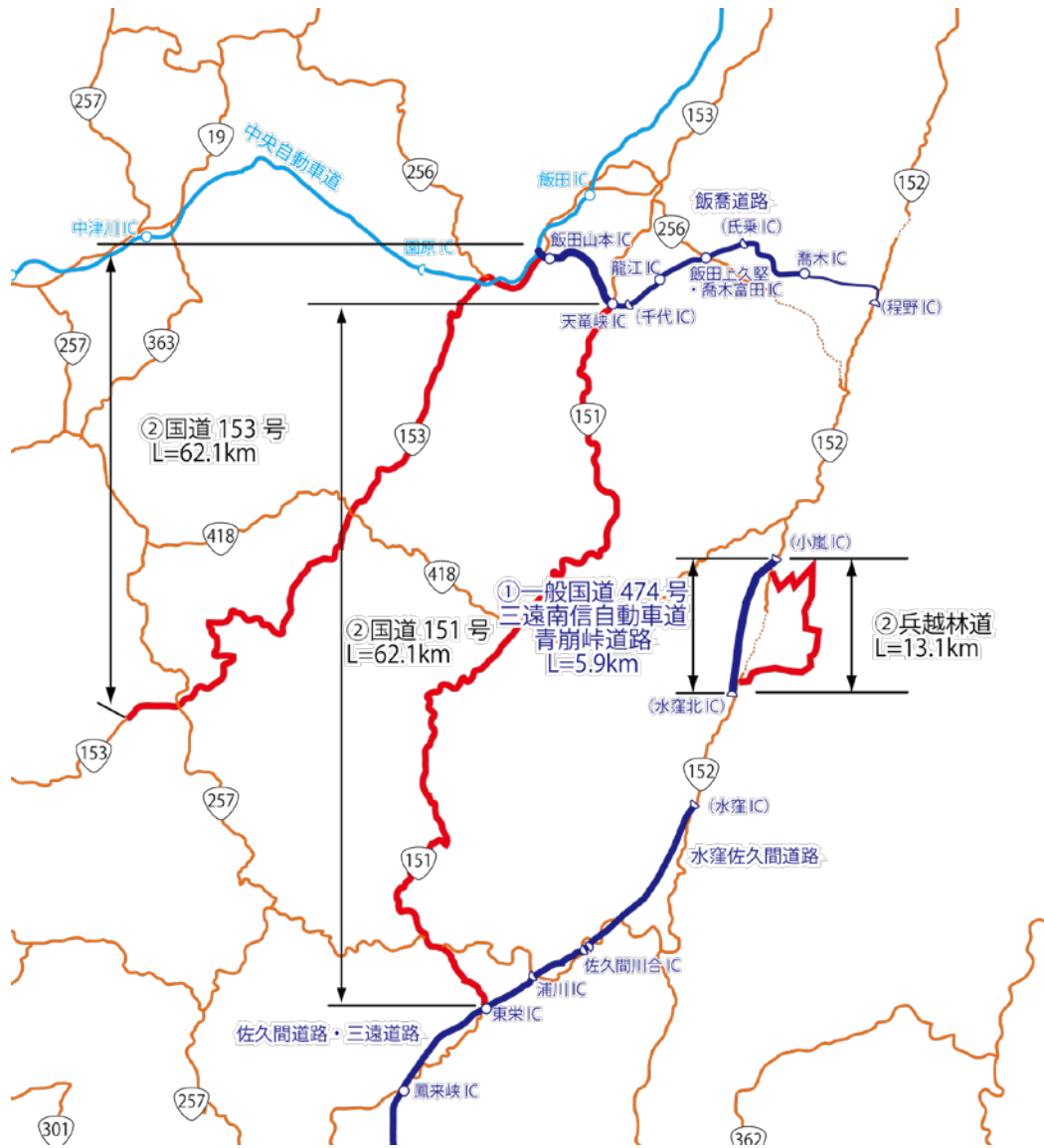
※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路（残事業）

（推計時点 R12年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 改築区間：5.9km		交通量※ ¹	[台/日]	－	2,700
		走行時間※ ²	[分]	－	6.0
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	－	3.17
②主な周 辺道路※ ⁴	国道153 号 62.1km	交通量	[台/日]	6,700	5,800
		走行時間	[分]	134	120
		走行時間費用	[億円/年]	196.81	154.84
	国道151 号 62.1km	交通量	[台/日]	3,400	2,200
		走行時間	[分]	128	117
		走行時間費用	[億円/年]	84.97	50.37
	兵越林道 13.1km	交通量	[台/日]	300	0
		走行時間	[分]	71	0
		走行時間費用	[億円/年]	3.26	0.00
③その他道路合計 1,402.3km		走行時間費用	[億円/年]	2,645.86	2,662.97

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,545.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,930.90	2,871.35	59.55

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

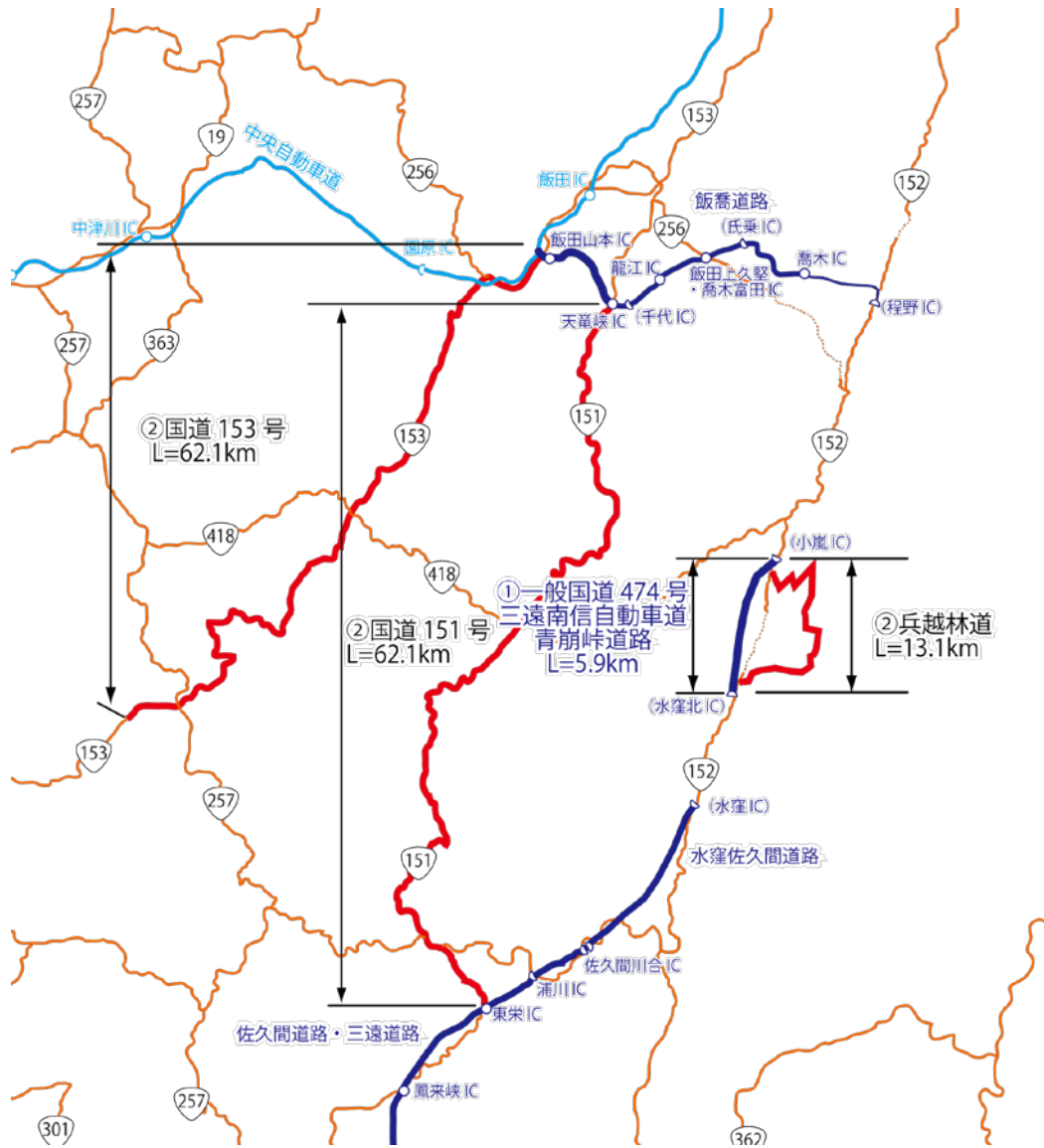
※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	令和元年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
				☐
	開発交通量の考慮	無		☒
		有		☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)	() 台トリップ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他()		☐	

(3)

便益の算定

事業名:一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☒	
		その他(概算事業計画による値を採用)	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☒	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路（事業全体）				維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価（億円）	延長（km）	単価（億円）	
				0.27	5.9	1.58	
年次	年度	割戻率	GDP	事業費（億円）	維持管理費（億円）	維持管理費（億円）	
			デフレ率	単価	現在価値	単価	現在価値
-33年目	H 5	2.7725	117.9				
-32年目	H 6	2.6658	117.8	0.07	0.16		
-31年目	H 7	2.5633	117.1	0.97	2.19		
-30年目	H 8	2.4647	116.6	1.36	2.96		
-29年目	H 9	2.3699	117.5	2.46	5.10		
-28年目	H 10	2.2788	116.9	1.25	2.50		
-27年目	H 11	2.1911	115.2	1.29	2.52		
-26年目	H 12	2.1068	113.8	2.76	5.27		
-25年目	H 13	2.0258	112.4	2.67	4.95		
-24年目	H 14	1.9479	110.5	3.27	5.94		
-23年目	H 15	1.8730	109.0	3.43	6.07		
-22年目	H 16	1.8009	107.9	2.19	3.77		
-21年目	H 17	1.7317	106.7	2.95	4.94		
-20年目	H 18	1.6651	105.9	3.81	6.17		
-19年目	H 19	1.6010	105.0	3.81	5.98		
-18年目	H 20	1.5395	104.4	1.86	2.82		
-17年目	H 21	1.4802	103.0	6.04	8.94		
-16年目	H 22	1.4233	101.3	5.34	7.72		
-15年目	H 23	1.3686	99.8	5.33	7.53		
-14年目	H 24	1.3159	99.0	9.53	13.05		
-13年目	H 25	1.2653	99.0	23.23	30.58		
-12年目	H 26	1.2167	101.5	29.64	36.59		
-11年目	H 27	1.1699	103.0	16.92	19.79		
-10年目	H 28	1.1249	102.8	26.57	29.95		
-9年目	H 29	1.0816	103.0	31.76	34.35		
-8年目	H 30	1.0400	103.0	46.81	48.68		
基準年	R 1	1.0000	103.0	45.68	45.68		
-6年目	R 2	0.9615	103.0	58.38	56.14		
-5年目	R 3	0.9246	103.0	73.55	68.01		
-4年目	R 4	0.8890	103.0	76.59	68.09		
-3年目	R 5	0.8548	103.0	19.53	16.69		
-2年目	R 6	0.8219	103.0	13.99	11.50		
-1年目	R 7	0.7903	103.0	9.03	7.14		
供用開始年次	R 8	0.7599	103.0			1.44	1.09
1年目	R 9	0.7307	103.0			1.44	1.05
2年目	R 10	0.7026	103.0			1.44	1.01
3年目	R 11	0.6756	103.0			1.44	0.97
4年目	R 12	0.6496	103.0			1.44	0.93
5年目	R 13	0.6246	103.0			1.44	0.90
6年目	R 14	0.6006	103.0			1.44	0.86
7年目	R 15	0.5775	103.0			1.44	0.83
8年目	R 16	0.5553	103.0			1.44	0.80
9年目	R 17	0.5339	103.0			1.44	0.77
10年目	R 18	0.5134	103.0			1.44	0.74
11年目	R 19	0.4936	103.0			1.44	0.71
12年目	R 20	0.4746	103.0			1.44	0.68
13年目	R 21	0.4564	103.0			1.44	0.66
14年目	R 22	0.4388	103.0			1.44	0.63
15年目	R 23	0.4220	103.0			1.44	0.61
16年目	R 24	0.4057	103.0			1.44	0.58
17年目	R 25	0.3901	103.0			1.44	0.56
18年目	R 26	0.3751	103.0			1.44	0.54
19年目	R 27	0.3607	103.0			1.44	0.52
20年目	R 28	0.3468	103.0			1.44	0.50
21年目	R 29	0.3335	103.0			1.44	0.48
22年目	R 30	0.3207	103.0			1.44	0.46
23年目	R 31	0.3083	103.0			1.44	0.44
24年目	R 32	0.2965	103.0			1.44	0.43
25年目	R 33	0.2851	103.0			1.44	0.41
26年目	R 34	0.2741	103.0			1.44	0.39
27年目	R 35	0.2636	103.0			1.44	0.38
28年目	R 36	0.2534	103.0			1.44	0.36
29年目	R 37	0.2437	103.0			1.44	0.35
30年目	R 38	0.2343	103.0			1.44	0.34
31年目	R 39	0.2253	103.0			1.44	0.32
32年目	R 40	0.2166	103.0			1.44	0.31
33年目	R 41	0.2083	103.0			1.44	0.30
34年目	R 42	0.2003	103.0			1.44	0.29
35年目	R 43	0.1926	103.0			1.44	0.28
36年目	R 44	0.1852	103.0			1.44	0.27
37年目	R 45	0.1780	103.0			1.44	0.26
38年目	R 46	0.1712	103.0			1.44	0.25
39年目	R 47	0.1646	103.0			1.44	0.24
40年目	R 48	0.1583	103.0			1.44	0.23
41年目	R 49	0.1522	103.0			1.44	0.22
42年目	R 50	0.1463	103.0			1.44	0.21
43年目	R 51	0.1407	103.0			1.44	0.20
44年目	R 52	0.1353	103.0			1.44	0.19
45年目	R 53	0.1301	103.0			1.44	0.19
46年目	R 54	0.1251	103.0			1.44	0.18
47年目	R 55	0.1203	103.0			1.44	0.17
48年目	R 56	0.1157	103.0			1.44	0.17
49年目	R 57	0.1112	103.0	-0.11	-0.01	1.44	0.16
合 計				531.95	571.76	71.82	24.39
単純事業費計				532.06		71.82	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路（残事業）				維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価（億円）		延長（km）	単価（億円）
				0.27		5.9	1.58
年次	年度	割戻率	GDP デフレ率	事業 単価	費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単価	現在価値
-33年目	H 5	2.7725	117.9				
-32年目	H 6	2.6658	117.8				
-31年目	H 7	2.5633	117.1				
-30年目	H 8	2.4647	116.6				
-29年目	H 9	2.3699	117.5				
-28年目	H 10	2.2788	116.9				
-27年目	H 11	2.1911	115.2				
-26年目	H 12	2.1068	113.8				
-25年目	H 13	2.0258	112.4				
-24年目	H 14	1.9479	110.5				
-23年目	H 15	1.8730	109.0				
-22年目	H 16	1.8009	107.9				
-21年目	H 17	1.7317	106.7				
-20年目	H 18	1.6651	105.9				
-19年目	H 19	1.6010	105.0				
-18年目	H 20	1.5395	104.4				
-17年目	H 21	1.4802	103.0				
-16年目	H 22	1.4233	101.3				
-15年目	H 23	1.3686	99.8				
-14年目	H 24	1.3159	99.0				
-13年目	H 25	1.2653	99.0				
-12年目	H 26	1.2167	101.5				
-11年目	H 27	1.1699	103.0				
-10年目	H 28	1.1249	102.8				
-9年目	H 29	1.0816	103.0				
-8年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-6年目	R 2	0.9615	103.0	58.38	56.14		
-5年目	R 3	0.9246	103.0	73.55	68.01		
-4年目	R 4	0.8890	103.0	76.59	68.09		
-3年目	R 5	0.8548	103.0	19.53	16.69		
-2年目	R 6	0.8219	103.0	13.99	11.50		
-1年目	R 7	0.7903	103.0	9.03	7.14		
供用開始年次	R 8	0.7599	103.0			1.44	1.09
1年目	R 9	0.7307	103.0			1.44	1.05
2年目	R 10	0.7026	103.0			1.44	1.01
3年目	R 11	0.6756	103.0			1.44	0.97
4年目	R 12	0.6496	103.0			1.44	0.93
5年目	R 13	0.6246	103.0			1.44	0.90
6年目	R 14	0.6006	103.0			1.44	0.86
7年目	R 15	0.5775	103.0			1.44	0.83
8年目	R 16	0.5553	103.0			1.44	0.80
9年目	R 17	0.5339	103.0			1.44	0.77
10年目	R 18	0.5134	103.0			1.44	0.74
11年目	R 19	0.4936	103.0			1.44	0.71
12年目	R 20	0.4746	103.0			1.44	0.68
13年目	R 21	0.4564	103.0			1.44	0.66
14年目	R 22	0.4388	103.0			1.44	0.63
15年目	R 23	0.4220	103.0			1.44	0.61
16年目	R 24	0.4057	103.0			1.44	0.58
17年目	R 25	0.3901	103.0			1.44	0.56
18年目	R 26	0.3751	103.0			1.44	0.54
19年目	R 27	0.3607	103.0			1.44	0.52
20年目	R 28	0.3468	103.0			1.44	0.50
21年目	R 29	0.3335	103.0			1.44	0.48
22年目	R 30	0.3207	103.0			1.44	0.46
23年目	R 31	0.3083	103.0			1.44	0.44
24年目	R 32	0.2965	103.0			1.44	0.43
25年目	R 33	0.2851	103.0			1.44	0.41
26年目	R 34	0.2741	103.0			1.44	0.39
27年目	R 35	0.2636	103.0			1.44	0.38
28年目	R 36	0.2534	103.0			1.44	0.36
29年目	R 37	0.2437	103.0			1.44	0.35
30年目	R 38	0.2343	103.0			1.44	0.34
31年目	R 39	0.2253	103.0			1.44	0.32
32年目	R 40	0.2166	103.0			1.44	0.31
33年目	R 41	0.2083	103.0			1.44	0.30
34年目	R 42	0.2003	103.0			1.44	0.29
35年目	R 43	0.1926	103.0			1.44	0.28
36年目	R 44	0.1852	103.0			1.44	0.27
37年目	R 45	0.1780	103.0			1.44	0.26
38年目	R 46	0.1712	103.0			1.44	0.25
39年目	R 47	0.1646	103.0			1.44	0.24
40年目	R 48	0.1583	103.0			1.44	0.23
41年目	R 49	0.1522	103.0			1.44	0.22
42年目	R 50	0.1463	103.0			1.44	0.21
43年目	R 51	0.1407	103.0			1.44	0.20
44年目	R 52	0.1353	103.0			1.44	0.19
45年目	R 53	0.1301	103.0			1.44	0.19
46年目	R 54	0.1251	103.0			1.44	0.18
47年目	R 55	0.1203	103.0			1.44	0.17
48年目	R 56	0.1157	103.0			1.44	0.17
49年目	R 57	0.1112	103.0			1.44	0.16
合 計				251.08	227.56	71.82	24.39
単純事業費計				251.08		71.82	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 青崩峠道路（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年) R 1	総走行台和の年次別伸び率 (東海ブロック)				割戻率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7599	103.0	20.02	5.48	33.30	58.80	44.68	1.47	0.35	3.53	5.35	4.07	0.59	0.45	64.74	49.20
1年目	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	20.02	5.40	33.57	58.98	43.10	1.47	0.35	3.56	5.38	3.93	0.59	0.43	64.95	47.46
2年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	20.01	5.32	33.84	59.17	41.57	1.47	0.34	3.59	5.40	3.79	0.59	0.41	65.16	45.78
3年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	103.0	20.00	5.24	34.11	59.36	40.10	1.47	0.34	3.62	5.42	3.66	0.59	0.40	65.37	44.16
4年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	20.00	5.16	34.39	59.55	38.68	1.47	0.33	3.65	5.45	3.54	0.59	0.38	65.58	42.60
5年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	19.85	5.11	34.33	59.29	37.04	1.46	0.33	3.64	5.43	3.39	0.58	0.36	65.31	40.79
6年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	19.70	5.06	34.28	59.04	35.46	1.45	0.32	3.64	5.41	3.25	0.58	0.35	65.03	39.06
7年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	19.56	5.01	34.23	58.79	33.95	1.44	0.32	3.63	5.39	3.11	0.58	0.33	64.76	37.40
8年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	19.41	4.96	34.17	58.54	32.51	1.43	0.32	3.62	5.37	2.98	0.57	0.32	64.48	35.81
9年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	19.26	4.91	34.12	58.29	31.12	1.42	0.31	3.62	5.35	2.86	0.57	0.30	64.21	34.28
10年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	19.11	4.86	34.06	58.04	29.80	1.40	0.31	3.61	5.33	2.74	0.56	0.29	63.93	32.82
11年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	18.97	4.81	34.01	57.79	28.53	1.39	0.31	3.61	5.31	2.62	0.56	0.28	63.66	31.42
12年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	18.82	4.76	33.96	57.54	27.31	1.38	0.31	3.60	5.29	2.51	0.56	0.26	63.39	30.09
13年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	18.67	4.71	33.90	57.29	26.15	1.37	0.30	3.60	5.27	2.41	0.55	0.25	63.11	28.80
14年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	18.53	4.66	33.85	57.04	25.03	1.36	0.30	3.59	5.25	2.30	0.55	0.24	62.84	27.57
15年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	18.38	4.61	33.79	56.79	23.96	1.35	0.30	3.58	5.23	2.21	0.54	0.23	62.56	26.40
16年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	18.23	4.56	33.74	56.54	22.94	1.34	0.29	3.58	5.21	2.11	0.54	0.22	62.29	25.27
17年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	18.08	4.51	33.69	56.28	21.96	1.33	0.29	3.57	5.19	2.03	0.54	0.21	62.01	24.19
18年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	17.94	4.46	33.63	56.03	21.02	1.32	0.29	3.57	5.17	1.94	0.53	0.20	61.74	23.16
19年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	17.79	4.41	33.58	55.78	20.12	1.31	0.28	3.56	5.15	1.86	0.53	0.19	61.46	22.17
20年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	17.64	4.36	33.52	55.53	19.26	1.30	0.28	3.56	5.13	1.78	0.53	0.18	61.19	21.22
21年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	17.50	4.31	33.47	55.28	18.44	1.29	0.28	3.55	5.11	1.70	0.52	0.17	60.92	20.31
22年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	17.35	4.26	33.42	55.03	17.65	1.27	0.27	3.54	5.09	1.63	0.52	0.17	60.64	19.44
23年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	17.20	4.22	33.36	54.78	16.89	1.26	0.27	3.54	5.07	1.56	0.51	0.16	60.37	18.61
24年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	17.05	4.17	33.31	54.53	16.17	1.25	0.27	3.53	5.05	1.50	0.51	0.15	60.09	17.81
25年目	R 33	0.99132	0.98795	0.99838	0.99221	0.2851	103.0	16.91	4.12	33.26	54.28	15.47	1.24	0.26	3.53	5.03	1.43	0.51	0.14	59.82	17.05
26年目	R 34	0.99125	0.98783	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	16.76	4.07	33.20	54.03	14.81	1.23	0.26	3.52	5.01	1.37	0.50	0.14	59.54	16.32
27年目	R 35	0.99118	0.98770	0.99837	0.99210	0.2636	103.0	16.61	4.02	33.15	53.78	14.17	1.22	0.26	3.52	4.99	1.32	0.50	0.13	59.27	15.62
28年目	R 36	0.99111	0.98758	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	16.47	3.97	33.09	53.53	13.56	1.21	0.25	3.51	4.97	1.26	0.49	0.13	59.00	14.95
29年目	R 37	0.99105	0.98745	0.99837	0.99199	0.2437	103.0	16.32	3.92	33.04	53.28	12.98	1.20	0.25	3.50	4.95	1.21	0.49	0.12	58.72	14.31
30年目	R 38	0.99098	0.98732	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	16.18	3.87	32.99	53.03	12.42	1.19	0.25	3.50	4.94	1.16	0.49	0.11	58.45	13.69
31年目	R 39	0.99091	0.98720	0.99836	0.99188	0.2253	103.0	16.03	3.82	32.93	52.78	11.89	1.18	0.24	3.49	4.92	1.11	0.48	0.11	58.18	13.11
32年目	R 40	0.99084	0.98707	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	15.88	3.77	32.88	52.53	11.38	1.17	0.24	3.49	4.90	1.06	0.48	0.10	57.91	12.54
33年目	R 41	0.99077	0.98695	0.99836	0.99177	0.2083	103.0	15.74	3.72	32.82	52.28	10.89	1.16	0.24	3.48	4.88	1.02	0.47	0.10	57.63	12.00
34年目	R 42	0.99071	0.98682	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	15.59	3.67	32.77	52.04	10.42	1.15	0.24	3.48	4.86	0.97	0.47	0.09	57.36	11.49
35年目	R 43	0.99064	0.98669	0.99835	0.99166	0.1926	103.0	15.45	3.63	32.72	51.79	9.97	1.13	0.23	3.47	4.84	0.93	0.47	0.09	57.09	10.99
36年目	R 44	0.99057	0.98657	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	15.30	3.58	32.66	51.54	9.54	1.12	0.23	3.46	4.82	0.89	0.46	0.09	56.82	10.52
37年目	R 45	0.99050	0.98644	0.99835	0.99155	0.1780	103.0	15.16	3.53	32.61	51.30	9.13	1.11	0.23	3.46	4.80	0.85	0.46	0.08	56.55	10.07
38年目	R 46	0.99043	0.98632	0.99835	0.99149	0.1712	103.0	15.02	3.48	32.55	51.05	8.74	1.10	0.22	3.45	4.78	0.82	0.45	0.08	56.28	9.64
39年目	R 47	0.99037	0.98619	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	14.87	3.43	32.50	50.81	8.36	1.09	0.22	3.45	4.76	0.78	0.45	0.07	56.02	9.22
40年目	R 48	0.99030	0.98606	0.99834	0.99138	0.1583	103.0	14.73	3.39	32.45	50.56	8.00	1.08	0.22	3.44	4.74	0.75	0.45	0.07	55.75	8.82
41年目	R 49	0.99023	0.98594	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	14.59	3.34	32.39	50.32	7.66	1.07	0.21	3.44	4.72	0.72	0.44	0.07	55.48	8.44
42年目	R 50	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1463	103.0	14.44	3.29	32.34	50.07	7.33	1.06	0.21	3.43	4.70	0.69	0.44	0.06	55.22	8.08
43年目	R 51	0.99009	0.98569	0.99833	0.99121	0.1407	103.0	14.30	3.25	32.29	49.83	7.01	1.05	0.21	3.42	4.68	0.66	0.44	0.06	54.95	7.73
44年目	R 52	0.99003	0.98556	0.99833	0.99116	0.1353	103.0	14.16	3.20	32.23	49.59	6.71	1.04	0.21	3.42	4.66	0.63	0.43	0.06	54.68	7.40
45年目	R 53	0.98996	0.98543	0.99833	0.99110	0.1301	103.0	14.02	3.15	32.18											

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 青崩峠道路	2	5.9km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考		
①工事費				1	49,886			
	改良費				1	6,772		
		土工	m3	699,353	747	切土(73710m3)、盛土(600,640m3)		
		軟弱地盤改良工	m3	37,920	84			
		法面工	m²	13,588	75	切土法面、盛土法面、切土補強土等		
		擁壁工	式	1	3,819	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等		
		管渠工	m	1,170	62			
		函渠工	m		-			
		排水工	m	5,652	433			
		中央分離帯工	m		-			
	雑工	式	1	1,552	工事用道路、借地×9年(H25～H33)			
	橋梁費				1	1,562		
		100m以上	m	137	1,184	PC橋1橋		
		100m未満	m	50	378	鋼橋1橋		
	トンネル費				1	41,339		
		NATM	m	10,012	41,339	本坑4,998m、調査坑5,014m、仮設道路含む		
		シールド	m		-			
	IC・JCT費					-		
		IC	箇所		-			
		JCT	箇所		-			
	舗装費				1	141		
		車道舗装	m²	6,754	132			
		その他舗装	m²	1,018	9			
		付帯施設費				1	72	
		交通管理施設工	式	1	72	防護柵工等		
		遮音壁	m		-			
②用地及補償費				1	144			
	用地費				m²	32,665	11	
		宅地	m²		-			
		田畑	m²		-			
		山林・原野	m²	32,665	11			
		その他	m²		-			
	補償費	式	1	134				
③間接経費				式	1	7,769	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費						57,800		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 青崩峠道路	2	5.9km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	5.9	1,750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,150	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,900	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 青崩峠道路	2	5.9km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費				1	26,689	
	改良費			1	1,593	
		土工	m3	178,179	144	切土(18,574m3)、盛土(159,605m3)
		軟弱地盤改良工	m3	16,306	36	
		法面工	m ²	3,476	5	切土法面、盛土法面、切土補強土等
		擁壁工	式	1	850	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	404	13	
		函渠工	m		-	
		排水工	m	1,528	122	
		中央分離帯工	m		-	
	雑工	式	1	423	工事用道路、借地×9年(H25～H33)	
	橋梁費			1	805	
		100m以上	m	137	805	PC橋1橋
		100m未満	m		-	
	トンネル費			1	24,080	
		NATM	m	10,012	24,080	本坑4,998m、調査坑5,014m、仮設道路含む
		シールド	m		-	
	IC・JCT費				-	
		IC	箇所		-	
		JCT	箇所		-	
	舗装費			1	141	
		車道舗装	m ²	6,754	132	
		その他舗装	m ²	1,018	9	
	付帯施設費			1	70	
		交通管理施設工	式	1	70	防護柵工等
		遮音壁	m		-	
②用地及補償費				1	-	
	用地費		m ²		-	
		宅地	m ²		-	
		田畑	m ²		-	
		山林・原野	m ²		-	
		その他	m ²		-	
	補償費	式	1	-		
	③間接経費		式	1	930	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					27,619	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 青崩峠道路	2	5.9km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	5.9	1,750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,150	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,900	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

再評価結果（令和２年度事業継続箇所）（原案）

担 当 課：

担当課長名：

事業名	一般国道 4 7 4 号 三遠南信自動車道 みさくぼさくま 水窪佐久間道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家 至：静岡県浜松市天竜区佐久間町河合				延長	1 4. 4 km
事業概要						
一般国道 4 7 4 号三遠南信自動車道は長野県飯田市を起点とし、静岡県浜松市に至る全長約 1 0 0 km の高規格幹線道路です。本事業の一般国道 4 7 4 号三遠南信自動車道水窪佐久間道路は、静岡県浜松市天竜区水窪町から静岡県浜松市天竜区佐久間町に至る延長約 1 4. 4 km の自動車専用道路であり、広域ネットワークの構築、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を主な目的として事業を推進しています。						
H 3 1 年度事業化		—		—		—
全体事業費		9 0 0 億円	事業進捗率 (平成31年4月時点)	0 %	供用済延長	—
計画交通量		7, 300 台／日				
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体) 1. 2 (1. 1) (残事業) 4. 5 (1. 1)	総費用 (残事業) / (事業全体) 1, 496 / 5, 671 億円 事業費：1, 214 / 5, 389 億円 維持管理費：282 / 282 億円	総便益 (残事業) / (事業全体) 6, 804 / 6, 804 億円 走行時間短縮便益：6, 292 / 6, 292 億円 走行経費減少便益：425 / 425 億円 交通事故減少便益：88 / 88 億円	基準年 令和元年		
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B / C = 1. 1 ~ 1. 3 (交通量 ± 10%) (残事業) 交通量：B / C = 4. 1 ~ 5. 1 (交通量 ± 10%) 事業費：B / C = 1. 2 ~ 1. 2 (事業費 ± 10%) 事業費：B / C = 4. 3 ~ 5. 0 (事業費 ± 10%) 事業期間：B / C = 1. 1 ~ 1. 2 (事業期間 ± 20%) 事業期間：B / C = 4. 3 ~ 5. 0 (事業期間 ± 20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保 ・並行区間等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・新幹線駅へのアクセス向上が期待される。 ・第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が期待される。						
②物流効率化の支援 ・特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が期待される。						
③国土・地域ネットワークの構築 ・新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートが構成される。 ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線が構成される。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される。						
④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援が期待される。						
⑤安全で安心できるくらしの確保 ・第三次救急医療施設へのアクセス向上が期待される。						
⑥災害への備え ・対象区間が都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヵ年計画に位置づけのある路線として位置づけがある。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ・並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する。						
⑦地球環境の保全 ・対象道路の整備により自動車からのCO2排出量の削減が見込まれる。						
⑧生活環境の改善・保全 ・並行区間等における自動車からのNO2排出量の削減が見込まれる。 ・並行区間等における自動車からのSPM排出量の削減が見込まれる。						

関係する地方公共団体等の意見

浜松市長の意見

「対応方針（原案）」案に対し異議はない。

一般国道474号三遠南信自動車道は、東名高速道路や新東名高速道路と合わせ、広範な交流ネットワークを形成し、広域連携の推進を目指す三遠南信地域の骨格となる高規格幹線道路である。また、緊急輸送路の確保や命をつなぐ道としても医療機関への早急な搬送が可能となる等、国土強靱化に資する道路である。さらに、本市の北遠地域の拠点間の連携が図られ、地域活性化や観光振興等、地域創生に資する道路として、地域にとって大きなストック効果が見込まれる。

本道路は、唯一の未事業化区間であった水窪佐久間道路が今年度で新規事業化され、全線開通に向けた道筋が整ったところである。今後も事業を継続し、早期開通に向けて一層の事業推進をお願いしたい。

なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は0%、用地取得率は0%（平成31年4月1日時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・周辺環境の変化等を踏まえ、早期開通を目指し整備を実施していく

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(B/C)＝ 1.1 経済的純現在価値(B-C)＝ 62億円 経済的内部収益率(EIRR)＝ 4.5% 残事業:費用便益比(B/C)＝ 1.1 経済的純現在価値(B-C)＝63億円 経済的内部収益率(EIRR)＝ 4.5%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	■ 並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：4,997万人・時間/年 渋滞損失削減時間：77万人・時間/年（4,997万人・時間/年⇒4,920万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：国道151号、152号、473号等 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間（現況）：86,305人・時間/年 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：約9割削減（86,305人・時間/年⇒1,716人・時間/年）
		□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	
		■ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	JR浜松駅（新幹線停車駅）へのアクセス向上 浜松市天竜区水窪地区（旧水窪町）～JR浜松駅（現況120分 ⇒ 整備後80分）
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	中部国際空港へのアクセス向上 浜松市天竜区水窪地区（旧水窪町）～中部国際空港 現況160分 ⇒ 整備後120分 富士山静岡空港へのアクセス向上 浜松市天竜区佐久間地区（旧水窪町）～富士山静岡空港 現況120分 ⇒ 整備後60分
	物流効率化の支援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	御前崎港へのアクセス向上 浜松市天竜区水窪地区（旧水窪町）～御前崎港 現況150分 ⇒ 整備後110分 三河港へのアクセス向上 浜松市天竜区水窪地区（旧水窪町）～三河港 現況130分 ⇒ 整備後90分
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	

1. 活力		☐ 三大都市圏の環状道路を形成する	
		☐ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	国土・地域ネットワークの構築	■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	飯田市と浜松市を連絡するルートを構成する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	飯田地方生活圏の中心都市 飯田市と西部地方生活圏の中心都市 浜松市を約2時間で連絡する最短ルート
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	北遠地域から西部地方生活圏の中心都市 浜松市中心部へのアクセスが向上 浜松市天竜区水窪地区（旧水窪町）から浜松市中心部 現況：約120分→整備後：約80分 約40分短縮
	個性ある地域の形成	■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	三遠南信地域連携ビジョン（「三遠南信250万流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域（以下「三遠南信地域」という。）の県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指す）、光・電子技術イノベーション創出拠点
☐ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する			
☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	奥三河北部地域、北遠地域から浜松市の聖隷三方原病院へのアクセスが向上 浜松市天竜区水窪地区（旧水窪町）～聖隷三方原病院 現況100分 ⇒ 整備後60分
3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	緊急輸送道路としての位置付けあり
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名： 国道152号（浜松市天竜区大井～浜松市中区） 国道473号（浜松市天竜区大井～北設楽郡東栄町）
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		■ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	事前通行規制区間：国道151号、国道152号、国道473号を避けることができる
4. 環境	地球環境の保全	■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	<水窪佐久間道路全体> 評価対象区間（費用便益分析対象区間）について CO2排出削減量：10千t/年（5,280千t/年⇒5,270千t/年） 評価対象区間（現道：並行路線 国道151号、152号、257号、473号等）について CO2排出削減量：17千t/年（25千t/年⇒8千t/年）
	生活環境の改善・保全	■ 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 （推計結果） <水窪佐久間全体> 評価対象区間（費用便益分析対象区間）について NOx排出削減量：29t/年（12,689t/年⇒12,660t/年） 排出削減率：0.2% 評価対象区間（現道：並行路線 国道151号、152号、257号、473号等）について NOx排出削減量：26t/年（70t/年⇒44t/年） 排出削減率：69.4%

5. その他		■ 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 (推計結果) <水窪佐久間全体> 評価対象区間（費用便益分析対象区間）について SPM排出削減量：2t/年（684t/年 ⇒ 682t/年） 排出削減率：0.2% 評価対象区間（現道；並行路線 国道151号、152号、257号、473号等）について SPM排出削減量：2t/年（3t/年⇒1t/年） 排出削減率：73.4%
		☐ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
	他のプロジェクトとの関係 その他	☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道４７４号	三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	L＝14.4km	高規格Ｂ	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,300	2	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	819億円	73億円	892億円
うち残事業分	818億円	73億円	891億円
基準年における 現在価値（Ｃ）	597億円	20億円	617億円
うち残事業分	596億円	20億円	616億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	令和１３年度			
単年便益 (初年便益)	53億円	1.2億円	0.81億円	55億円
基準年における 現在価値（Ｂ）	656億円	14億円	10億円	680億円
うち残事業分	656億円	14億円	10億円	680億円

③ 結 果

費用便益比(B／C)	1.1
経済的純現在価値(B－C)	62億円
経済的内部収益率(E I R R)	4.5%
費用便益比(残事業)	1.1
経済的純現在価値(残事業)	63億円
経済的内部収益率(残事業)	4.5%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B／C)
交通量	7,300台／日	±10%	1.1～1.2
事業費	819億円	±10%	1.01～1.1
事業期間	12年	±20%	1.07～1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B／C)
交通量	7,300台／日	±10%	1.1～1.2
事業費	818億円	±10%	1.02～1.1
事業期間	11年	±20%	1.07～1.1

交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路（事業全体）

（推計時点 R12年）

				整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 : 14.4km		交通量※ ¹	[台/日]	—	7,300
		走行時間※ ²	[分]	—	11
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	—	14.55
②主な周辺道路※ ⁴	国道152号 : 16.0km	交通量	[台/日]	2,200	1,700
		走行時間	[分]	53	42
		走行時間費用	[億円/年]	20.86	9.87
	国道473号 : 6.8km	交通量	[台/日]	1,700	500
		走行時間	[分]	31	21
		走行時間費用	[億円/年]	11.07	2.03
	(県)水窪羽ヶ庄佐久間線 : 11.9km	交通量	[台/日]	2,000	100
		走行時間	[分]	71	36
		走行時間費用	[億円/年]	26.31	0.00
③その他の道路合計 2434.3km		走行時間費用	[億円/年]	7110.95	7089.50

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2483.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,169.19	7,115.95	53.23

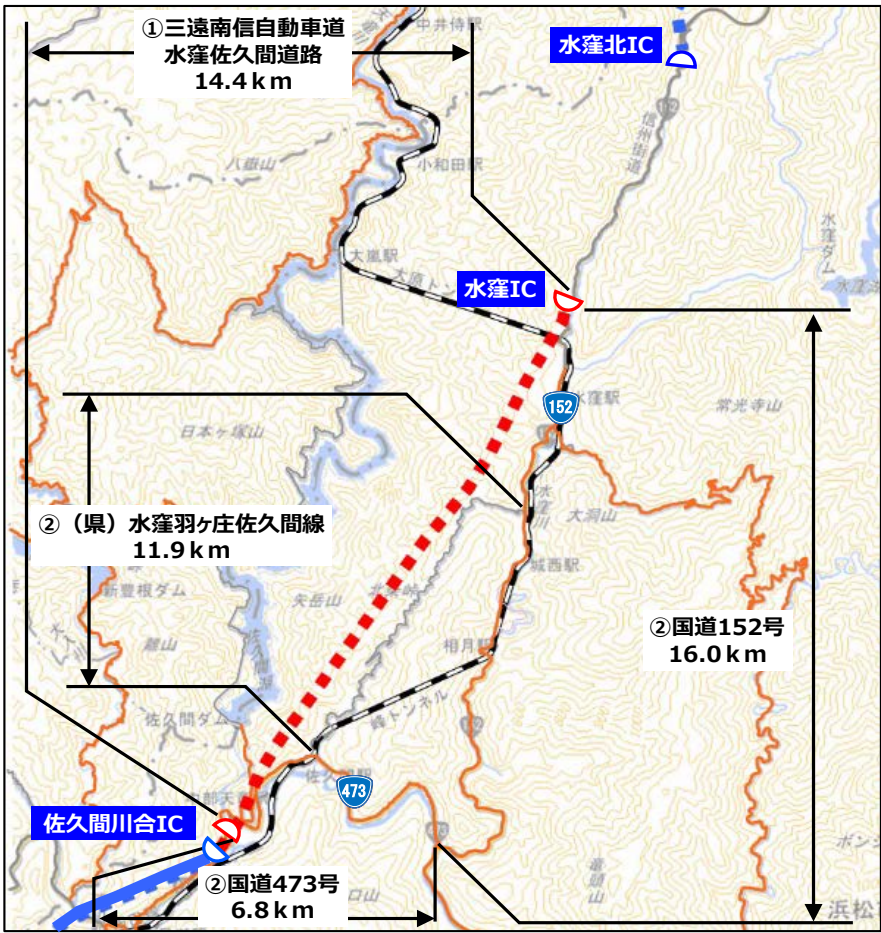
※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

【図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路（残事業）

（推計時点 R12年）

				整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 : 14.4km		交通量※ ¹	[台/日]	—	7,300
		走行時間※ ²	[分]	—	11
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	—	14.55
②主な周辺道路※ ⁴	国道152号 : 16.0km	交通量	[台/日]	2,200	1,700
		走行時間	[分]	53	42
		走行時間費用	[億円/年]	20.86	9.87
	国道473号 : 6.8km	交通量	[台/日]	1,700	500
		走行時間	[分]	31	21
		走行時間費用	[億円/年]	11.07	2.03
	(県) 水窪羽ヶ庄佐久間線 : 11.9km	交通量	[台/日]	2,000	100
		走行時間	[分]	71	36
		走行時間費用	[億円/年]	26.31	0.00
③その他の道路合計 2434.3km		走行時間費用	[億円/年]	7110.95	7089.50

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2483.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,169.19	7,115.95	53.23

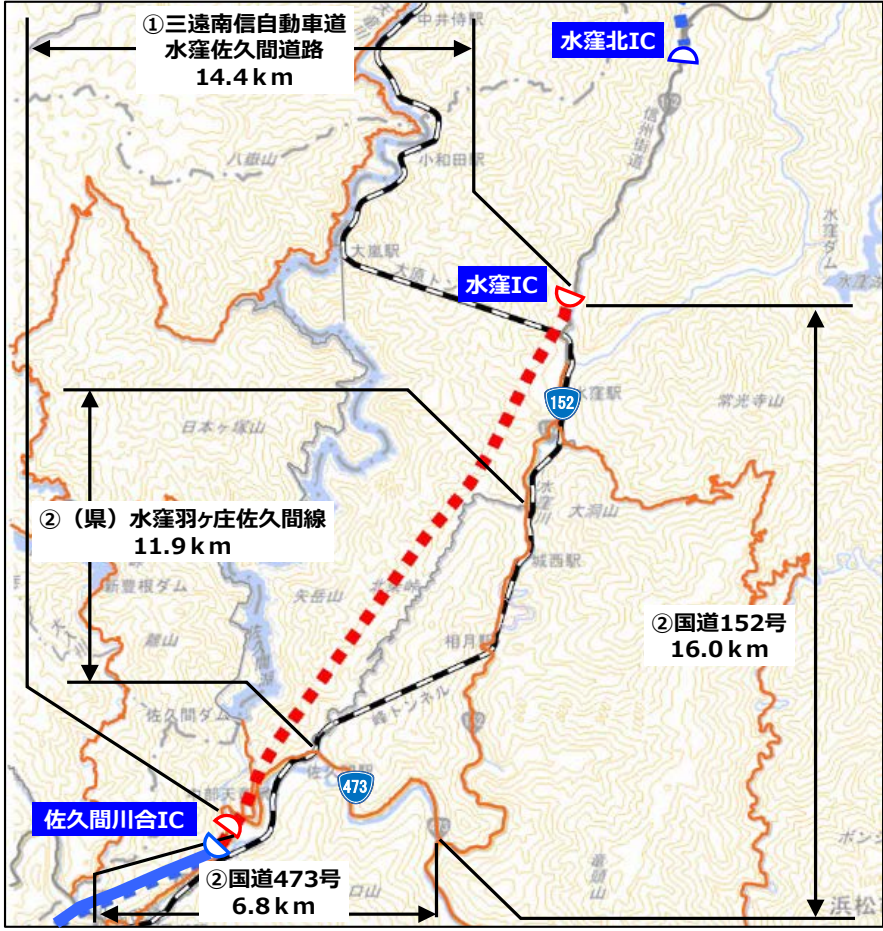
※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

【図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	令和元年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
	開発交通量の考慮	無		☒
		有		☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin～Qmax)の路線、等が混在 した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を 用いた。			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他()		☐	

(3)

便益の算定

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☒	
		その他(概略事業計画による値を採用)	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)			
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単価算出(消費税相当額含む)					
箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路（事業全体）					
		単価（億円）		延長（km）	単価（億円）
		0.11		14.4	1.61
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円） 単価	維持管理費（億円） 単価
基準年	R 1	1.0000	103.0	0.91	0.91
-11年目	R 2	0.9615	103.0	1.98	1.90
-10年目	R 3	0.9246	103.0	21.86	20.21
-9年目	R 4	0.8890	103.0	32.83	29.19
-8年目	R 5	0.8548	103.0	34.31	29.33
-7年目	R 6	0.8219	103.0	41.82	34.37
-6年目	R 7	0.7903	103.0	50.30	39.75
-5年目	R 8	0.7599	103.0	90.00	68.39
-4年目	R 9	0.7307	103.0	95.82	70.01
-3年目	R 10	0.7026	103.0	149.09	104.75
-2年目	R 11	0.6756	103.0	150.00	101.33
-1年目	R 12	0.6496	103.0	150.00	97.44
供用開始年次	R 13	0.6246	103.0		1.46
1年目	R 14	0.6006	103.0		1.46
2年目	R 15	0.5775	103.0		1.46
3年目	R 16	0.5553	103.0		1.46
4年目	R 17	0.5339	103.0		1.46
5年目	R 18	0.5134	103.0		1.46
6年目	R 19	0.4936	103.0		1.46
7年目	R 20	0.4746	103.0		1.46
8年目	R 21	0.4564	103.0		1.46
9年目	R 22	0.4388	103.0		1.46
10年目	R 23	0.4220	103.0		1.46
11年目	R 24	0.4057	103.0		1.46
12年目	R 25	0.3901	103.0		1.46
13年目	R 26	0.3751	103.0		1.46
14年目	R 27	0.3607	103.0		1.46
15年目	R 28	0.3468	103.0		1.46
16年目	R 29	0.3335	103.0		1.46
17年目	R 30	0.3207	103.0		1.46
18年目	R 31	0.3083	103.0		1.46
19年目	R 32	0.2965	103.0		1.46
20年目	R 33	0.2851	103.0		1.46
21年目	R 34	0.2741	103.0		1.46
22年目	R 35	0.2636	103.0		1.46
23年目	R 36	0.2534	103.0		1.46
24年目	R 37	0.2437	103.0		1.46
25年目	R 38	0.2343	103.0		1.46
26年目	R 39	0.2253	103.0		1.46
27年目	R 40	0.2166	103.0		1.46
28年目	R 41	0.2083	103.0		1.46
29年目	R 42	0.2003	103.0		1.46
30年目	R 43	0.1926	103.0		1.46
31年目	R 44	0.1852	103.0		1.46
32年目	R 45	0.1780	103.0		1.46
33年目	R 46	0.1712	103.0		1.46
34年目	R 47	0.1646	103.0		1.46
35年目	R 48	0.1583	103.0		1.46
36年目	R 49	0.1522	103.0		1.46
37年目	R 50	0.1463	103.0		1.46
38年目	R 51	0.1407	103.0		1.46
39年目	R 52	0.1353	103.0		1.46
40年目	R 53	0.1301	103.0		1.46
41年目	R 54	0.1251	103.0		1.46
42年目	R 55	0.1203	103.0		1.46
43年目	R 56	0.1157	103.0		1.46
44年目	R 57	0.1112	103.0		1.46
45年目	R 58	0.1069	103.0		1.46
46年目	R 59	0.1028	103.0		1.46
47年目	R 60	0.0989	103.0		1.46
48年目	R 61	0.0951	103.0		1.46
49年目	R 62	0.0914	103.0	-8.03	-0.73
合 計				810.89	596.85
単純事業費計				818.91	73.18

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

					維持修繕費の単純価値の算出(消費税相当額含む)		
箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路（残事業）					単価（億円）	延長（km）	単純価値（億円）
					0.11	14.4	1.61
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費（億円）	単純価値	現在価値	維持管理費（億円）
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-11年目	R 2	0.9615	103.0	1.98	1.90		
-10年目	R 3	0.9246	103.0	21.86	20.21		
-9年目	R 4	0.8890	103.0	32.83	29.19		
-8年目	R 5	0.8548	103.0	34.31	29.33		
-7年目	R 6	0.8219	103.0	41.82	34.37		
-6年目	R 7	0.7903	103.0	50.30	39.75		
-5年目	R 8	0.7599	103.0	90.00	68.39		
-4年目	R 9	0.7307	103.0	95.82	70.01		
-3年目	R 10	0.7026	103.0	149.09	104.75		
-2年目	R 11	0.6756	103.0	150.00	101.33		
-1年目	R 12	0.6496	103.0	150.00	97.44		
供用開始年次	R 13	0.6246	103.0			1.46	0.91
1年目	R 14	0.6006	103.0			1.46	0.88
2年目	R 15	0.5775	103.0			1.46	0.85
3年目	R 16	0.5553	103.0			1.46	0.81
4年目	R 17	0.5339	103.0			1.46	0.78
5年目	R 18	0.5134	103.0			1.46	0.75
6年目	R 19	0.4936	103.0			1.46	0.72
7年目	R 20	0.4746	103.0			1.46	0.69
8年目	R 21	0.4564	103.0			1.46	0.67
9年目	R 22	0.4388	103.0			1.46	0.64
10年目	R 23	0.4220	103.0			1.46	0.62
11年目	R 24	0.4057	103.0			1.46	0.59
12年目	R 25	0.3901	103.0			1.46	0.57
13年目	R 26	0.3751	103.0			1.46	0.55
14年目	R 27	0.3607	103.0			1.46	0.53
15年目	R 28	0.3468	103.0			1.46	0.51
16年目	R 29	0.3335	103.0			1.46	0.49
17年目	R 30	0.3207	103.0			1.46	0.47
18年目	R 31	0.3083	103.0			1.46	0.45
19年目	R 32	0.2965	103.0			1.46	0.43
20年目	R 33	0.2851	103.0			1.46	0.42
21年目	R 34	0.2741	103.0			1.46	0.40
22年目	R 35	0.2636	103.0			1.46	0.39
23年目	R 36	0.2534	103.0			1.46	0.37
24年目	R 37	0.2437	103.0			1.46	0.36
25年目	R 38	0.2343	103.0			1.46	0.34
26年目	R 39	0.2253	103.0			1.46	0.33
27年目	R 40	0.2166	103.0			1.46	0.32
28年目	R 41	0.2083	103.0			1.46	0.30
29年目	R 42	0.2003	103.0			1.46	0.29
30年目	R 43	0.1926	103.0			1.46	0.28
31年目	R 44	0.1852	103.0			1.46	0.27
32年目	R 45	0.1780	103.0			1.46	0.26
33年目	R 46	0.1712	103.0			1.46	0.25
34年目	R 47	0.1646	103.0			1.46	0.24
35年目	R 48	0.1583	103.0			1.46	0.23
36年目	R 49	0.1522	103.0			1.46	0.22
37年目	R 50	0.1463	103.0			1.46	0.21
38年目	R 51	0.1407	103.0			1.46	0.21
39年目	R 52	0.1353	103.0			1.46	0.20
40年目	R 53	0.1301	103.0			1.46	0.19
41年目	R 54	0.1251	103.0			1.46	0.18
42年目	R 55	0.1203	103.0			1.46	0.18
43年目	R 56	0.1157	103.0			1.46	0.17
44年目	R 57	0.1112	103.0			1.46	0.16
45年目	R 58	0.1069	103.0			1.46	0.16
46年目	R 59	0.1028	103.0			1.46	0.15
47年目	R 60	0.0989	103.0			1.46	0.14
48年目	R 61	0.0951	103.0			1.46	0.14
49年目	R 62	0.0914	103.0	-8.03	-0.73	1.46	0.13
合 計				809.98	595.94	73.18	20.40
単純事業費計				818.00		73.18	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 水窪佐久間道路（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年)	総走行台数の年次別伸び率 (東海ブロック)				割戻率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	割引率4%
供用開始年次	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	29.89	11.65	11.34	52.88	33.03	1.01	0.10	0.05	1.16	0.72	0.81	0.51	54.84	34.26
1年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	29.67	11.54	11.32	52.53	31.55	1.00	0.10	0.05	1.15	0.69	0.80	0.48	54.48	32.72
2年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	29.45	11.43	11.30	52.17	30.13	0.99	0.10	0.05	1.14	0.66	0.80	0.46	54.11	31.25
3年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	29.23	11.31	11.28	51.82	28.77	0.98	0.09	0.05	1.13	0.63	0.79	0.44	53.74	29.84
4年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	29.01	11.20	11.26	51.47	27.48	0.98	0.09	0.05	1.12	0.60	0.79	0.42	53.38	28.50
5年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	28.78	11.09	11.25	51.12	26.24	0.97	0.09	0.05	1.11	0.57	0.78	0.40	53.01	27.21
6年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	28.56	10.97	11.23	50.76	25.06	0.96	0.09	0.05	1.10	0.55	0.78	0.38	52.64	25.99
7年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	28.34	10.86	11.21	50.41	23.93	0.95	0.09	0.05	1.10	0.52	0.77	0.37	52.28	24.81
8年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	28.12	10.74	11.19	50.06	22.85	0.95	0.09	0.05	1.09	0.50	0.77	0.35	51.91	23.69
9年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	27.90	10.63	11.18	49.70	21.81	0.94	0.09	0.05	1.08	0.47	0.76	0.33	51.54	22.62
10年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	27.68	10.52	11.16	49.35	20.82	0.93	0.09	0.05	1.07	0.45	0.75	0.32	51.18	21.59
11年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	27.45	10.40	11.14	49.00	19.88	0.92	0.09	0.05	1.06	0.43	0.75	0.30	50.81	20.61
12年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	27.23	10.29	11.12	48.65	18.98	0.92	0.09	0.05	1.05	0.41	0.74	0.29	50.44	19.68
13年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	27.01	10.18	11.10	48.29	18.12	0.91	0.09	0.05	1.04	0.39	0.74	0.28	50.07	18.78
14年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	26.79	10.06	11.09	47.94	17.29	0.90	0.08	0.05	1.04	0.37	0.73	0.26	49.71	17.93
15年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	26.57	9.95	11.07	47.59	16.50	0.90	0.08	0.05	1.03	0.36	0.73	0.25	49.34	17.11
16年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	26.35	9.84	11.05	47.23	15.75	0.89	0.08	0.05	1.02	0.34	0.72	0.24	48.97	16.33
17年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	26.12	9.72	11.03	46.88	15.03	0.88	0.08	0.05	1.01	0.32	0.72	0.23	48.61	15.59
18年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	25.90	9.61	11.02	46.53	14.35	0.87	0.08	0.05	1.00	0.31	0.71	0.22	48.24	14.87
19年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	25.68	9.50	11.00	46.18	13.69	0.87	0.08	0.05	0.99	0.29	0.71	0.21	47.87	14.19
20年目	R 33	0.99132	0.98795	0.99838	0.99221	0.2851	103.0	25.46	9.38	10.98	45.82	13.06	0.86	0.08	0.05	0.99	0.28	0.70	0.20	47.51	13.54
21年目	R 34	0.99125	0.98783	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	25.24	9.27	10.96	45.47	12.46	0.85	0.08	0.05	0.98	0.27	0.69	0.19	47.14	12.92
22年目	R 35	0.99118	0.98770	0.99837	0.99210	0.2636	103.0	25.02	9.16	10.94	45.12	11.89	0.84	0.08	0.05	0.97	0.26	0.69	0.18	46.78	12.33
23年目	R 36	0.99111	0.98758	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	24.80	9.04	10.93	44.77	11.35	0.84	0.08	0.05	0.96	0.24	0.68	0.17	46.41	11.76
24年目	R 37	0.99105	0.98745	0.99837	0.99199	0.2437	103.0	24.58	8.93	10.91	44.42	10.82	0.83	0.07	0.05	0.95	0.23	0.68	0.17	46.05	11.22
25年目	R 38	0.99098	0.98732	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	24.36	8.82	10.89	44.07	10.32	0.82	0.07	0.05	0.94	0.22	0.67	0.16	45.68	10.70
26年目	R 39	0.99091	0.98720	0.99836	0.99188	0.2253	103.0	24.14	8.71	10.87	43.72	9.85	0.81	0.07	0.05	0.93	0.21	0.67	0.15	45.32	10.21
27年目	R 40	0.99084	0.98707	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	23.92	8.60	10.85	43.37	9.39	0.81	0.07	0.05	0.93	0.20	0.66	0.14	44.96	9.74
28年目	R 41	0.99077	0.98695	0.99836	0.99177	0.2083	103.0	23.70	8.49	10.84	43.02	8.96	0.80	0.07	0.05	0.92	0.19	0.66	0.14	44.60	9.29
29年目	R 42	0.99071	0.98682	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	23.48	8.37	10.82	42.67	8.55	0.79	0.07	0.05	0.91	0.18	0.65	0.13	44.23	8.86
30年目	R 43	0.99064	0.98669	0.99835	0.99166	0.1926	103.0	23.26	8.26	10.80	42.33	8.15	0.78	0.07	0.05	0.90	0.17	0.65	0.12	43.87	8.45
31年目	R 44	0.99057	0.98657	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	23.04	8.15	10.78	41.98	7.77	0.78	0.07	0.05	0.89	0.17	0.64	0.12	43.52	8.06
32年目	R 45	0.99050	0.98644	0.99835	0.99155	0.1780	103.0	22.83	8.04	10.77	41.64	7.41	0.77	0.07	0.05	0.88	0.16	0.63	0.11	43.16	7.68
33年目	R 46	0.99043	0.98632	0.99835	0.99149	0.1712	103.0	22.61	7.94	10.75	41.29	7.07	0.76	0.07	0.05	0.88	0.15	0.63	0.11	42.80	7.33
34年目	R 47	0.99037	0.98619	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	22.39	7.83	10.73	40.95	6.74	0.75	0.07	0.05	0.87	0.14	0.62	0.10	42.44	6.99
35年目	R 48	0.99030	0.98606	0.99834	0.99138	0.1583	103.0	22.18	7.72	10.71	40.61	6.43	0.75	0.06	0.05	0.86	0.14	0.62	0.10	42.09	6.66
36年目	R 49	0.99023	0.98594	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	21.96	7.61	10.69	40.27	6.13	0.74	0.06	0.05	0.85	0.13	0.61	0.09	41.73	6.35
37年目	R 50	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1463	103.0	21.75	7.50	10.68	39.93	5.84	0.73	0.06	0.05	0.84	0.12	0.61	0.09	41.38	6.06
38年目	R 51	0.99009	0.98569	0.99833	0.99121	0.1407	103.0	21.53	7.40	10.66	39.59	5.57	0.73	0.06	0.05	0.84	0.12	0.60	0.08	41.03	5.77
39年目	R 52	0.99003	0.98556	0.99833	0.99116	0.1353	103.0	21.32	7.29	10.64	39.26	5.31	0.72	0.06	0.05	0.83	0.11	0.60	0.08	40.68	5.50
40年目	R 53	0.98996	0.98543	0.99833	0.99110	0.1301	103.0	21.11	7.19	10.62	38.92	5.06	0.71	0.06	0.05	0.82	0.11	0.59	0.08	40.33	5.25
41年目	R 54	0.98989	0.98531	0.99833	0.99105	0.1251	103.0	20.90	7.08	10.61	38.59	4.83	0.70	0.06	0.05	0.81	0.10	0.59	0.07	39.98	5.00
42年目	R 55	0.98982	0.98518	0.99832	0.99099	0.1203	103.0	20.69	6.98	10.59	38.25	4.60	0.70	0.06	0.05	0.80	0.10	0.58	0.07	39.64	4.77
43年目	R 56	0.98976	0.98506	0.99832	0.99094	0.1157	103.0	20.48	6.87	10.57	37.92	4.39	0.69	0.06	0.05	0.79	0.09	0.58	0.07	39.29	4.54
44年目	R 57	0.98969	0.98493	0.99832	0.99088	0.1112	103.0	20.27	6.77	10.55	37.59	4.18	0.68	0.06	0.05	0.79	0.09	0.57	0.06	38.95	4.33
45年目	R 58	0.98962	0.98480	0.99831	0.99083	0.1069	103.0	20.06	6.67	10.53	37.26	3.98	0.68	0.06	0.05	0.78	0.08	0.57	0.06	38.61	4.13
46年目	R 59	0.98973	0.98501	0.99832	0.99078	0.1028	103.0	19.85	6.57	10.52	36.93	3.80	0.67	0.05	0.05	0.77	0.08	0.56	0.06	38.27	3.93
47年目	R 60	0.98967	0.98490	0.99832	0.99072	0.0989	103.0	19.64	6.47	10.50	36.61	3.62	0.66	0.05	0.05	0.76	0.08	0.56	0.05	37.93	3.75
48年目	R 61	0.98961	0.98478	0.99831	0.99067	0.0951	103.0	19.44	6.37	10.48	36.30	3.45	0.65	0.05	0.05	0.76	0.07	0.55	0.05	37.60	3.57
49年目	R 62	0.98955	0.98467	0.99831	0.99061	0.0914	103.0	19.24	6.28	10.46	35.98	3.29	0.65	0.05	0.05	0.75	0.07	0.55	0.05	37.27	3.41
合 計								1,224.96	445.26	544.98	2,215.20	655.54	41.27	3.73	2.43	47.43	14.14	33.79	10.01	2,296.42	679.69

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	2	14.4km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					75,879		
	改良費				15,250		
		土工	m3	2,226,204	10,788		
		法面工	m²	40,584	75	切土法面、盛土法面	
		函渠工	m	203	189		
		擁壁工	式	1	2,063		
		排水工	km	2	144		
		雑工	式	1	1,992		
	橋梁費				13,654		
		100m以上	m	1,315	11,747		
		100m未満	m	274	1,907		
	トンネル費				44,697		
		トンネル	m	11,187	36,715		
		避難坑・設備	式	1	7,982		
	IC・JCT費				1,193		
		IC	箇所	2	1,193	佐久間川合ICハーフ、水窪ICハーフ	
		JCT	箇所				
	舗装費				186		
		車道舗装	m²	19,684	186		
		歩道舗装	m²				
	付帯施設費				899		
		交通管理施設工	式	1	899	防護柵工等	
遮音壁		m					
②用地及補償費					2,167		
	用地費			m²		803	
		宅地	m²	17,512	438		
		田畑	m²	1,831	18		
		山林・原野	m²	85,940	344		
		その他	m²	1,080	2		
	補償費	式	1	1,365			
③間接経費		式	1	11,954	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費		
全体事業費				90,000			

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	2	14.4km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円/50年)	備考
維持費	km	14.4	3,950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,100	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			8,050	

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	2	14.4km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					75,879		
	改良費				15,250		
		土工	m3	2,226,204	10,788		
		法面工	m²	40,584	75	切土法面、盛土法面	
		函渠工	m	203	189		
		擁壁工	式	1	2,063		
		排水工	km	2	144		
		雑工	式	1	1,992		
	橋梁費				13,654		
		100m以上	m	1,315	11,747		
		100m未満	m	274	1,907		
	トンネル費				44,697		
		トンネル	m	11,187	36,715		
		避難坑・設備	式	1	7,982		
	IC・JCT費				1,193		
		IC	箇所	2	1,193	佐久間川合ICハーフ、水窪ICハーフ	
		JCT	箇所				
	舗装費				186		
		車道舗装	m²	19,684	186		
		歩道舗装	m²				
	付帯施設費				899		
		交通管理施設工	式	1	899	防護柵工等	
遮音壁		m					
②用地及補償費					2,167		
	用地費			m²		803	
		宅地	m²	17,512	438		
		田畑	m²	1,831	18		
		山林・原野	m²	85,940	344		
		その他	m²	1,080	2		
	補償費	式	1	1,365			
③間接経費		式	1	11,854	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費		
全体事業費				89,900			

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 水窪佐久間道路	2	14.4km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円/50年)	備考
維持費	km	14.4	3,950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,100	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			8,050	

再評価結果（令和２年度事業継続箇所）

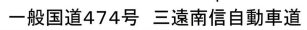
担 当 課：道路局 国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名	一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県浜松市 天竜区佐久間町川合 至：静岡県浜松市北区引佐町東黒田				延長	27.9km
事業概要						
一般国道474号三遠南信自動車道は長野県飯田市を起点とし、静岡県浜松市に至る全長約100kmの高規格幹線道路である。 本事業の一般国道474号三遠南信自動車道佐久間道路・三遠道路は静岡県浜松市天竜区佐久間町川合から静岡県浜松市北区引佐町東黒田に至る延長27.9kmの自動車専用道路であり、広域ネットワークの構築、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を主な目的として事業を推進している。						
H5年度事業化		—		H13年度用地着手		H15年度工事着手
全体事業費		1764億円	事業進捗率 (平成31年3月時点)		約87%	供用済延長 20.8km
計画交通量		9,000台/日				
費用対効果 分析結果		B/C (事業全体) 1.2 (1.2) (残事業) 4.5 (8.8)	総費用 (残事業)/(事業全体) 1,496/5,671億円 (事業費: 1,214/5,389億円) (維持管理費: 282/282億円)		総便益 (残事業)/(事業全体) 6,804/6,804億円 (走行時間短縮便益: 6,292/6,292億円) (走行経費減少便益: 425/425億円) (交通事故減少便益: 88/88億円)	
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量 : B/C=1.1~1.3(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=4.1~5.1(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.2~1.2(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=4.3~5.0(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.1~1.2(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=4.3~5.0(事業期間±20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保 ・並行区間等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・新幹線駅へのアクセス向上が期待される。 ・第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が期待される。						
②物流効率化の支援 ・特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が期待される。						
③国土・地域ネットワークの構築 ・新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートが構成される。 ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線が構成される。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される。						
④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援が期待される。						
⑤安全で安心できるくらしの確保 ・第三次救急医療施設へのアクセス向上が期待される。						
⑥安全な生活環境の確保 ・並行区間等に死傷事故率500件/億台km以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消により、当該区間の安全性の向上が期待される。						
⑦災害への備え ・対象区間が都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヵ年計画に位置づけのある路線として位置づけがある。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ・並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する。						
⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。						
⑨生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。						

関係する地方公共団体等の意見	
地域から頂いた主な意見等：	
新東名・三遠南信自動車道建設促進奥三河期成同盟会、三遠南信地域経済開発協議会・三遠南信自動車道早期開通既成同盟会、東三河懇話会、浜松市による提言・要望	
・日常生活に密着し、かつ災害時の救援、復旧・復興活動の基幹となる道路整備を強力に推進するため東栄IC～鳳来峡ICの事業推進をお願いしたい。	
浜松市長の意見：	
「対応方針（原案）」案に対し異議はない。	
一般国道４７４号三遠南信自動車道は、東名高速道路や新東名高速道路と合わせ、広範な交流ネットワークを形成し、広域連携の推進を目指す三遠南信地域の骨格となる高規格幹線道路である。また、緊急輸送路の確保や命をつなぐ道としても医療機関への早急な搬送が可能となる等、国土強靱化に資する道路である。さらに、本市の北遠地域の拠点間の連携が図られ、地域活性化や観光振興等、地域創生に資する道路として、地域にとって大きなストック効果が見込まれる。	
本道路は、唯一の未事業化区間であった水窪佐久間道路が今年度で新規事業化され、全線開通に向けた道筋が整ったところである。今後も事業を継続し、早期開通に向けて一層の事業推進をお願いしたい。	
なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。	
愛知県知事の意見	
「対応方針（原案）」に対して異議はありません。	
一般国道４７４号三遠南信自動車道は、東三河、遠州、南信州地域を有機的に連絡する幹線道路として、中央自動車道と新東名高速道路、さらには東名高速道路とを結び、広域的なネットワークを形成する大変重要な高規格幹線道路である。本道路が整備されることで、県境を越えた広域的な連携と交流が図られる。さらに、医療機関への救急車両の搬送路、災害時の緊急輸送道路としての機能も有しており、地域の安全・安心、国土強靱化の観点からも、重要な道路である。そのため、県内唯一の未開通区間である東栄IC～鳳来峡IC間の工事を推進し、早期に開通時期を明確にするとともに、一日も早い開通をお願いしたい。	
なお、事業実施にあたりましては、一層のコスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。	
事業評価監視委員会の意見	
・「事業継続」することは「妥当」である。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
・奥三河・北遠地域は、高速道路ネットワークが未形成で、ICアクセスの３０分カバー圏域外である。	
・北遠地域の道路は山岳部という地形のため、防災面で脆弱なネットワークである。	
・県境付近では高齢化の進展等により、救急出動件数が増加傾向にあり、土砂災害等による通行止めで円滑な救急活動に支障がある。	
・三遠南信自動車道の開通後、南信州と東三河・遠州地域との企業マッチングの割合や企業立地が増加している。	
・平成３１年４月に水窪佐久間道路の新規事業化。	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
・事業進捗率は約８７％。用地取得率は１００％。（平成３１年３月末）	
・全線２７．９ｋｍのうち、２０．８ｋｍを供用済み。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・東栄IC～鳳来峡IC間（Ｌ＝７．１ｋｍ）は、早期開通に向けて工事を推進していく。	
施設の構造や工法の変更等	
・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。	

事業概要図



※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(B/C)＝ 1.2 経済的純現在価値(B-C)＝410億円 経済的内部収益率(EIRR)＝ 4.6% 残事業:費用便益比(B/C)＝ 8.8 経済的純現在価値(B-C)＝2,435億円 経済的内部収益率(EIRR)＝ 46.5%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	■ 並行区間等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（整備前）：4,889万人・時間/年 渋滞損失削減時間：181万人・時間/年（4,889万人・時間/年⇒4,708万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：国道151号、152号、473号等 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間（整備前）：761,296人・時間/年 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：約4割削減（761,296人・時間/年⇒502,979人・時間/年）
		□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	
		■ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	JR浜松駅（新幹線停車駅）へのアクセス向上 浜松市天竜区佐久間地区（旧佐久間町）～JR浜松駅（整備前90分 ⇒ 整備後70分） 北設楽郡東栄町～JR浜松駅（整備前80分 ⇒ 整備後60分）
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	中部国際空港へのアクセス向上 浜松市天竜区佐久間地区（旧佐久間町）～中部国際空港 整備前130分 ⇒ 整備後110分 北設楽郡東栄町～中部国際空港 整備前120分 ⇒ 整備後100分 富士山静岡空港へのアクセス向上 浜松市天竜区佐久間地区（旧佐久間町）～富士山静岡空港 整備前90分 ⇒ 整備後70分 北設楽郡東栄町～富士山静岡空港 整備前70分 ⇒ 整備後 60分
	物流効率化の支援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	御前崎港へのアクセス向上 浜松市天竜区佐久間地区（旧佐久間町）～御前崎港 整備前120分 ⇒ 整備後100分 北設楽郡東栄町～御前崎港 現況110分 ⇒ 整備後90分 三河港へのアクセス向上 浜松市天竜区佐久間地区（旧佐久間町）～三河港 整備前100分 ⇒ 整備後70分 北設楽郡東栄町～三河港 現況80分 ⇒ 整備後70分
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
都市の再生		□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	

1. 活力		☐ 三大都市圏の環状道路を形成する	
		☐ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	国土・地域ネットワークの構築	■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	飯田市と浜松市を連絡するルートを構成する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	飯田地方生活圏の中心都市 飯田市と西部地方生活圏の中心都市 浜松市を約150分で連絡する最短ルート
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	北遠地域から西部地方生活圏の中心都市 浜松市中心部へのアクセスが向上 浜松市天竜区佐久間地区（旧佐久間町）から浜松市中心部 整備前：約90分→整備後：約70分 約20分短縮
個性ある地域の形成	■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	第2次三遠南信地域連携ビジョン（「三遠南信流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域、南信州地域を範囲として、「大都市圏・世界と結ばれる広域連携都市圏の形成」、「中部圏での中核的都市圏の形成」、「流域循環圏の形成」の形成を目指す）、光・電子技術イノベーション創出拠点	
	☐ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する		
	☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	奥三河北部地域、北遠地域から浜松市の聖隷三方原病院へのアクセスが向上 浜松市天竜区佐久間地区（旧佐久間町）～聖隷三方原病院 整備前75分 → 整備後45分 北設楽郡東栄町～聖隷三方原病院 整備前70分 → 整備後40分
3. 安全	安全な生活環境の確保	■ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	死傷事故率500件/億台キロ以上区間 国道151号・257号交差点（新城市長篠下り麓 長篠交差点） 国道152号・473号交差点（浜松市天竜区佐久間町大井 大井橋交差点） 国道152号・362号交差点（浜松市天竜区山東 山東交差点） 国道473号・飯田富山佐久間線交差点（浜松市天竜区佐久間町浦川 錦橋交差点） 上記区間について、佐久間道路・三遠道路を利用することで、線形不良区間の回避、また、通過交通の減少により、安全性の向上が期待される
	災害への備え	■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	緊急輸送道路としての位置付けあり
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名： 国道152号（浜松市天竜区大井～浜松市中区） 国道473号（浜松市天竜区大井～北設楽郡東栄町） 国道151号（北設楽郡東栄町～新城市長篠）
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		■ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	事前通行規制区間：国道151号、国道152号、国道473号を避けることができる
4. 環境	地球環境の保全	■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	<佐久間道路・三遠道路全体> 評価対象区間（費用便益分析対象区間）について CO2排出削減量：27千t/年（5,298千t/年⇒5,271千t/年） 評価対象区間（現道：並行路線 国道151号、152号、257号、473号等）について CO2排出削減量：56千t/年（140千t/年⇒84千t/年）
	生活環境の改善・保全	■ 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 （推計結果） <佐久間道路・三遠道路全体> 評価対象区間（費用便益分析対象区間）について NOx排出削減量：56t/年（12,733t/年⇒12,677t/年） 排出削減率：0.5% 評価対象区間（現道：並行路線 国道151号、152号、257号、473号等）について NOx排出削減量：134t/年（331t/年⇒197t/年） 排出削減率：41.6%

5. その他		■ 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 (推計結果) <佐久間道路・三遠道路全体> 評価対象区間(費用便益分析対象区間)について SPM排出削減量：7t/年(688t/年 ⇒ 681t/年) 排出削減率：1.0% 評価対象区間(現道；並行路線 国道151号、152号、257号、473号等)について SPM排出削減量：8t/年(19t/年⇒11t/年) 排出削減率：41.5%
		☐ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
	他のプロジェクトとの関係 その他	☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道４７４号	三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	L＝２７．９km	高規格Ｂ	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
９,０００	２	中部地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	１,６５５億円	３３７億円	１,９９２億円
うち残事業分	１９８億円	３３７億円	５３５億円
基準年における 現在価値（Ｃ）	２,２０８億円	１２９億円	２,３３７億円
うち残事業分	１８４億円	１２９億円	３１３億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	令和５年度			
単年便益 (初年便益)	１３５億円	１５億円	４．２億円	１５４億円
基準年における 現在価値（Ｂ）	２,４０１億円	２７２億円	７４億円	２,７４７億円
うち残事業分	２,４０１億円	２７２億円	７４億円	２,７４７億円

③ 結 果

費用便益比(B／C)	1.2
経済的純現在価値(B－C)	410億円
経済的内部収益率(E I R R)	4.6%
費用便益比(残事業)	8.8
経済的純現在価値(残事業)	2,434億円
経済的内部収益率(残事業)	46.5%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B／C)
交通量	9,000台／日	±10%	1.1～1.3
事業費	1,655億円	±10%	1.2～1.2
事業期間	30年	±20%	1.1～1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B／C)
交通量	9,000台／日	±10%	7.9～9.7
事業費	198億円	±10%	8.3～9.3
事業期間	3年	±20%	8.6～9.0

交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路（事業全体）

（推計時点 R12年）

				整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 : 27.9km		交通量※ ¹	[台/日]	－	9,000
		走行時間※ ²	[分]	－	22
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	－	37.11
②主な周辺道路※ ⁴ (主) 飯田佐久間富山線	国道152号 : 34.6km	交通量	[台/日]	5,300	3,300
		走行時間	[分]	68	66
		走行時間費用	[億円/年]	67.08	43.66
	国道151号 : 27.4km	交通量	[台/日]	6,700	4,200
		走行時間	[分]	64	61
		走行時間費用	[億円/年]	86.34	53.37
	: 7.7km	交通量	[台/日]	2,800	300
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	10.22	1.11
	国道257号 : 12.7km	交通量	[台/日]	2,900	2,300
		走行時間	[分]	26	26
		走行時間費用	[億円/年]	14.43	11.63
③その他の道路合計 2007.2km		走行時間費用	[億円/年]	7630.31	7525.96

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A－B)
合計 : 2117.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7,808.37	7,672.84	135.53

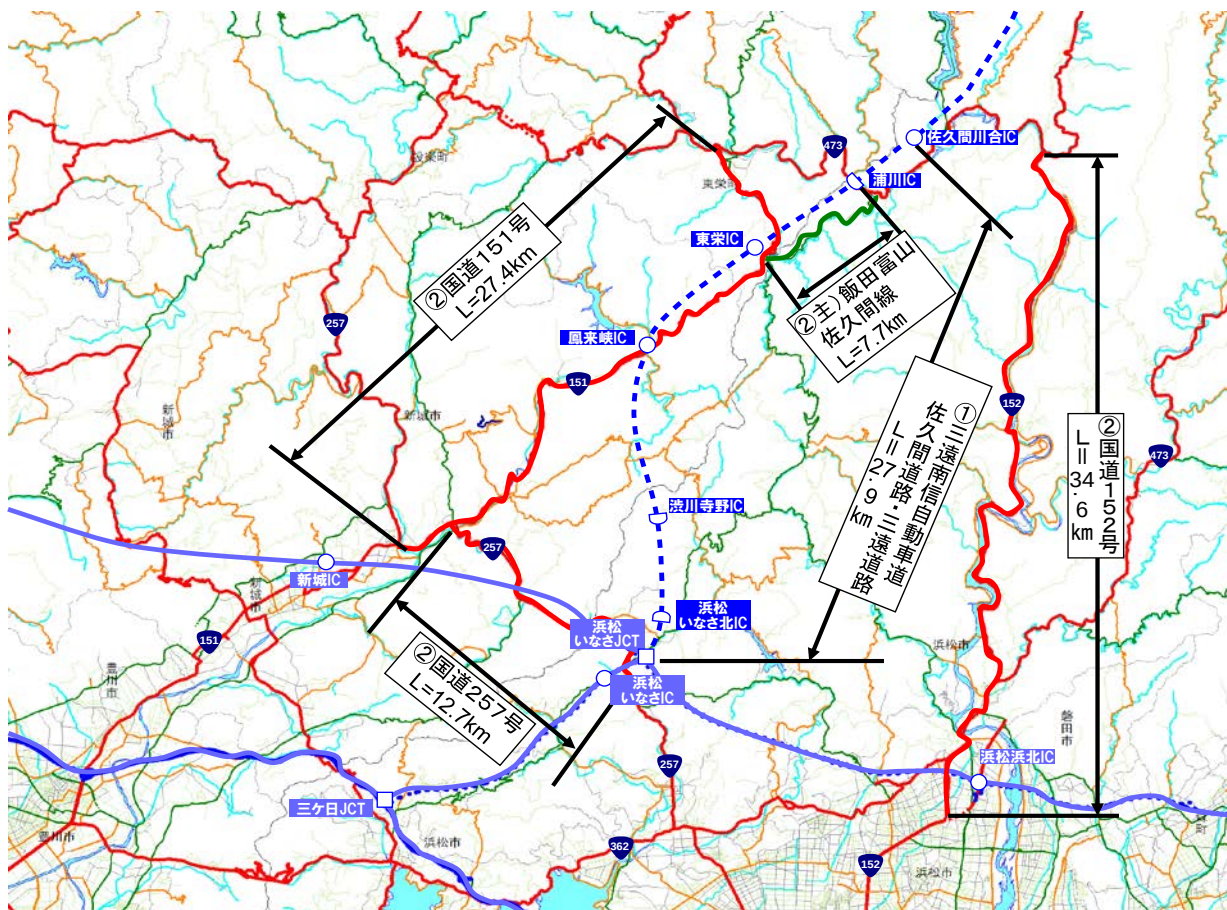
※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

【図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



交通状況の変化

様式－３①

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路（残事業）

（推計時点 R12年）

				整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 : 27. 9km		交通量※ ¹	[台/日]	－	9, 000
		走行時間※ ²	[分]	－	22
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	－	37. 11
②主な周辺道路※ ⁴ (主) 飯田佐久間富山線	国道152号 : 34. 6km	交通量	[台/日]	5, 300	3, 300
		走行時間	[分]	68	66
		走行時間費用	[億円/年]	67. 08	43. 66
	国道151号 : 27. 4km	交通量	[台/日]	6, 700	4, 200
		走行時間	[分]	64	61
		走行時間費用	[億円/年]	86. 34	53. 37
	: 7. 7km	交通量	[台/日]	2, 800	300
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	10. 22	1. 11
	国道257号 : 12. 7km	交通量	[台/日]	2, 900	2, 300
		走行時間	[分]	26	26
		走行時間費用	[億円/年]	14. 43	11. 63
③その他の道路合計 2007. 2km		走行時間費用	[億円/年]	7630. 31	7525. 96

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 2117. 5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7, 808. 37	7, 672. 84	135. 53

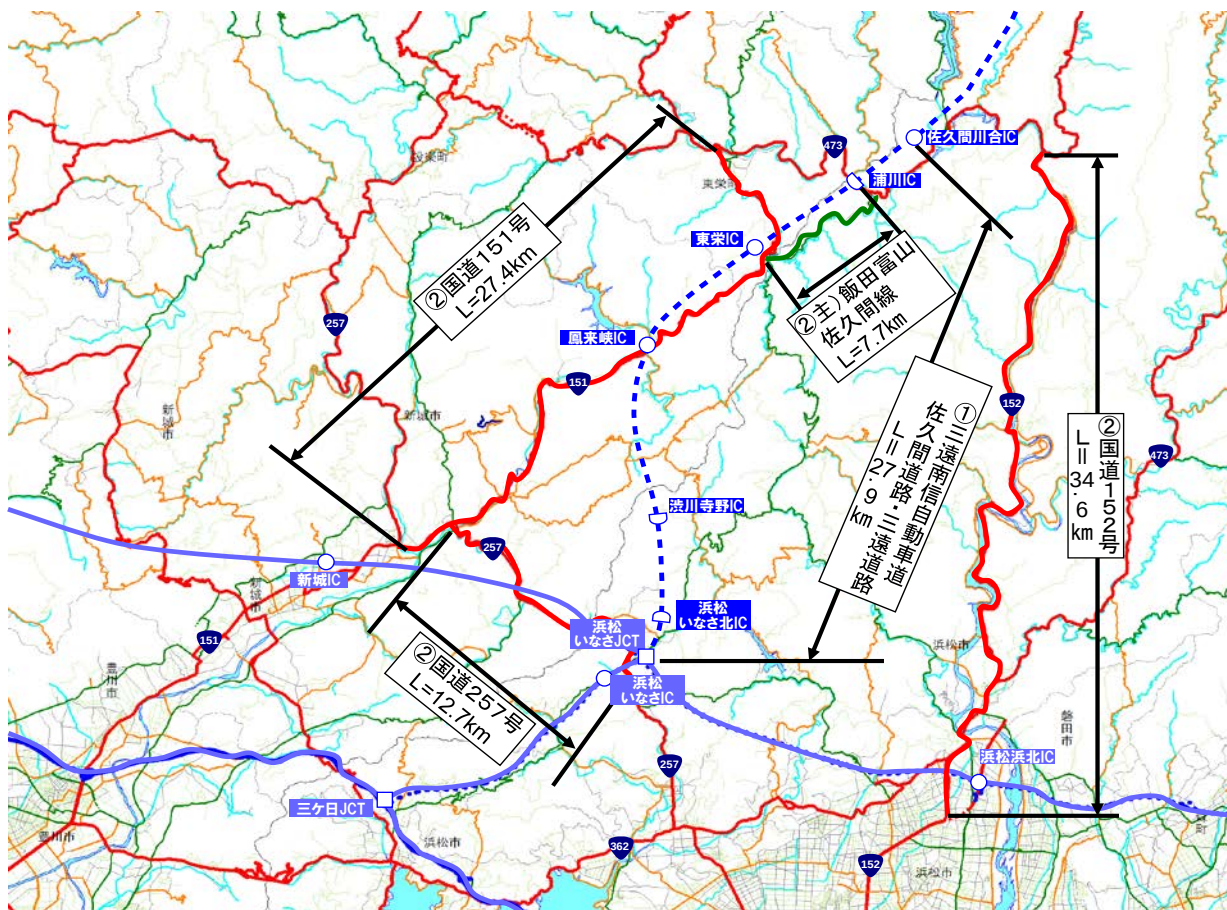
※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

【図面（①、②に該当する道路を明示すること）】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	令和元年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
		開発交通量の考慮	無	
	有		☐	
	有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数)	() 台トリップ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定		☒	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在 した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を 用いた。			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他()		☐	

項目			チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数	() %
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	☐
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
		冬期の走行速度と交通容量の関係		
設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒		
	その他 ()	☐		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

事業名:一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☒	
		その他(概略事業計画による値を採用)	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

				維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路（事業全体）				単価（億円）	延長（km）	単価（億円）	
				0.27	27.9	7.42	
				事業費（億円）		維持管理費（億円）	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	単価	現在価値	単価	現在価値
-30年目	H 5	2.7725	117.9	1.57	3.81		
-29年目	H 6	2.6658	117.8	2.55	5.95		
-28年目	H 7	2.5633	117.1	5.17	11.67		
-27年目	H 8	2.4647	116.6	4.89	10.65		
-26年目	H 9	2.3699	117.5	6.43	13.36		
-25年目	H 10	2.2788	116.9	7.48	15.01		
-24年目	H 11	2.1911	115.2	7.05	13.81		
-23年目	H 12	2.1068	113.8	7.14	13.62		
-22年目	H 13	2.0258	112.4	6.13	11.39		
-21年目	H 14	1.9479	110.5	14.13	25.66		
-20年目	H 15	1.8730	109.0	16.09	28.47		
-19年目	H 16	1.8009	107.9	48.48	83.34		
-18年目	H 17	1.7317	106.7	103.70	173.34		
-17年目	H 18	1.6651	105.9	113.22	183.36		
-16年目	H 19	1.6010	105.0	107.54	168.90		
-15年目	H 20	1.5395	104.4	112.50	170.87		
-14年目	H 21	1.4802	103.0	90.12	133.41		
-13年目	H 22	1.4233	101.3	90.00	130.25		
-12年目	H 23	1.3686	99.8	32.39	45.75		
-11年目	H 24	1.3159	99.0	41.90	57.37		
-10年目	H 25	1.2653	99.0	81.81	107.70		
-9年目	H 26	1.2167	101.5	96.05	118.59		
-8年目	H 27	1.1699	103.0	93.99	109.95		
-7年目	H 28	1.1249	102.8	88.31	99.54		
-6年目	H 29	1.0816	103.0	121.51	131.42		
-5年目	H 30	1.0400	103.0	76.76	79.83		
基準年	R 1	1.0000	103.0	79.91	79.91		
-3年目	R 2	0.9615	103.0	80.25	77.16		
-2年目	R 3	0.9246	103.0	64.59	59.72		
-1年目	R 4	0.8890	103.0	52.98	47.10		
供用開始年次	R 5	0.8548	103.0			6.75	5.77
1年目	R 6	0.8219	103.0			6.75	5.54
2年目	R 7	0.7903	103.0			6.75	5.33
3年目	R 8	0.7599	103.0			6.75	5.13
4年目	R 9	0.7307	103.0			6.75	4.93
5年目	R 10	0.7026	103.0			6.75	4.74
6年目	R 11	0.6756	103.0			6.75	4.56
7年目	R 12	0.6496	103.0			6.75	4.38
8年目	R 13	0.6246	103.0			6.75	4.21
9年目	R 14	0.6006	103.0			6.75	4.05
10年目	R 15	0.5775	103.0			6.75	3.90
11年目	R 16	0.5553	103.0			6.75	3.75
12年目	R 17	0.5339	103.0			6.75	3.60
13年目	R 18	0.5134	103.0			6.75	3.46
14年目	R 19	0.4936	103.0			6.75	3.33
15年目	R 20	0.4746	103.0			6.75	3.20
16年目	R 21	0.4564	103.0			6.75	3.08
17年目	R 22	0.4388	103.0			6.75	2.96
18年目	R 23	0.4220	103.0			6.75	2.85
19年目	R 24	0.4057	103.0			6.75	2.74
20年目	R 25	0.3901	103.0			6.75	2.63
21年目	R 26	0.3751	103.0			6.75	2.53
22年目	R 27	0.3607	103.0			6.75	2.43
23年目	R 28	0.3468	103.0			6.75	2.34
24年目	R 29	0.3335	103.0			6.75	2.25
25年目	R 30	0.3207	103.0			6.75	2.16
26年目	R 31	0.3083	103.0			6.75	2.08
27年目	R 32	0.2965	103.0			6.75	2.00
28年目	R 33	0.2851	103.0			6.75	1.92
29年目	R 34	0.2741	103.0			6.75	1.85
30年目	R 35	0.2636	103.0			6.75	1.78
31年目	R 36	0.2534	103.0			6.75	1.71
32年目	R 37	0.2437	103.0			6.75	1.64
33年目	R 38	0.2343	103.0			6.75	1.58
34年目	R 39	0.2253	103.0			6.75	1.52
35年目	R 40	0.2166	103.0			6.75	1.46
36年目	R 41	0.2083	103.0			6.75	1.41
37年目	R 42	0.2003	103.0			6.75	1.35
38年目	R 43	0.1926	103.0			6.75	1.30
39年目	R 44	0.1852	103.0			6.75	1.25
40年目	R 45	0.1780	103.0			6.75	1.20
41年目	R 46	0.1712	103.0			6.75	1.15
42年目	R 47	0.1646	103.0			6.75	1.11
43年目	R 48	0.1583	103.0			6.75	1.07
44年目	R 49	0.1522	103.0			6.75	1.03
45年目	R 50	0.1463	103.0			6.75	0.99
46年目	R 51	0.1407	103.0			6.75	0.95
47年目	R 52	0.1353	103.0			6.75	0.91
48年目	R 53	0.1301	103.0			6.75	0.88
49年目	R 54	0.1251	103.0	-24.23	-3.03	6.75	0.84
合 計				1630.44	2207.87	337.27	128.83
単純事業費計				1654.67		337.27	

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

				維持修繕費の単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 後久間道路・三遠道路（既事業）				単価（億円）	延長（km）	単価（億円）	
				0.27	27.9	7.42	
				事業費（億円）		維持管理費（億円）	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	単価	現在価値	単価	現在価値
-30年目	H 5	2.7725	117.9				
-29年目	H 6	2.6658	117.8				
-28年目	H 7	2.5633	117.1				
-27年目	H 8	2.4647	116.6				
-26年目	H 9	2.3699	117.5				
-25年目	H 10	2.2788	116.9				
-24年目	H 11	2.1911	115.2				
-23年目	H 12	2.1068	113.8				
-22年目	H 13	2.0258	112.4				
-21年目	H 14	1.9479	110.5				
-20年目	H 15	1.8730	109.0				
-19年目	H 16	1.8009	107.9				
-18年目	H 17	1.7317	106.7				
-17年目	H 18	1.6651	105.9				
-16年目	H 19	1.6010	105.0				
-15年目	H 20	1.5395	104.4				
-14年目	H 21	1.4802	103.0				
-13年目	H 22	1.4233	101.3				
-12年目	H 23	1.3686	99.8				
-11年目	H 24	1.3159	99.0				
-10年目	H 25	1.2653	99.0				
-9年目	H 26	1.2167	101.5				
-8年目	H 27	1.1699	103.0				
-7年目	H 28	1.1249	102.8				
-6年目	H 29	1.0816	103.0				
-5年目	H 30	1.0400	103.0				
基準年	R 1	1.0000	103.0				
-3年目	R 2	0.9615	103.0	80.25	77.16		
-2年目	R 3	0.9246	103.0	64.59	59.72		
-1年目	R 4	0.8890	103.0	52.98	47.10		
供用開始年次	R 5	0.8548	103.0			6.75	5.77
1年目	R 6	0.8219	103.0			6.75	5.54
2年目	R 7	0.7903	103.0			6.75	5.33
3年目	R 8	0.7599	103.0			6.75	5.13
4年目	R 9	0.7307	103.0			6.75	4.93
5年目	R 10	0.7026	103.0			6.75	4.74
6年目	R 11	0.6756	103.0			6.75	4.56
7年目	R 12	0.6496	103.0			6.75	4.38
8年目	R 13	0.6246	103.0			6.75	4.21
9年目	R 14	0.6006	103.0			6.75	4.05
10年目	R 15	0.5775	103.0			6.75	3.90
11年目	R 16	0.5553	103.0			6.75	3.75
12年目	R 17	0.5339	103.0			6.75	3.60
13年目	R 18	0.5134	103.0			6.75	3.46
14年目	R 19	0.4936	103.0			6.75	3.33
15年目	R 20	0.4746	103.0			6.75	3.20
16年目	R 21	0.4564	103.0			6.75	3.08
17年目	R 22	0.4388	103.0			6.75	2.96
18年目	R 23	0.4220	103.0			6.75	2.85
19年目	R 24	0.4057	103.0			6.75	2.74
20年目	R 25	0.3901	103.0			6.75	2.63
21年目	R 26	0.3751	103.0			6.75	2.53
22年目	R 27	0.3607	103.0			6.75	2.43
23年目	R 28	0.3468	103.0			6.75	2.34
24年目	R 29	0.3335	103.0			6.75	2.25
25年目	R 30	0.3207	103.0			6.75	2.16
26年目	R 31	0.3083	103.0			6.75	2.08
27年目	R 32	0.2965	103.0			6.75	2.00
28年目	R 33	0.2851	103.0			6.75	1.92
29年目	R 34	0.2741	103.0			6.75	1.85
30年目	R 35	0.2636	103.0			6.75	1.78
31年目	R 36	0.2534	103.0			6.75	1.71
32年目	R 37	0.2437	103.0			6.75	1.64
33年目	R 38	0.2343	103.0			6.75	1.58
34年目	R 39	0.2253	103.0			6.75	1.52
35年目	R 40	0.2166	103.0			6.75	1.46
36年目	R 41	0.2083	103.0			6.75	1.41
37年目	R 42	0.2003	103.0			6.75	1.35
38年目	R 43	0.1926	103.0			6.75	1.30
39年目	R 44	0.1852	103.0			6.75	1.25
40年目	R 45	0.1780	103.0			6.75	1.20
41年目	R 46	0.1712	103.0			6.75	1.15
42年目	R 47	0.1646	103.0			6.75	1.11
43年目	R 48	0.1583	103.0			6.75	1.07
44年目	R 49	0.1522	103.0			6.75	1.03
45年目	R 50	0.1463	103.0			6.75	0.99
46年目	R 51	0.1407	103.0			6.75	0.95
47年目	R 52	0.1353	103.0			6.75	0.91
48年目	R 53	0.1301	103.0			6.75	0.88
49年目	R 54	0.1251	103.0			6.75	0.84
合 計				197.82	183.98	337.27	128.83
単純事業費計				197.82		337.27	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道474号 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 5	0.99967	0.98620	1.00840	0.99911	0.8548	103.0	80.09	28.48	26.05	134.62	115.07	10.95	2.48	1.87	15.30	13.08	4.15	3.55	154.07	131.70
1年目	R 6	0.99967	0.98601	1.00833	0.99911	0.8219	103.0	80.84	31.39	24.85	137.08	112.67	11.06	2.73	1.78	15.57	12.80	4.20	3.45	156.85	128.92
2年目	R 7	0.99967	0.98581	1.00826	0.99910	0.7903	103.0	80.81	30.95	25.06	136.82	108.13	11.05	2.69	1.80	15.54	12.28	4.20	3.32	156.56	123.73
3年目	R 8	0.99967	0.98561	1.00820	0.99910	0.7599	103.0	80.79	30.51	25.26	136.56	103.78	11.05	2.65	1.81	15.52	11.79	4.19	3.19	156.27	118.75
4年目	R 9	0.99967	0.98540	1.00813	0.99910	0.7307	103.0	80.76	30.07	25.47	136.31	99.60	11.05	2.61	1.83	15.49	11.32	4.19	3.06	155.98	113.98
5年目	R 10	0.99967	0.98518	1.00806	0.99910	0.7026	103.0	80.73	29.63	25.68	136.05	95.59	11.04	2.58	1.84	15.46	10.86	4.19	2.94	155.70	109.39
6年目	R 11	0.99967	0.98496	1.00800	0.99910	0.6756	103.0	80.71	29.19	25.89	135.79	91.73	11.04	2.54	1.86	15.43	10.43	4.18	2.83	155.41	104.99
7年目	R 12	0.99264	0.99035	0.99843	0.99329	0.6496	103.0	80.68	28.76	26.09	135.53	88.04	11.04	2.50	1.87	15.41	10.01	4.18	2.71	155.12	100.76
8年目	R 13	0.99259	0.99026	0.99843	0.99325	0.6246	103.0	80.09	28.48	26.05	134.62	84.08	10.95	2.48	1.87	15.30	9.56	4.15	2.59	154.07	96.23
9年目	R 14	0.99253	0.99016	0.99843	0.99320	0.6006	103.0	79.49	28.20	26.01	133.71	80.30	10.87	2.45	1.87	15.19	9.12	4.12	2.48	153.02	91.90
10年目	R 15	0.99248	0.99007	0.99842	0.99316	0.5775	103.0	78.90	27.92	25.97	132.79	76.69	10.79	2.43	1.86	15.08	8.71	4.09	2.36	151.97	87.76
11年目	R 16	0.99242	0.98997	0.99842	0.99311	0.5553	103.0	78.31	27.65	25.93	131.88	73.23	10.71	2.40	1.86	14.97	8.31	4.07	2.26	150.92	83.80
12年目	R 17	0.99236	0.98986	0.99842	0.99306	0.5339	103.0	77.71	27.37	25.89	130.97	69.93	10.63	2.38	1.86	14.87	7.94	4.04	2.16	149.88	80.02
13年目	R 18	0.99230	0.98976	0.99842	0.99301	0.5134	103.0	77.12	27.09	25.85	130.06	66.77	10.55	2.35	1.86	14.76	7.58	4.01	2.06	148.83	76.40
14年目	R 19	0.99224	0.98966	0.99841	0.99296	0.4936	103.0	76.53	26.81	25.81	129.15	63.75	10.47	2.33	1.85	14.65	7.23	3.98	1.97	147.78	72.95
15年目	R 20	0.99218	0.98955	0.99841	0.99291	0.4746	103.0	75.93	26.54	25.77	128.23	60.87	10.39	2.31	1.85	14.54	6.90	3.95	1.88	146.73	69.64
16年目	R 21	0.99212	0.98944	0.99841	0.99286	0.4564	103.0	75.34	26.26	25.72	127.32	58.11	10.31	2.28	1.85	14.43	6.59	3.93	1.79	145.68	66.49
17年目	R 22	0.99206	0.98932	0.99841	0.99281	0.4388	103.0	74.75	25.98	25.68	126.41	55.47	10.22	2.26	1.84	14.33	6.29	3.90	1.71	144.63	63.47
18年目	R 23	0.99199	0.98921	0.99840	0.99276	0.4220	103.0	74.15	25.70	25.64	125.50	52.95	10.14	2.23	1.84	14.22	6.00	3.87	1.63	143.59	60.59
19年目	R 24	0.99193	0.98909	0.99840	0.99271	0.4057	103.0	73.56	25.43	25.60	124.59	50.55	10.06	2.21	1.84	14.11	5.72	3.84	1.56	142.54	57.83
20年目	R 25	0.99186	0.98897	0.99840	0.99265	0.3901	103.0	72.96	25.15	25.56	123.68	48.25	9.98	2.19	1.83	14.00	5.46	3.81	1.49	141.49	55.20
21年目	R 26	0.99180	0.98885	0.99840	0.99260	0.3751	103.0	72.37	24.87	25.52	122.76	46.05	9.90	2.16	1.83	13.89	5.21	3.79	1.42	140.44	52.68
22年目	R 27	0.99173	0.98872	0.99839	0.99254	0.3607	103.0	71.78	24.59	25.48	121.85	43.95	9.82	2.14	1.83	13.78	4.97	3.76	1.36	139.39	50.28
23年目	R 28	0.99166	0.98859	0.99839	0.99249	0.3468	103.0	71.18	24.32	25.44	120.94	41.94	9.74	2.11	1.83	13.68	4.74	3.73	1.29	138.35	47.98
24年目	R 29	0.99159	0.98846	0.99839	0.99243	0.3335	103.0	70.59	24.04	25.40	120.03	40.03	9.66	2.09	1.82	13.57	4.52	3.70	1.23	137.30	45.79
25年目	R 30	0.99152	0.98833	0.99839	0.99237	0.3207	103.0	70.00	23.76	25.36	119.12	38.19	9.57	2.07	1.82	13.46	4.32	3.67	1.18	136.25	43.69
26年目	R 31	0.99145	0.98819	0.99838	0.99231	0.3083	103.0	69.40	23.49	25.32	118.20	36.44	9.49	2.04	1.82	13.35	4.12	3.65	1.12	135.20	41.68
27年目	R 32	0.99139	0.98808	0.99838	0.99226	0.2965	103.0	68.81	23.21	25.27	117.29	34.77	9.41	2.02	1.81	13.24	3.93	3.62	1.07	134.15	39.77
28年目	R 33	0.99132	0.98795	0.99838	0.99221	0.2851	103.0	68.22	22.93	25.23	116.38	33.18	9.33	1.99	1.81	13.13	3.74	3.59	1.02	133.11	37.94
29年目	R 34	0.99125	0.98783	0.99838	0.99215	0.2741	103.0	67.62	22.65	25.19	115.47	31.65	9.25	1.97	1.81	13.03	3.57	3.56	0.98	132.06	36.20
30年目	R 35	0.99118	0.98770	0.99837	0.99210	0.2636	103.0	67.03	22.38	25.15	114.56	30.19	9.17	1.94	1.81	12.92	3.40	3.53	0.93	131.02	34.53
31年目	R 36	0.99111	0.98758	0.99837	0.99204	0.2534	103.0	66.44	22.10	25.11	113.66	28.80	9.09	1.92	1.80	12.81	3.25	3.51	0.89	129.97	32.94
32年目	R 37	0.99105	0.98745	0.99837	0.99199	0.2437	103.0	65.85	21.83	25.07	112.75	27.47	9.01	1.90	1.80	12.70	3.10	3.48	0.85	128.93	31.42
33年目	R 38	0.99098	0.98732	0.99837	0.99193	0.2343	103.0	65.26	21.56	25.03	111.85	26.21	8.93	1.87	1.80	12.60	2.95	3.45	0.81	127.89	29.96
34年目	R 39	0.99091	0.98720	0.99836	0.99188	0.2253	103.0	64.67	21.28	24.99	110.94	24.99	8.85	1.85	1.79	12.49	2.81	3.42	0.77	126.85	28.58
35年目	R 40	0.99084	0.98707	0.99836	0.99182	0.2166	103.0	64.08	21.01	24.95	110.04	23.84	8.77	1.83	1.79	12.38	2.68	3.39	0.74	125.82	27.25
36年目	R 41	0.99077	0.98695	0.99836	0.99177	0.2083	103.0	63.50	20.74	24.91	109.14	22.73	8.69	1.80	1.79	12.28	2.56	3.37	0.70	124.78	25.99
37年目	R 42	0.99071	0.98682	0.99836	0.99171	0.2003	103.0	62.91	20.47	24.87	108.24	21.68	8.61	1.78	1.78	12.17	2.44	3.34	0.67	123.75	24.78
38年目	R 43	0.99064	0.98669	0.99835	0.99166	0.1926	103.0	62.33	20.20	24.82	107.35	20.67	8.53	1.76	1.78	12.06	2.32	3.31	0.64	122.72	23.63
39年目	R 44	0.99057	0.98657	0.99835	0.99160	0.1852	103.0	61.74	19.93	24.78	106.46	19.71	8.45	1.73	1.78	11.96	2.21	3.28	0.61	121.70	22.53
40年目	R 45	0.99050	0.98644	0.99835	0.99155	0.1780	103.0	61.16	19.66	24.74	105.57	18.80	8.37	1.71	1.78	11.85	2.11	3.26	0.58	120.67	21.49
41年目	R 46	0.99043	0.98632	0.99835	0.99149	0.1712	103.0	60.58	19.39	24.70	104.68	17.92	8.29	1.69	1.77	11.74	2.01	3.23	0.55	119.65	20.48
42年目	R 47	0.99037	0.98619	0.99834	0.99143	0.1646	103.0	60.00	19.13	24.66	103.79	17.09	8.21	1.66	1.77	11.64	1.92	3.20	0.53	118.63	19.53
43年目	R 48	0.99030	0.98606	0.99834	0.99138	0.1583	103.0	59.42	18.86	24.62	102.91	16.29	8.13	1.64	1.77	11.53	1.83	3.17	0.50	117.62	18.62
44年目	R 49	0.99023	0.98594	0.99834	0.99132	0.1522	103.0	58.85	18.60	24.58	102.03	15.53	8.05	1.62	1.76	11.43	1.74	3.15	0.48	116.60	17.75
45年目	R 50	0.99016	0.98581	0.99834	0.99127	0.1463	103.0	58.27	18.34	24.54	101.15										

参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	2	27.9km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					151,848	
	改良費				20,178	
		土工	m3	2,578,008	3,099	切土(905,370m3)、盛土(1,121,058m3)、捨土(551,580m3)
		軟弱地盤改良工	m3	9,526	2,290	
		法面工	m ²	98,567	2,511	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,280	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	2,438	26	
		函渠工	m	264	248	
		排水工	m	60,515	1,166	
		中央分離帯工	m	-	-	
		雑工	式	1	9,558	機能補償道路等、工事用道路、借地料、現場技術、水路(602m)、工事用道路、その他等
	橋梁費				11,153	
		100m以上	m	1,383	9,233	16橋
		100m未満	m	549	1,920	14橋
	トンネル費				94,472	
		NATM	m	19,622	94,472	14本(うち避難坑3本)
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				19,423	
		IC	箇所	5	13,001	ダイヤモンド型(2箇所)、立体Y型(1箇所)、その他(2箇所)
		JCT	箇所	1	6,422	浜松いなさJCT、浜松いなさ北IC
	舗装費				3,866	
		車道舗装	m ²	171,135	3,866	
		歩道舗装	m ²	-	-	
	付帯施設費				2,756	
		交通管理施設工	式	1	2,756	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	-	-	
②用地及補償費					4,904	
	用地費			548,129.79	2,423	
		宅地	m ²	42,981.96	730	
		田畑	m ²	88,823.27	773	
		山林・原野	m ²	397,092.55	652	
		その他	m ²	19,232.01	268	
	補償費		式	1	2,481	
③間接経費			式	1	19,648	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費、補正
全体事業費					176,400	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

参考様式-2

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	2	27.9km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	27.9	7,700	
修繕費	式	1	29,400	
維持管理費合計			37,100	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	2	14.0km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					29,387	
	改良費				748	
		土工	m3	192,341	323	
		軟弱地盤改良工	m3	-	-	
		法面工	m ²	7,354	142	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	-	-	
		管渠工	m	-	-	
		函渠工	m	-	-	
		排水工	m	-	-	
		中央分離帯工	m	-	-	
		雑工	式	1	283	機能補償道路等、工事用道路、借地料、現場技術、その他
	橋梁費				8,813	
		100m以上	m	1,077	8,096	5橋
		100m未満	m	119	717	3橋
	トンネル費				16,052	
		NATM	m	5,485	16,052	5本(うち避難坑1本)
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				1,590	
		IC	箇所	2	1,590	立体Y型(1箇所)、その他(1箇所)
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費				1,414	
		車道舗装	m ²	79,780	1,414	
		歩道舗装	m ²	-	-	
	付帯施設費				770	
		交通管理施設工	式	1	770	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	-	-	
②用地及補償費					20	
	用地費			-	-	
		宅地	m ²	-	-	
		田畑	m ²	-	-	
		山林・原野	m ²	-	-	
		その他	m ²	-	-	
	補償費		式	1	20	
③間接経費			式	1	1,143	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費、補正
全体事業費					30,550	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

参考様式-2

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道474号	三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路	2	14.0km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	14.0	7,700	
修繕費	式	1	29,400	
維持管理費合計			37,100	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上